

防災気象情報の利活用状況等に関する 調査結果

平成29年3月10日

気象庁

防災気象情報の利活用状況等に関する調査結果

目次

I. 調査概要

1. 調査目的	4
2. 調査対象・方法	4
3. 調査内容	4
4. 集計・分析の記述について	4

II. 調査結果

1. 一般	7
(1) 対象者属性	7
(2) 台風情報の認知	8
(3) 台風情報の防災行動等における利用有無	9
(4) 台風情報の入手におけるモバイル端末利用有無	10
(5) 台風情報のモバイル端末入手経路	11
(6) 台風情報に対する要望	12
(7) 台風情報の非利用理由	13
(8) 段階的に発表される大雨に関する情報の認知	14
(9) 大雨に関する情報の防災行動等における利用有無	15
(10) 大雨に関する情報の入手におけるモバイル端末利用有無	16
(11) 大雨に関する情報のモバイル端末入手経路	17
(12) 大雨に関する情報に対する要望	18
(13) 大雨に関する情報の非利用理由	19
(14) 記録的短時間大雨情報の認知	20
(15) 記録的短時間大雨情報の防災行動等における利用有無	21
(16) 記録的短時間大雨情報の入手におけるモバイル端末利用有無	22
(17) 記録的短時間大雨情報のモバイル端末入手経路	23
(18) 記録的短時間大雨情報が最大 30 分早く提供されることに対する期待	24
(19) 記録的短時間大雨情報の非利用理由	25
(20) 高解像度降水ナウキャストの認知	26
(21) 高解像度降水ナウキャストの防災行動等における利用有無	27
(22) 高解像度降水ナウキャストに対する要望	28
(23) 高解像度降水ナウキャストの非利用理由	29

(24) 竜巻注意情報の認知	30
(25) 竜巻注意情報の防災行動における利用有無	31
(26) 竜巻注意情報の入手におけるモバイル端末利用有無	32
(27) 竜巻注意情報のモバイル端末入手経路	33
(28) 目撃情報を付加した確度の高い竜巻注意情報の認知	34
(29) 竜巻注意情報に対する要望	35
(30) 竜巻注意情報の非利用理由	36
(31) 平時も含め地元の気象台に望む取組	37
(32) 気象台による地域防災支援の取組に対する意見	38
2. 自治体	39
(1) 対象者属性	39
(2) 台風情報の防災対応における利用有無	40
(3) 何日先の台風の予報を最も利用（重視）しているか	41
(4) 台風情報に対する要望	42
(5) 台風情報の非利用理由	43
(6) 段階的に発表される大雨に関する情報の防災対応における利用有無	44
(7) 大雨に関する情報に対する要望	45
(8) 大雨に関する情報の非利用理由	46
(9) 記録的短時間大雨情報の防災対応における利用有無	47
(10) 記録的短時間大雨情報が最大 30 分早く提供されることに対する期待	48
(11) 記録的短時間大雨情報の非利用理由	49
(12) 今後の技術の進展により実現が望まれる大雨に関する情報	50
(13) 高解像度降水ナウキャストの防災対応における利用有無	51
(14) 高解像度降水ナウキャストに対する要望	52
(15) 高解像度降水ナウキャストの非利用理由	53
(16) 竜巻注意情報の防災対応における利用有無	54
(17) 竜巻注意情報に対する要望	55
(18) 竜巻注意情報の非利用理由	56
(19) 平時における地域の防災力強化のために気象台に望むこと	57
(20) 気象台からの電話による気象状況・見通し等の直接解説の有効性	58
(21) 気象台が実施する解説に対する要望	59
(22) 気象台による地域防災支援の取組に対する意見	60

Ⅲ. 巻末資料

1. 調査票（一般）	62
2. 調査票（自治体）	68

I. 調查概要

I. 調査概要

1. 調査目的

甚大な災害をもたらす台風、大雨及び竜巻に関し気象庁が発表する情報について、一般及び自治体における利活用状況を評価するとともに、各地の気象台における地域防災支援に係る取組への評価・要望等を把握し、今後の業務改善のための基礎資料とする。

2. 調査対象・方法

(1) 一般

- 1) 対象： 全国に居住する 20 才～79 才の男女
- 2) 調査方法： インターネット上の WEB 画面に用意した質問に回答する方式(WEB 調査)
- 3) 有効回収数： 2,000 サンプル
性別、年齢、居住地の分布は、平成 27 年国勢調査 人口等基本集計の人口分布に基づき、割付。回収数は表 1 の通り。
- 4) 調査期間： 平成 28 年 12 月 14 日～19 日

(2) 自治体

- 1) 対象： 全国の自治体 (1,804 機関)
- 2) 調査方法： インターネット上の WEB 画面に用意した質問に回答する方式(WEB 調査)
- 3) 有効回収数： 1,545 サンプル
回収数は表 2 の通り。
- 4) 調査期間： 平成 28 年 12 月 14 日～28 日

3. 調査内容

- ① 台風情報、大雨に関する情報（段階的に発表される大雨注意報・警報及び土砂災害警戒情報（以下「大雨警報等」という。）、記録的短時間大雨情報）、高解像度降水ナウキャスト並びに竜巻注意情報の認知度、利活用状況及び要望等
- ② 気象台による地域防災支援の取組に対する評価、要望

4. 集計・分析の記述について

- 図表中の n は回答者の数（母数）であり、回答比率（%）算出の基数を表している。
- 回答比率（%）は、小数点第 2 位を四捨五入して、小数点第 1 位までを表示している。このため、回答比率の合計が 100%にならないことがある。
- 2 つ以上の複数回答ができる設問では、回答比率の合計は原則として 100%を超える。
- 調査数（n 値）が 30 未満のものは、統計上、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。

表1 有効回収数（一般）

回収数	男性					女性					計
	20代	30代	40代	50代	60-70代	20代	30代	40代	50代	60-70代	
北海道	5	7	8	7	15	5	7	8	8	18	88
青森県	1	2	2	2	4	1	2	2	2	4	22
岩手県	1	2	2	2	4	1	1	2	2	4	21
宮城県	3	3	3	3	6	2	3	3	3	6	35
秋田県	1	1	1	1	3	1	1	1	2	4	16
山形県	1	1	1	2	3	1	1	1	2	3	16
福島県	2	2	3	3	5	2	2	2	3	6	30
茨城県	3	4	5	4	8	3	4	4	4	9	48
栃木県	2	3	3	3	5	2	2	3	3	6	32
群馬県	2	2	3	3	5	2	2	3	3	6	31
埼玉県	8	10	13	10	19	8	9	12	9	21	119
千葉県	7	8	10	8	17	6	8	10	8	18	100
東京都	16	21	24	18	29	16	20	23	16	32	215
神奈川県	10	13	16	12	22	10	12	15	11	24	145
新潟県	2	3	3	3	7	2	3	3	3	7	36
富山県	1	1	2	1	3	1	1	2	1	3	16
石川県	1	1	2	1	3	1	1	2	1	3	16
福井県	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12
山梨県	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12
長野県	2	3	3	3	6	2	2	3	3	6	33
岐阜県	2	2	3	3	6	2	2	3	3	6	32
静岡県	4	5	6	5	10	3	4	5	5	11	58
愛知県	9	11	13	9	18	8	10	12	9	19	118
三重県	2	2	3	2	5	2	2	3	2	5	28
滋賀県	2	2	2	2	3	1	2	2	2	4	22
京都府	3	3	4	3	7	3	3	4	3	8	41
大阪府	9	11	14	11	22	9	11	15	11	25	138
兵庫県	5	7	8	7	14	5	7	9	7	16	85
奈良県	1	2	2	2	4	1	2	2	2	4	22
和歌山県	1	1	1	1	3	1	1	1	1	3	14
鳥取県	1	1	1	1	2	0	1	1	1	2	11
島根県	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12
岡山県	2	2	3	2	5	2	2	3	2	6	29
広島県	3	4	4	4	7	3	4	4	4	8	45
山口県	1	2	2	2	4	1	2	2	2	5	23
徳島県	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12
香川県	1	1	1	1	3	1	1	1	1	3	14
愛媛県	1	2	2	2	4	1	2	2	2	4	22
高知県	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12
福岡県	5	7	7	6	13	5	7	8	7	15	80
佐賀県	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	12
長崎県	1	2	2	2	4	1	2	2	2	4	22
熊本県	2	2	2	2	5	2	2	2	3	5	27
大分県	1	1	2	1	3	1	1	2	2	4	18
宮崎県	1	1	1	1	3	1	1	1	2	3	15
鹿児島県	1	2	2	2	4	1	2	2	2	5	23
沖縄県	2	2	2	2	3	2	2	2	2	3	22
合計	134	168	197	165	328	128	160	193	167	360	2,000

表2 有効回収数（自治体）

都道府県	回収数	都道府県	回収数	都道府県	回収数	都道府県	回収数	都道府県	回収数
北海道	179	埼玉県	61	岐阜県	34	鳥取県	15	佐賀県	21
青森県	37	千葉県	50	静岡県	29	島根県	15	長崎県	20
岩手県	27	東京都	59	愛知県	47	岡山県	24	熊本県	39
宮城県	32	神奈川県	31	三重県	28	広島県	18	大分県	14
秋田県	20	新潟県	24	滋賀県	19	山口県	19	宮崎県	25
山形県	29	富山県	14	京都府	26	徳島県	21	鹿児島県	34
福島県	42	石川県	20	大阪府	33	香川県	17	沖縄県	25
茨城県	41	福井県	16	兵庫県	39	愛媛県	20	合計	1,545
栃木県	17	山梨県	27	奈良県	36	高知県	31		
群馬県	32	長野県	73	和歌山県	27	福岡県	38		

表3 地方予報区に該当する都道府県

◆地方予報区に該当する都道府県

地方予報区	都道府県
北海道地方	北海道
東北地方	青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県
関東甲信地方	茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 山梨県 長野県
東海地方	岐阜県 静岡県 愛知県 三重県
北陸地方	新潟県 富山県 石川県 福井県
近畿地方	滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県
中国地方	鳥取県 島根県 岡山県 広島県
四国地方	徳島県 香川県 愛媛県 高知県
九州北部地方	山口県 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県
九州南部・奄美地方	宮崎県 鹿児島県
沖縄地方	沖縄県

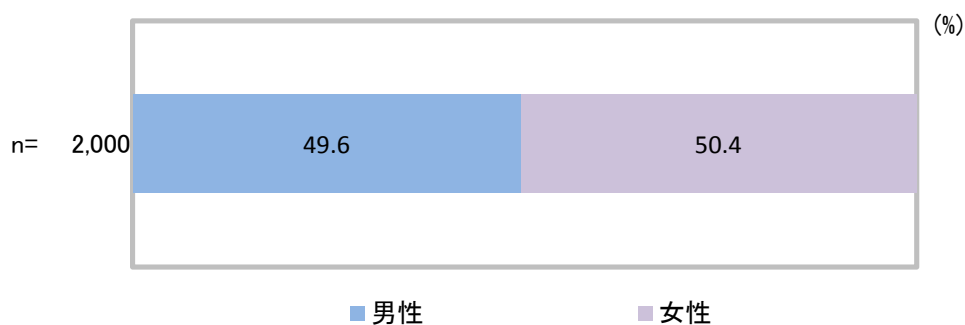
II. 調查結果

Ⅱ. 調査結果

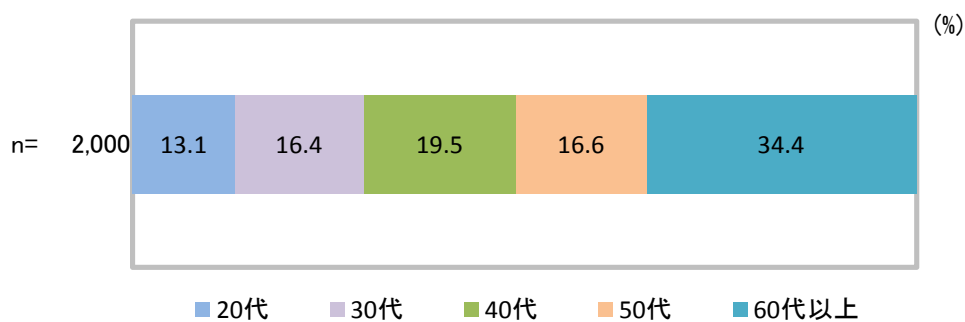
1. 一般

(1) 対象者属性

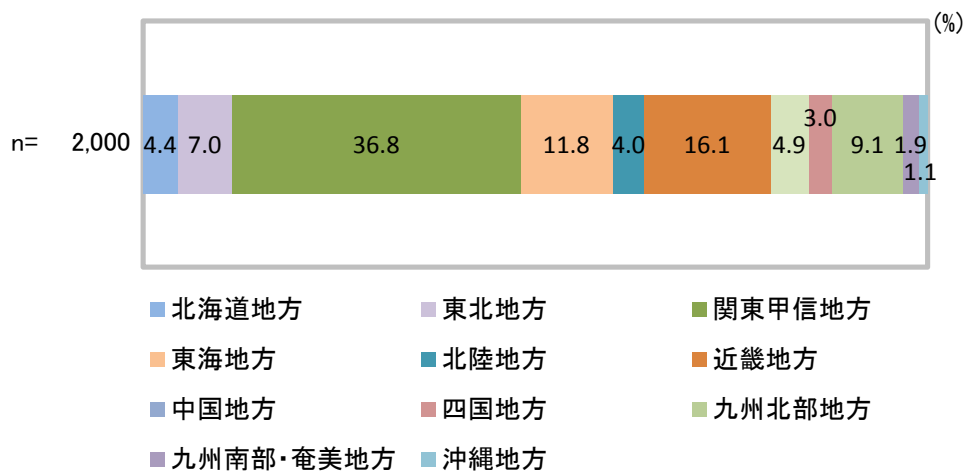
性



年代

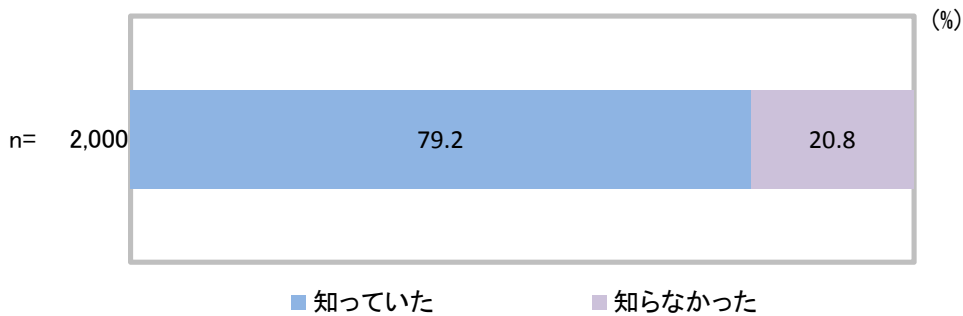


居住地（地方予報区）



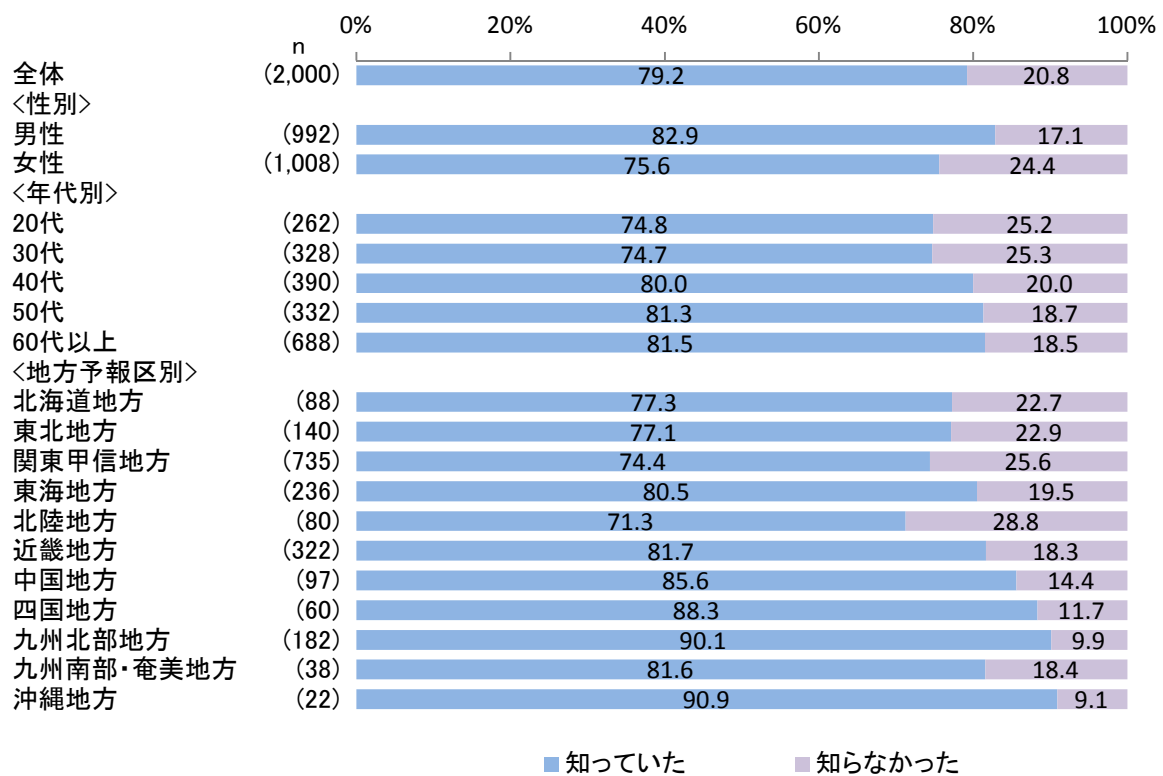
(2) 台風情報の認知

Q1 あなたは、「台風情報」について知っていましたか。



台風情報について、「知っていた」という回答は8割弱となっている。

(内訳)

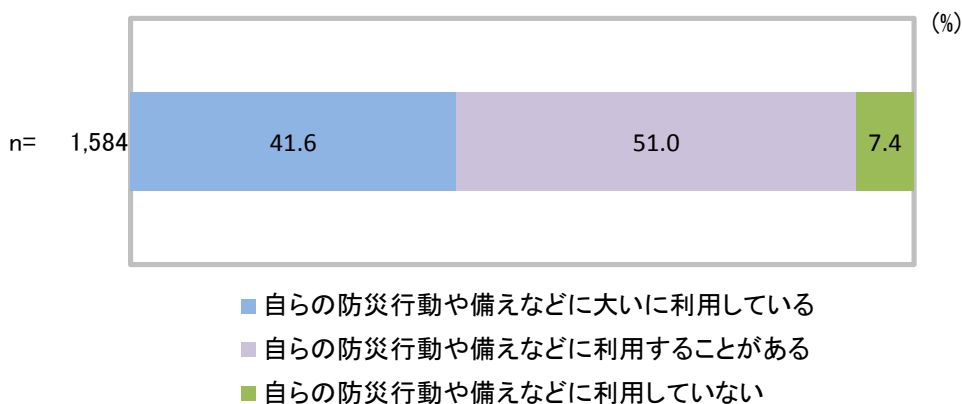


※n=29 以下は参考値

(3) 台風情報の防災行動等における利用有無

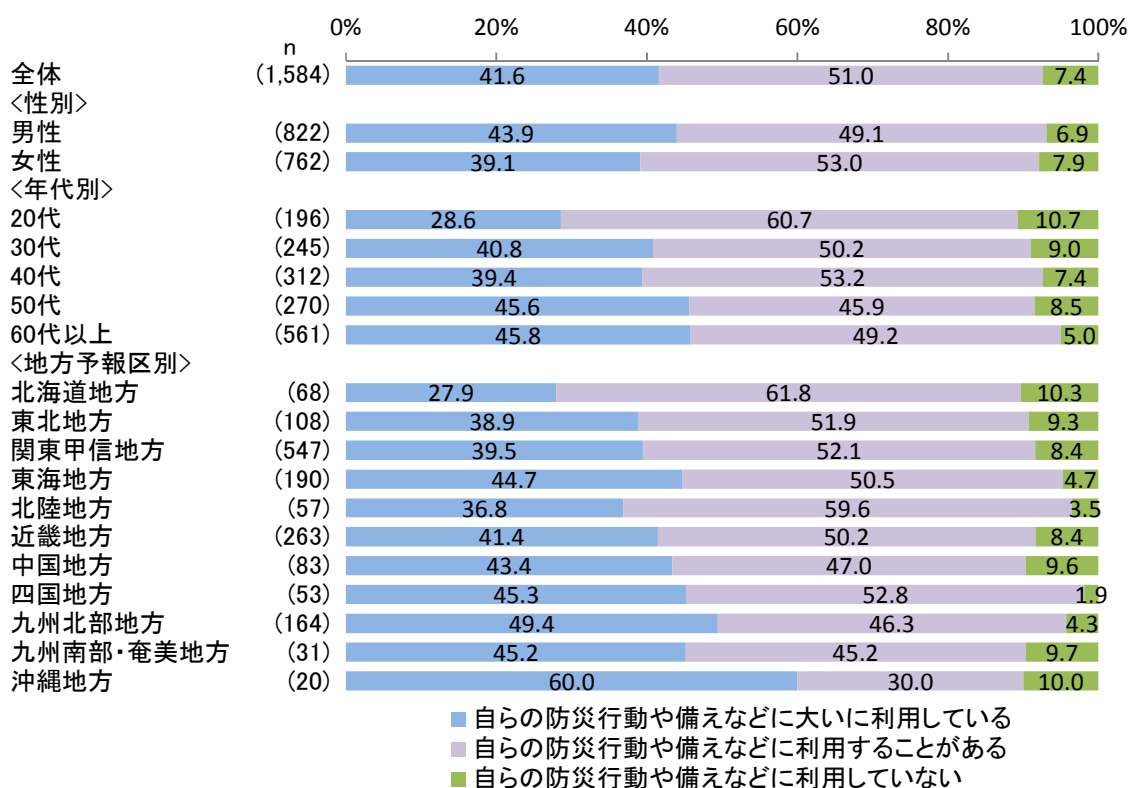
Q2 あなたは、「台風情報」を、自らの防災行動や備え（早めの帰宅、外出の中止等の何らかの予定変更を含む）などに利用していますか。

n=1,584 ベース：台風情報を知っていた人



台風情報の自らの防災行動や備えに対する利用有無について、「自らの防災行動や備えなどに大いに利用している」という回答は4割強、「自らの防災行動や備えなどに利用することがある」という回答は5割強となっており、利用経験者は合わせて9割強となっている。

(内訳)

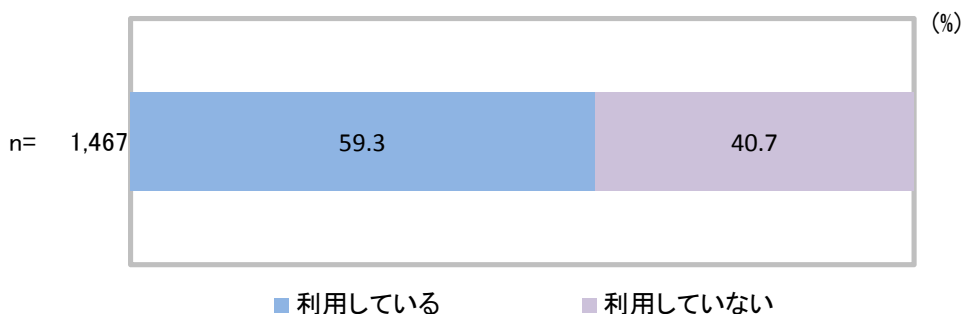


※n=29 以下は参考値

(4) 台風情報の入手におけるモバイル端末利用有無

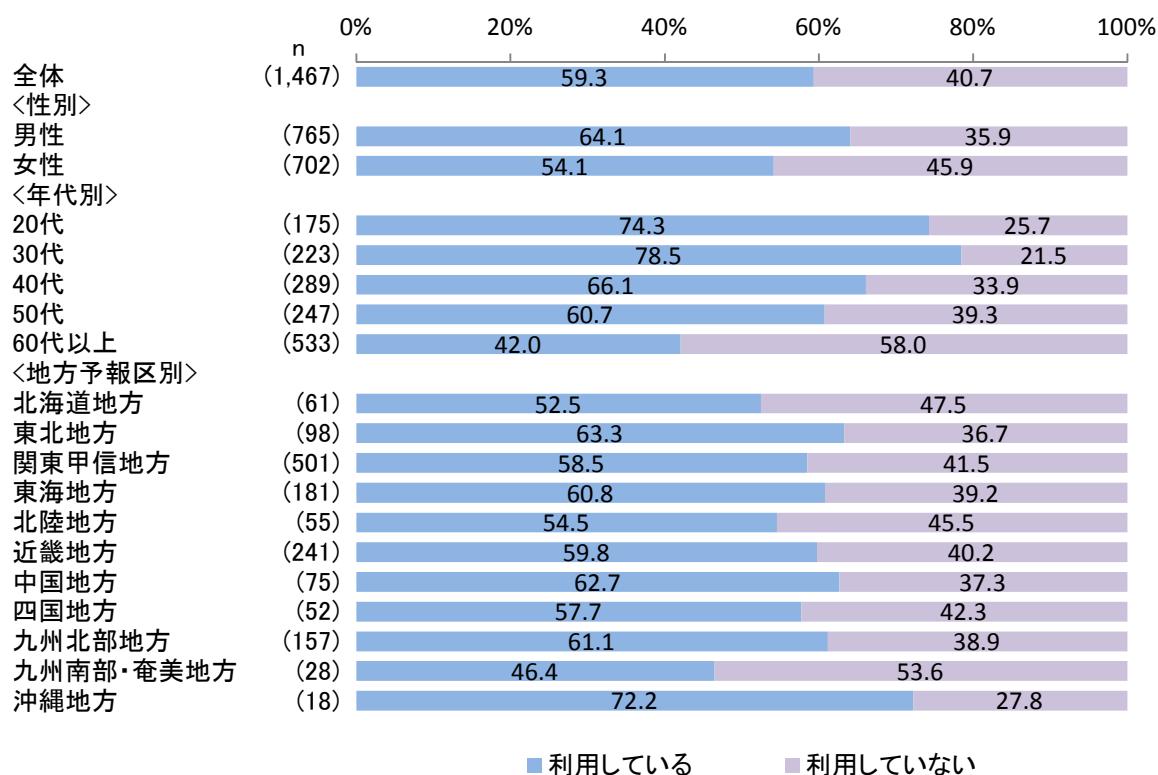
Q3 「台風情報」の入手にモバイル端末（タブレット端末、スマートフォン、携帯電話等）を利用していますか。

n=1,467 ベース：台風情報を大いに利用している、利用することがある人



台風情報の入手におけるモバイル端末の利用有無について、「利用している」という回答は6割弱となっている。

(内訳)

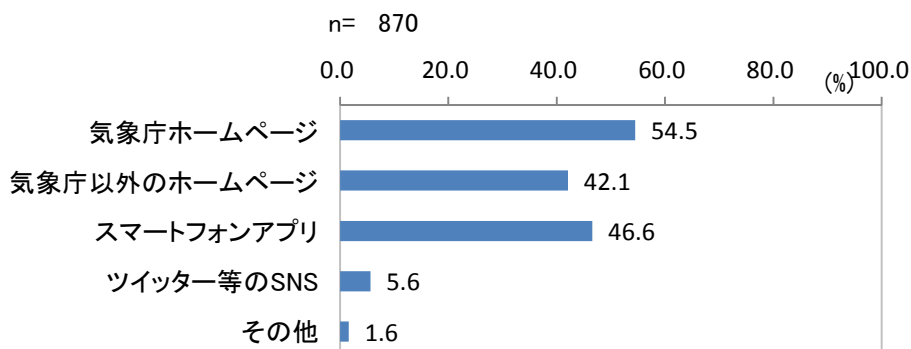


※n=29 以下は参考値

(5) 台風情報のモバイル端末入手経路

Q4 モバイル端末等を利用して「台風情報」をどこから入手していますか。当てはまるものを全て選んでください。

n=870 ベース：台風情報の入手にモバイル端末を利用している人



台風情報のモバイル端末による入手経路について、「気象庁ホームページ」が5割台半ばで最も高く、次いで「スマートフォンアプリ」が4割台半ばとなっている。

(内訳)

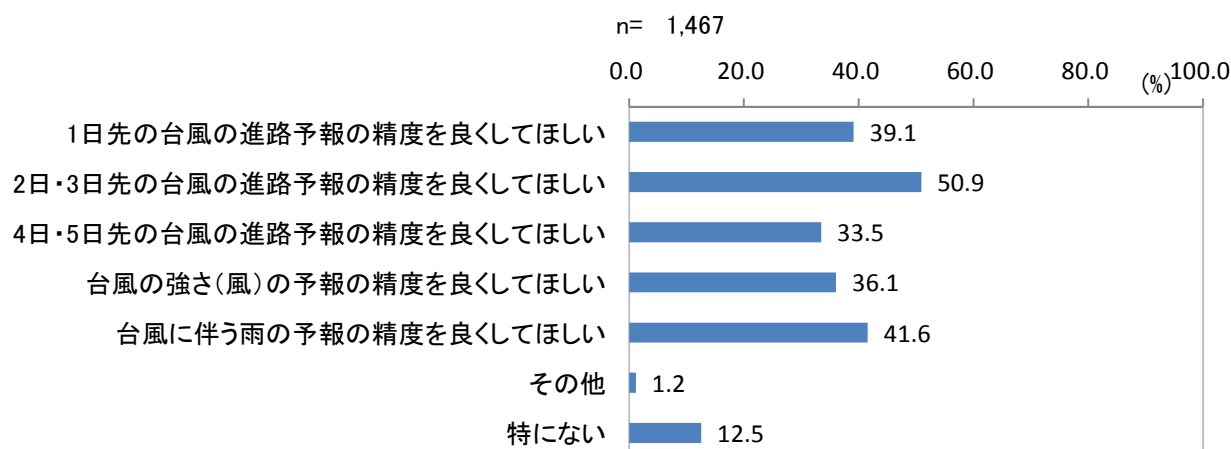
* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	気象庁ホームページ	気象庁以外のホームページ	スマートフォンアプリ	ツイッター等のSNS	その他
全体	870	54.5	42.1	46.6	5.6	1.6
性別						
男性	490	53.9	42.9	49.8	4.7	1.0
女性	380	55.3	41.1	42.4	6.8	2.4
年代別						
20代	130	51.5	51.5	46.2	17.7	0.0
30代	175	53.7	48.0	50.3	9.1	1.7
40代	191	50.8	44.0	47.1	1.6	2.1
50代	150	59.3	36.0	48.7	4.0	1.3
60代以上	224	56.7	34.4	42.0	0.4	2.2
地方予報区別						
北海道地方	32	46.9	43.8	53.1	6.3	0.0
東北地方	62	50.0	45.2	45.2	4.8	4.8
関東甲信地方	293	50.5	41.3	49.8	7.5	1.4
東海地方	110	61.8	50.0	40.0	5.5	0.9
北陸地方	30	46.7	36.7	43.3	6.7	3.3
近畿地方	144	51.4	44.4	47.9	3.5	2.1
中国地方	47	59.6	40.4	40.4	8.5	0.0
四国地方	30	63.3	40.0	46.7	3.3	0.0
九州北部地方	96	61.5	30.2	47.9	2.1	2.1
九州南部・奄美地方	13	69.2	46.2	30.8	7.7	0.0
沖縄地方	13	69.2	53.8	38.5	7.7	0.0

(6) 台風情報に対する要望

Q5 「台風情報」をはじめとした台風の予報について、要望がありましたら、当てはまるものを全て選んでください。

n=1,467 ベース：台風情報を大いに利用している、利用することがある人



台風情報に対する要望について、「2日、3日先の台風の進路予報の精度を良くしてほしい」という回答が約5割で最も高く、次いで「台風に伴う雨の予報の精度を良くしてほしい」が4割強となっている。

(内訳)

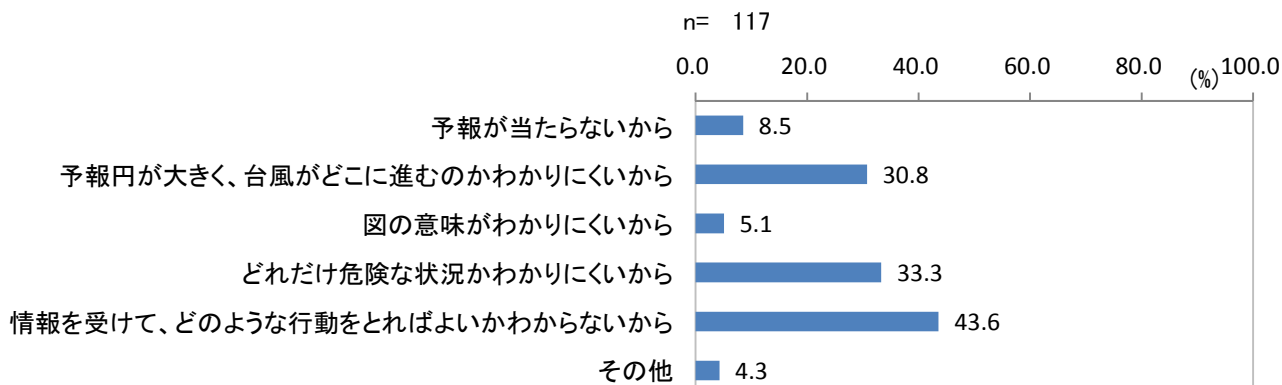
* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	1日先の台風の進路予報の精度を良くしてほしい	2日・3日先の台風の進路予報の精度を良くしてほしい	4日・5日先の台風の進路予報の精度を良くしてほしい	台風の強さ(風)の予報の精度を良くしてほしい	台風に伴う雨の予報の精度を良くしてほしい	その他	特にない
全体		1467	39.1	50.9	33.5	36.1	41.6	1.2	12.5
性別	男性	765	37.3	50.7	36.7	34.9	36.5	1.6	12.3
	女性	702	41.2	51.1	29.9	37.3	47.2	0.7	12.8
年代別	20代	175	48.0	53.7	37.7	29.1	37.1	1.7	8.0
	30代	223	43.0	52.0	36.8	30.9	41.3	1.3	11.7
	40代	289	40.1	50.5	31.5	32.2	41.5	1.0	11.8
	50代	247	38.1	49.4	37.2	37.7	40.5	0.8	13.8
	60代以上	533	34.5	50.5	30.0	41.8	43.7	1.1	14.3
	地方予報区別	北海道地方	61	39.3	45.9	26.2	39.3	45.9	0.0
東北地方		98	35.7	48.0	40.8	34.7	40.8	1.0	12.2
関東甲信地方		501	39.9	51.1	32.9	34.7	42.7	1.0	12.6
東海地方		181	50.3	51.4	32.0	37.6	42.0	1.7	9.4
北陸地方		55	29.1	47.3	23.6	45.5	43.6	0.0	16.4
近畿地方		241	35.7	52.7	28.6	30.3	35.7	2.1	16.2
中国地方		75	40.0	53.3	38.7	40.0	40.0	0.0	9.3
四国地方		52	42.3	48.1	40.4	34.6	48.1	1.9	11.5
九州北部地方		157	34.4	49.7	37.6	41.4	43.3	0.6	14.0
九州南部・奄美地方		28	46.4	60.7	42.9	39.3	42.9	3.6	7.1
沖縄地方	18	16.7	55.6	50.0	38.9	38.9	0.0	5.6	

(7) 台風情報の非利用理由

Q6 「台風情報」を利用していない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

n=117 ベース：台風情報を認知しており、利用していない人



台風情報の非利用理由について、「情報を受けて、どのような行動をとればよいかわからないから」という回答が4割台半ばで最も高く、次いで「どれだけ危険な状況かわかりにくいから」、「予報円が大きく、台風がどこに進むのかわかりにくいから」となっている。

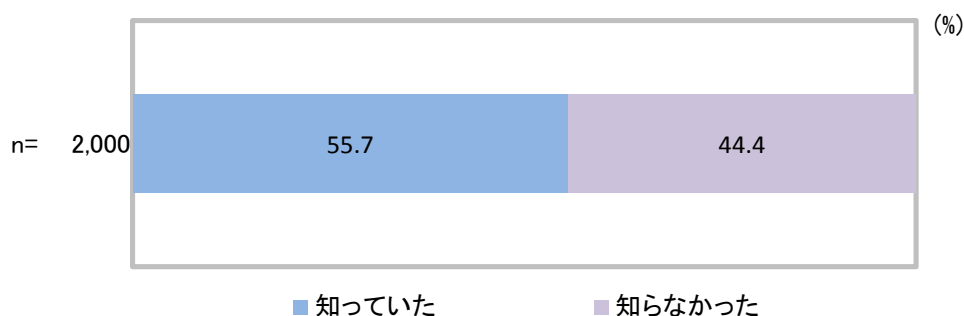
(内訳)

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	予報が当たらないから	予報円が大きく、台風がどこに進むのかわかりにくいから	図の意味がわかりにくいから	どれだけ危険な状況かわかりにくいから	情報を受けて、どのような行動をとればよいかわからないから	その他
全体	117	8.5	30.8	5.1	33.3	43.6	4.3
性別							
男性	57	12.3	28.1	1.8	35.1	43.9	3.5
女性	60	5.0	33.3	8.3	31.7	43.3	5.0
年代別							
20代	21	9.5	42.9	4.8	28.6	38.1	4.8
30代	22	9.1	31.8	9.1	40.9	36.4	0.0
40代	23	13.0	8.7	8.7	30.4	56.5	4.3
50代	23	4.3	30.4	0.0	26.1	47.8	0.0
60代以上	28	7.1	39.3	3.6	39.3	39.3	10.7
地方予報区別							
北海道地方	7	0.0	14.3	0.0	42.9	71.4	0.0
東北地方	10	10.0	20.0	0.0	30.0	40.0	20.0
関東甲信地方	46	10.9	26.1	8.7	34.8	41.3	6.5
東海地方	9	11.1	22.2	0.0	33.3	33.3	0.0
北陸地方	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
近畿地方	22	4.5	50.0	4.5	36.4	36.4	0.0
中国地方	8	0.0	25.0	12.5	37.5	50.0	0.0
四国地方	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
九州北部地方	7	14.3	28.6	0.0	28.6	57.1	0.0
九州南部・奄美地方	3	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
沖縄地方	2	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0

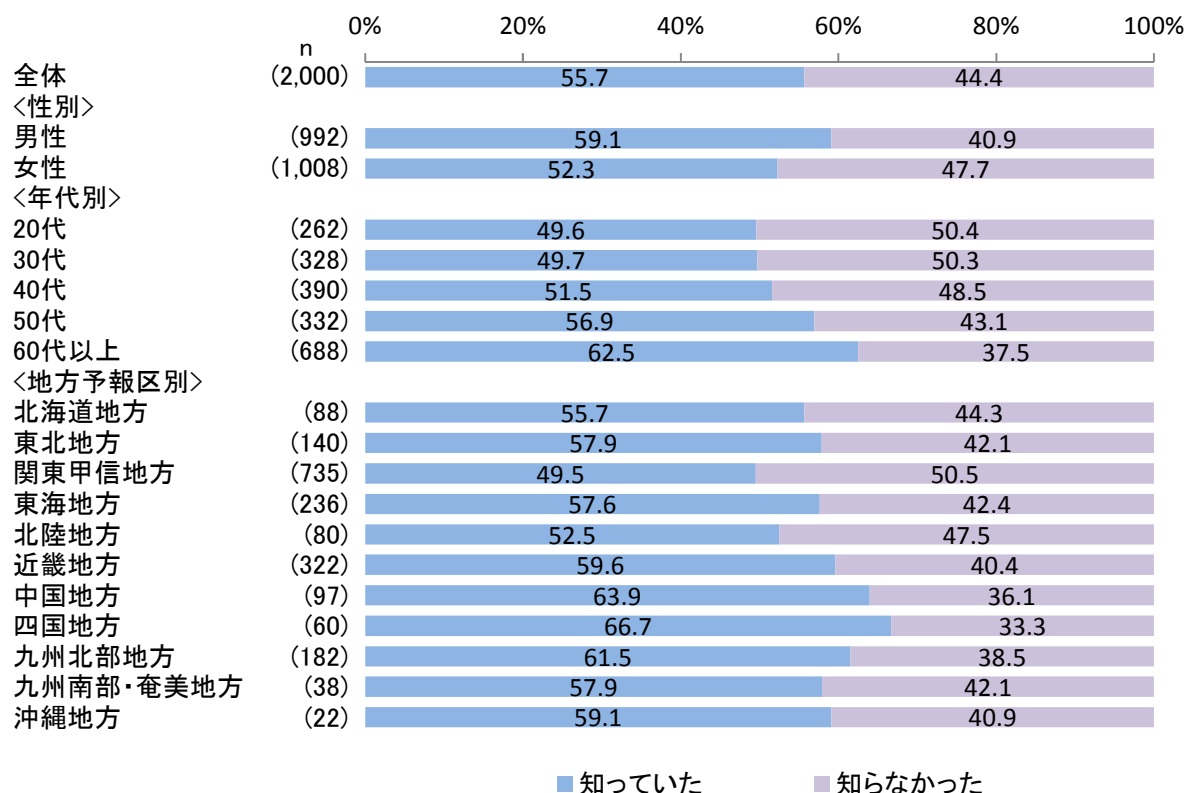
(8) 段階的に発表される大雨に関する情報の認知

Q7 あなたは、段階的に発表される「大雨注意報」、「大雨警報」及び「土砂災害警戒情報」について知っていましたか。



段階的に発表される大雨注意報、大雨警報及び土砂災害警戒情報について、「知っていた」という回答は5割台半ばとなっている。

(内訳)

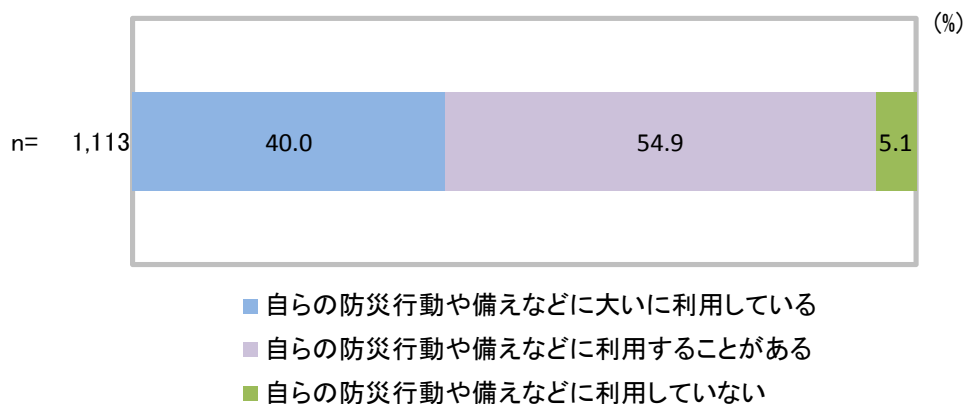


※n=29 以下は参考値

(9) 大雨に関する情報の防災行動等における利用有無

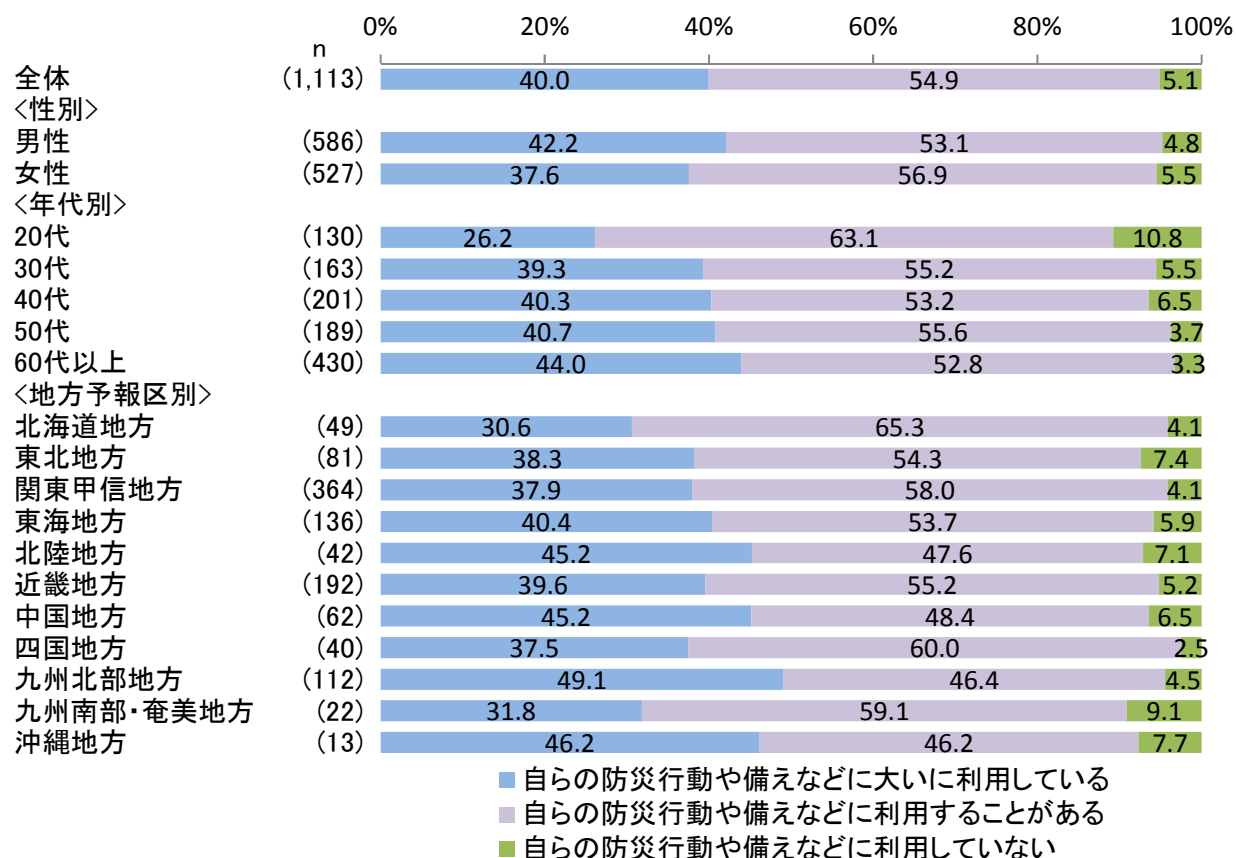
Q8 あなたは、「大雨注意報」、「大雨警報」及び「土砂災害警戒情報」を、自らの防災行動や備え（早めの帰宅、外出の中止等の何らかの予定変更を含む）などに利用していますか。

n=1,113 ベース：大雨注意報、大雨警報及び土砂災害警戒情報を知っていた人



大雨に関する情報の防災行動等における利用有無について、「自らの防災行動や備えなどに大いに利用している」という回答は4割、「自らの防災行動や備えなどに利用することがある」という回答は5割台半ばとなっており、利用経験者は合わせて9割台半ばとなっている。

(内訳)

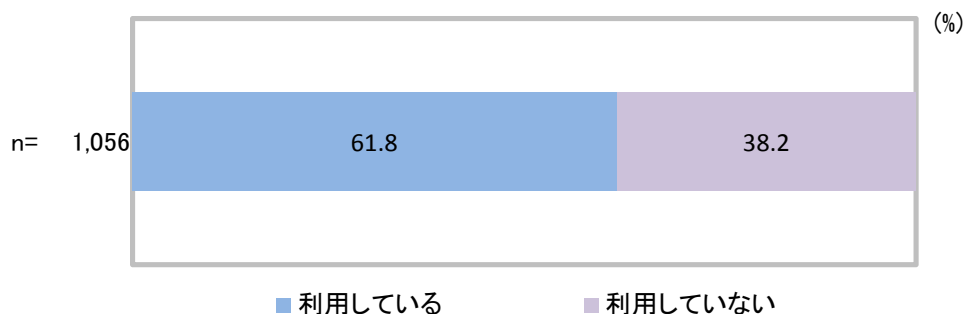


※n=29 以下は参考値

(10) 大雨に関する情報の入手におけるモバイル端末利用有無

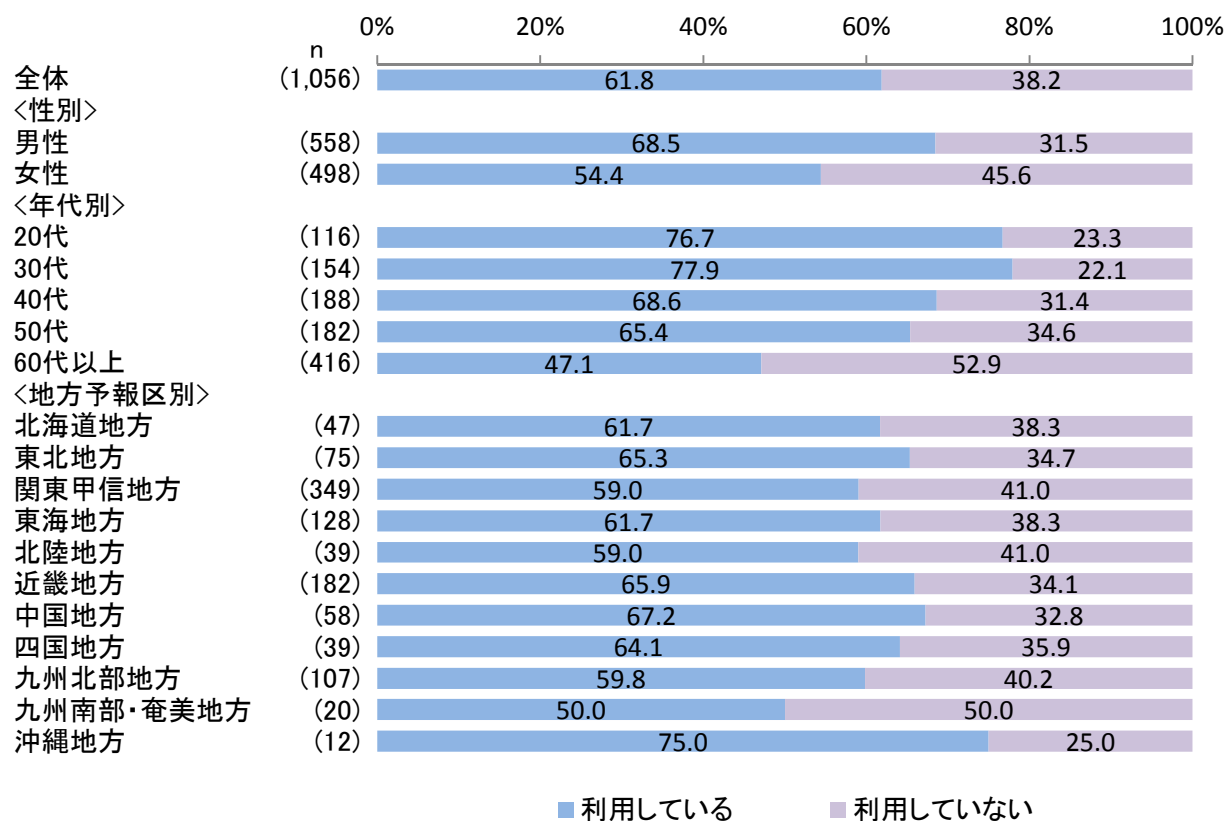
Q9 「大雨注意報」、「大雨警報」及び「土砂災害警戒情報」の入手にモバイル端末（タブレット端末、スマートフォン、携帯電話等）を利用していますか。

n=1,056 ベース：大雨注意報、大雨警報及び土砂災害警戒情報を大いに利用している、利用することがある人



大雨に関する情報の入手におけるモバイル端末の利用有無について、「利用している」という回答は6割強となっている。

(内訳)

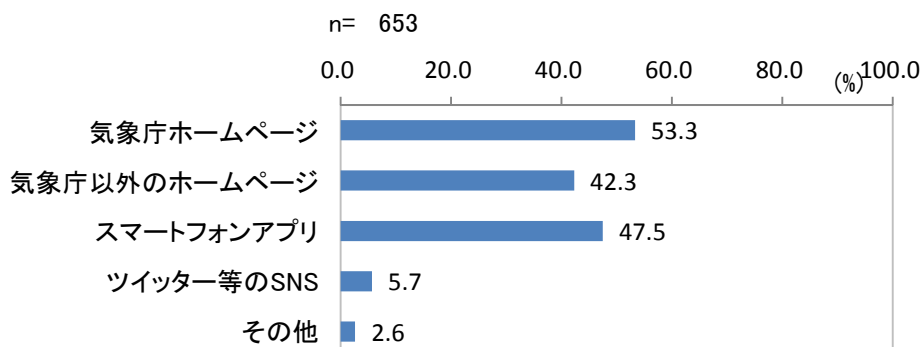


※n=29 以下は参考値

(11) 大雨に関する情報のモバイル端末入手経路

Q10 モバイル端末等を利用して「大雨注意報」、「大雨警報」及び「土砂災害警戒情報」をどこから入手していますか。当てはまるものを全て選んでください。

n=653 ベース：大雨注意報、大雨警報及び土砂災害警戒情報の入手にモバイル端末を利用している人



大雨に関する情報のモバイル端末による入手経路について、「気象庁ホームページ」が5割台半ばと最も高く、次いで「スマートフォンアプリ」が5割弱、「気象庁以外のホームページ」が4割強となっている。

(内訳)

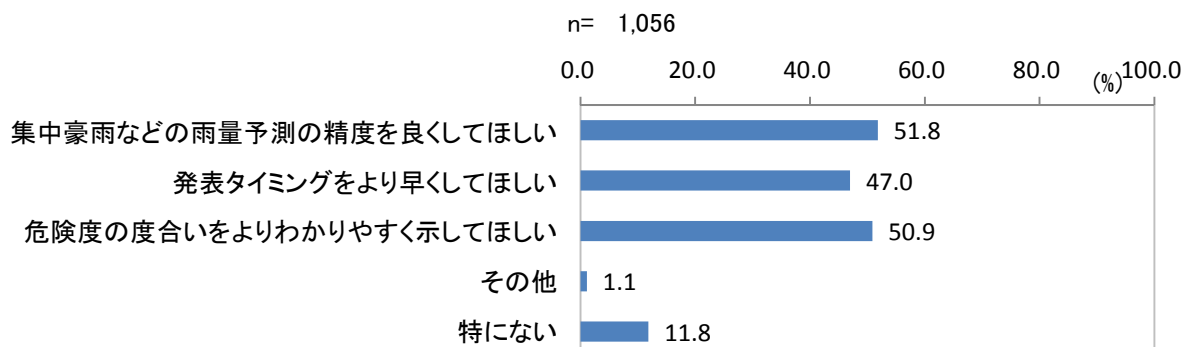
* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	気象庁ホームページ	気象庁以外のホームページ	スマートフォンアプリ	ツイッター等のSNS	その他
全体		653	53.3	42.3	47.5	5.7	2.6
性別	男性	382	55.0	45.0	46.3	4.5	2.4
	女性	271	50.9	38.4	49.1	7.4	3.0
年代別	20代	89	59.6	50.6	42.7	16.9	1.1
	30代	120	57.5	50.0	50.8	10.8	1.7
	40代	129	50.4	46.5	48.8	2.3	1.6
	50代	119	49.6	32.8	52.1	4.2	1.7
	60代以上	196	52.0	36.7	43.9	0.5	5.1
地方予報区別	北海道地方	29	58.6	37.9	58.6	6.9	6.9
	東北地方	49	55.1	51.0	38.8	4.1	8.2
	関東甲信地方	206	48.5	41.7	52.4	6.8	1.5
	東海地方	79	55.7	54.4	40.5	7.6	1.3
	北陸地方	23	47.8	47.8	43.5	0.0	4.3
	近畿地方	120	50.8	35.0	47.5	5.0	0.8
	中国地方	39	56.4	33.3	48.7	7.7	2.6
	四国地方	25	52.0	36.0	44.0	0.0	12.0
	九州北部地方	64	64.1	39.1	45.3	3.1	1.6
	九州南部・奄美地方	10	60.0	50.0	40.0	10.0	0.0
沖縄地方	9	66.7	66.7	44.4	11.1	0.0	

(12) 大雨に関する情報に対する要望

Q11 「大雨注意報」、「大雨警報」及び「土砂災害警戒情報」について、要望がありましたら、当てはまるものを全て選んでください。

n=1,056 ベース：大雨注意報、大雨警報及び土砂災害警戒情報を大いに利用している、利用することがある人



大雨に関する情報に対する要望について、「集中豪雨などの雨量予測の精度を良くしてほしい」、「発表タイミングをより早くしてほしい」、「危険度の度合いをよりわかりやすく示してほしい」はいずれも5割前後と最も高くなっている。

(内訳)

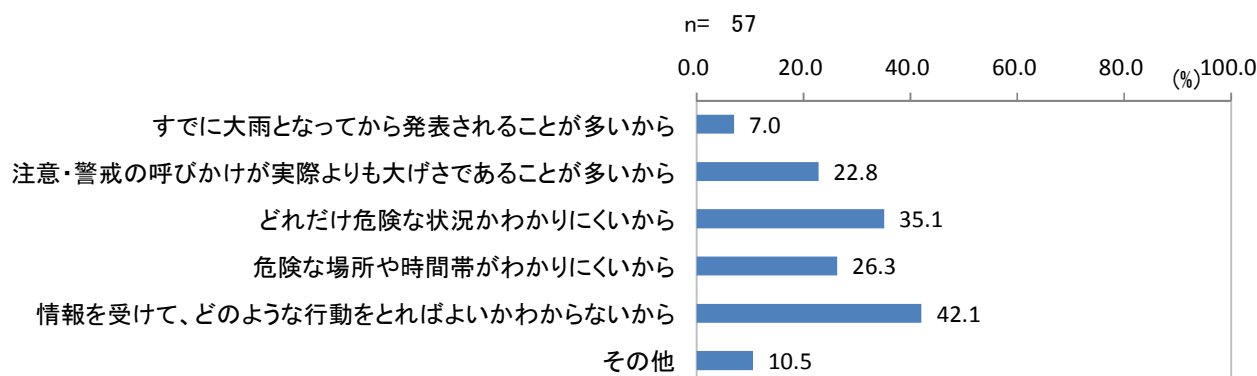
* ■ は全体+10ポイント以上、■ は+5ポイント以上、■ は-10ポイント以下、■ は-5ポイント以下
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	集中豪雨などの雨量予測の精度を良くしてほしい	発表タイミングをより早くしてほしい	危険度の度合いをよりわかりやすく示してほしい	その他	特にない
全体	1056	51.8	47.0	50.9	1.1	11.8
性別						
男性	558	52.2	48.6	43.5	0.9	11.8
女性	498	51.4	45.2	59.0	1.4	11.8
年代別						
20代	116	64.7	50.0	50.9	0.9	6.9
30代	154	51.3	42.2	48.1	1.3	14.3
40代	188	60.1	48.4	51.6	1.1	10.6
50代	182	52.7	46.7	51.1	0.0	13.7
60代以上	416	44.2	47.4	51.4	1.7	12.0
地方予報区別						
北海道地方	47	55.3	55.3	48.9	0.0	8.5
東北地方	75	44.0	44.0	58.7	2.7	6.7
関東甲信地方	349	51.9	46.1	51.6	0.9	13.2
東海地方	128	57.0	46.1	54.7	1.6	7.0
北陸地方	39	48.7	46.2	43.6	0.0	7.7
近畿地方	182	51.1	46.2	43.4	1.1	15.4
中国地方	58	53.4	51.7	51.7	1.7	5.2
四国地方	39	53.8	46.2	43.6	0.0	15.4
九州北部地方	107	50.5	44.9	54.2	1.9	15.9
九州南部・奄美地方	20	55.0	65.0	60.0	0.0	15.0
沖縄地方	12	41.7	50.0	58.3	0.0	8.3

(13) 大雨に関する情報の非利用理由

Q12 「大雨注意報」、「大雨警報」及び「土砂災害警戒情報」を利用していない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

n=57 ベース：大雨注意報、大雨警報及び土砂災害警戒情報を認知しており、利用していない人



大雨に関する情報の非利用理由について、「情報を受けて、どのような行動をとればよいかわからないから」という回答が4割強で最も高く、次いで「どれだけ危険な状況かわかりにくいから」が3割台半ばとなっている。

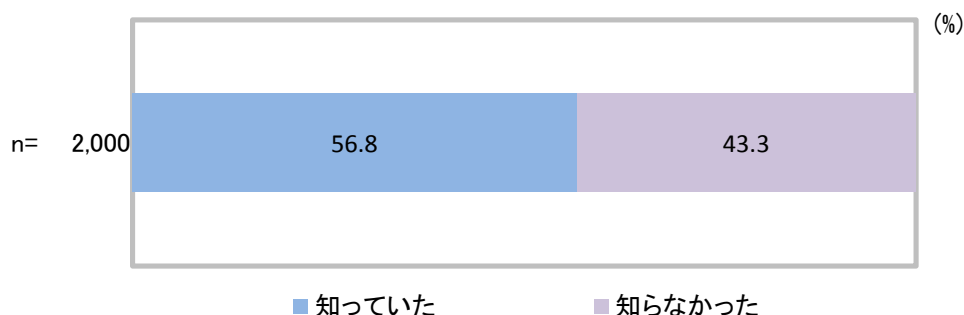
(内訳)

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	がかす 多らで か表大 らさ雨 れとな こつ とて	かさけ注 らでが意 あ実・警 る際こよ とりのが も呼 多大び いげか	かど われか だりけ に危 険い な状 か況	が危 わ険 かな り場 に所 くや い時 か間 帯	らよよ情 いう報 かなを わ行受 か動け らをて なと、 いれど かばの	そ の 他
全体	57	7.0	22.8	35.1	26.3	42.1	10.5
性別							
男性	28	10.7	25.0	35.7	28.6	28.6	7.1
女性	29	3.4	20.7	34.5	24.1	55.2	13.8
年代別							
20代	14	14.3	42.9	28.6	7.1	42.9	0.0
30代	9	22.2	11.1	22.2	55.6	44.4	11.1
40代	13	0.0	7.7	46.2	7.7	69.2	7.7
50代	7	0.0	14.3	42.9	28.6	42.9	0.0
60代以上	14	0.0	28.6	35.7	42.9	14.3	28.6
地方予報区別							
北海道地方	2	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	0.0
東北地方	6	0.0	33.3	66.7	16.7	16.7	0.0
関東甲信地方	15	0.0	26.7	40.0	40.0	33.3	13.3
東海地方	8	0.0	12.5	12.5	0.0	87.5	0.0
北陸地方	3	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0
近畿地方	10	10.0	20.0	50.0	20.0	30.0	20.0
中国地方	4	25.0	50.0	0.0	25.0	25.0	25.0
四国地方	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
九州北部地方	5	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0
九州南部・奄美地方	2	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
沖縄地方	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0

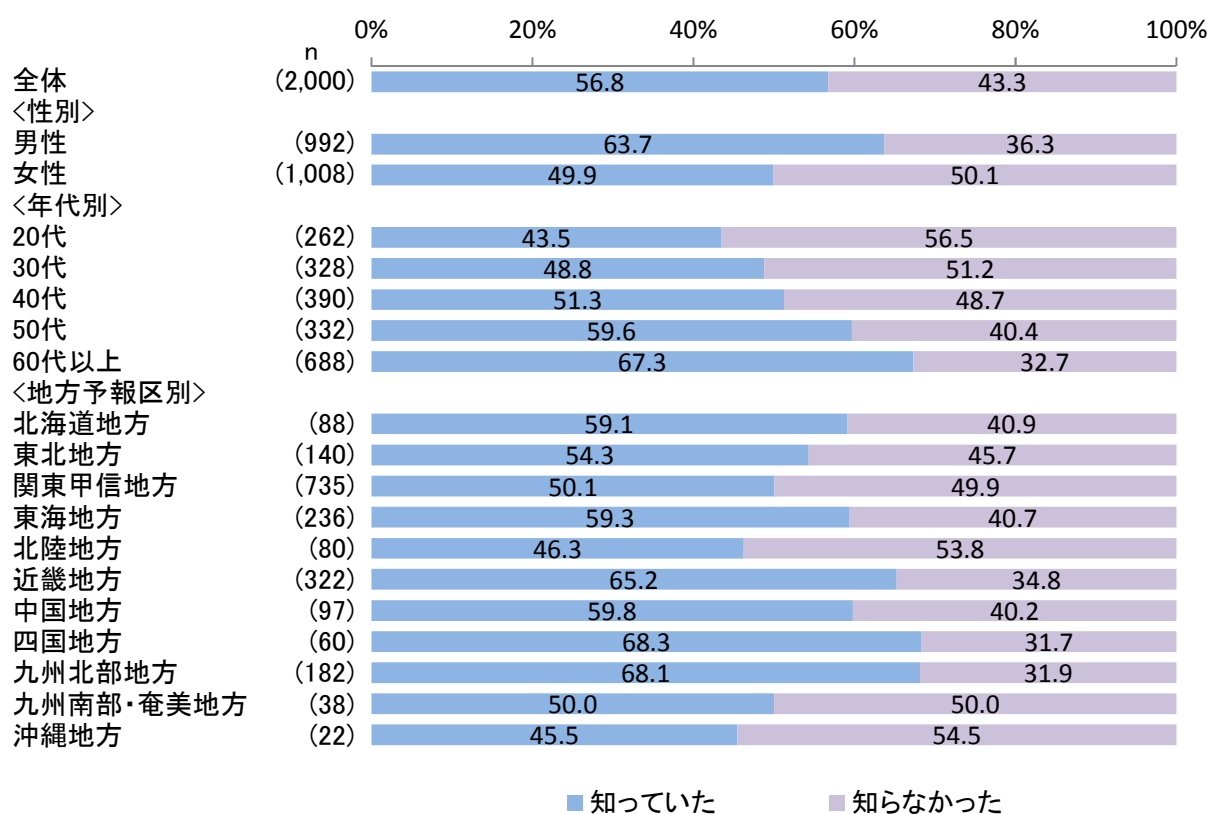
(14) 記録的短時間大雨情報の認知

Q13 あなたは、「記録的短時間大雨情報」について知っていましたか。



記録的短時間大雨情報について、「知っていた」という回答は5割台半ばとなっている。

(内訳)

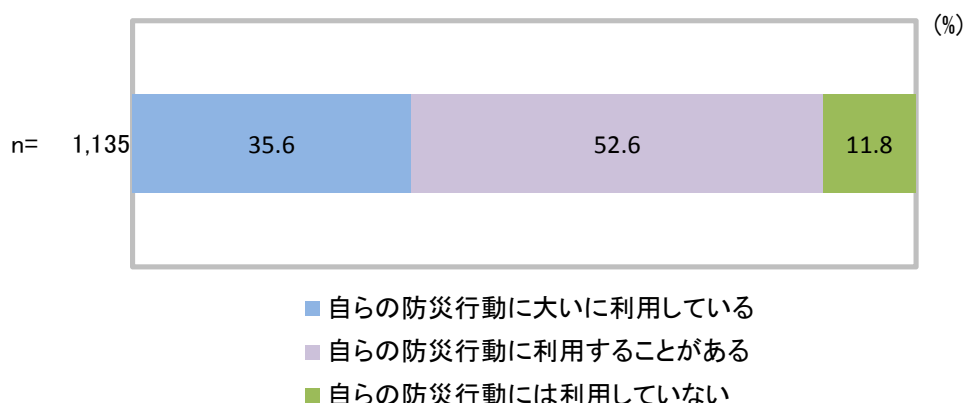


※n=29 以下は参考値

(15) 記録的短時間大雨情報の防災行動における利用有無

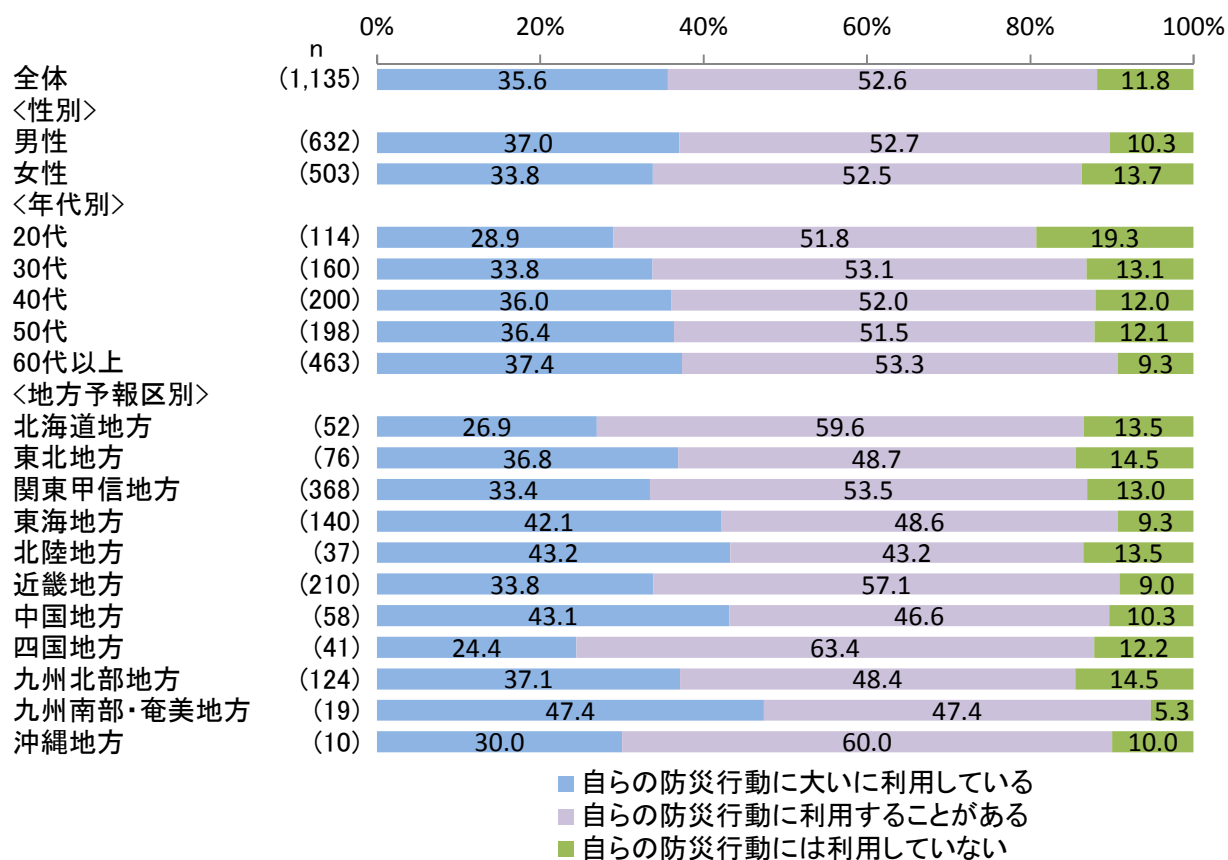
Q14 あなたは、「記録的短時間大雨情報」を、自らの防災行動などに利用していますか。

n=1,135 ベース：記録的短時間大雨情報を知っていた人



記録的短時間大雨情報の防災行動における利用有無について、「自らの防災行動や備えなどに大いに利用している」という回答は3割台半ば、「自らの防災行動や備えなどに利用することがある」という回答は5割強となっており、利用経験者は合わせて9割弱となっている。

(内訳)

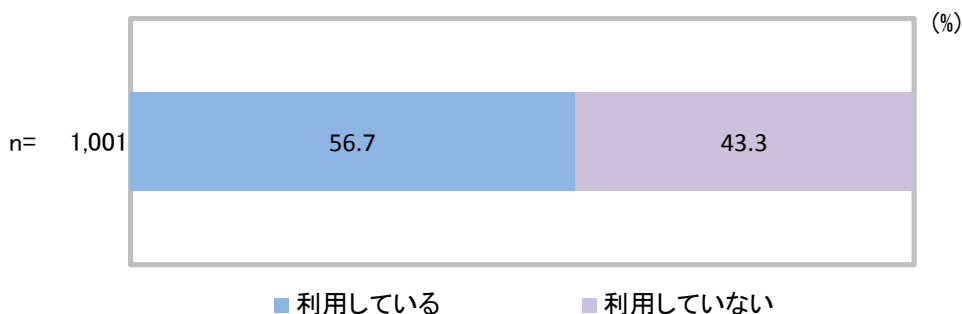


※n=29 以下は参考値

(16) 記録的短時間大雨情報の入手におけるモバイル端末利用有無

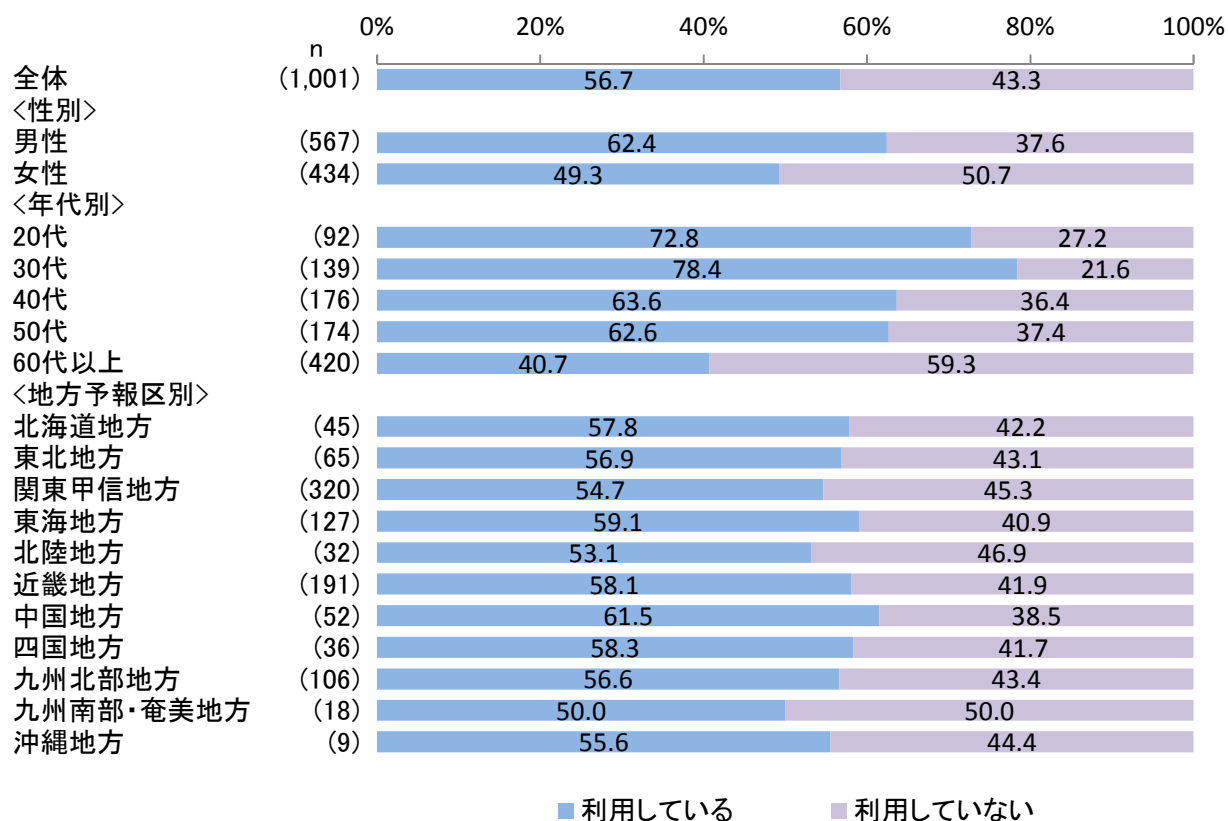
Q15 「記録的短時間大雨情報」の入手にモバイル端末（タブレット端末、スマートフォン、携帯電話等）を利用していますか。

n=1,001 ベース：記録的短時間大雨情報を大いに利用している、利用することがある人



記録的短時間大雨情報の入手におけるモバイル端末の利用有無について、「利用している」という回答は5割台半ばとなっている。

(内訳)

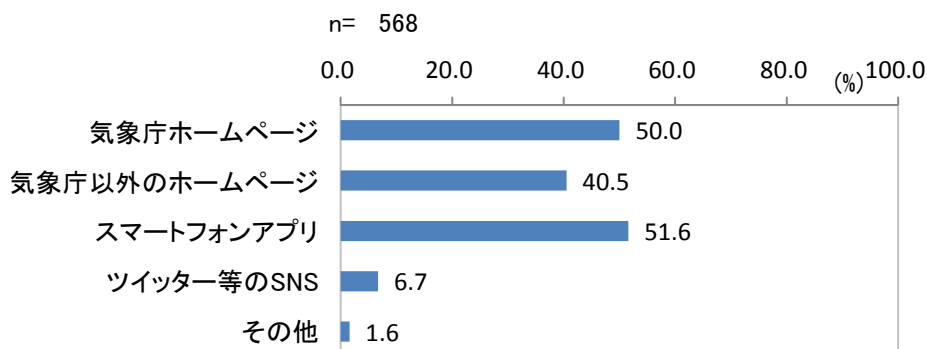


※n=29 以下は参考値

(17) 記録的短時間大雨情報のモバイル端末入手経路

Q16 モバイル端末等を利用して「記録的短時間大雨情報」をどこから入手していますか。当てはまるものを全て選んでください。

n=568 ベース：記録的短時間大雨情報の入手にモバイル端末を利用している人



記録的短時間大雨情報のモバイル端末入手経路について、「スマートフォンアプリ」、「気象庁ホームページ」はいずれも約5割となっている。

(内訳)

* ■ は全体+10ポイント以上、■ は+5ポイント以上、■ は-10ポイント以下、■ は-5ポイント以下

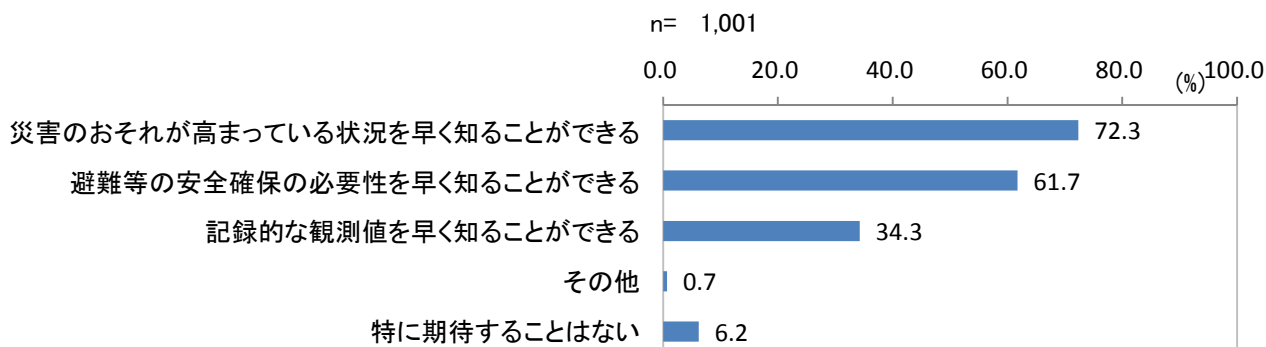
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	気象庁ホームページ	気象庁以外のホームページ	スマートフォンアプリ	ツイッター等のSNS	その他
全体		568	50.0	40.5	51.6	6.7	1.6
性別	男性	354	49.2	42.4	53.4	5.6	1.7
	女性	214	51.4	37.4	48.6	8.4	1.4
年代別	20代	67	56.7	47.8	47.8	20.9	0.0
	30代	109	48.6	48.6	54.1	11.9	0.0
	40代	112	48.2	43.8	51.8	4.5	0.0
	50代	109	49.5	33.9	57.8	3.7	1.8
	60代以上	171	49.7	34.5	47.4	1.2	4.1
地方予報区別	北海道地方	26	53.8	34.6	53.8	7.7	3.8
	東北地方	37	45.9	54.1	51.4	2.7	5.4
	関東甲信地方	175	46.9	45.1	54.9	8.6	1.1
	東海地方	75	54.7	48.0	46.7	5.3	1.3
	北陸地方	17	58.8	47.1	41.2	0.0	5.9
	近畿地方	111	45.9	33.3	50.5	5.4	0.0
	中国地方	32	46.9	34.4	56.3	12.5	0.0
	四国地方	21	47.6	28.6	52.4	4.8	4.8
	九州北部地方	60	60.0	28.3	48.3	5.0	1.7
	九州南部・奄美地方	9	66.7	55.6	44.4	11.1	0.0
沖縄地方	5	40.0	40.0	80.0	20.0	0.0	

(18) 記録的短時間大雨情報が最大 30 分早く提供されることに対する期待

Q17 本年9月28日から、「記録的短時間大雨情報」が最大30分早く提供されるようになりました。これにより、期待することがあれば、当てはまるものを全て選んでください。

n=1,001 ベース：記録的短時間大雨情報を大いに利用している、利用することがある人



記録的短時間大雨情報が最大 30 分早く提供されることに対する期待について、「災害のおそれが高まっている状況を早く知ることができる」という回答が7割強で最も高く、次いで「避難等の安全確保の必要性を早く知ることができる」が6割強となっている。

(内訳)

* ■ は全体+10ポイント以上、■ は+5ポイント以上、■ は-10ポイント以下、■ は-5ポイント以下

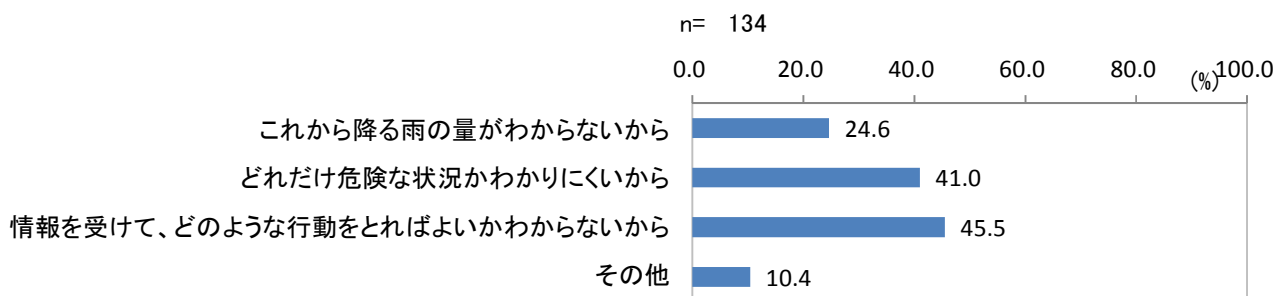
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	くま災 知つ害 るての こいお とるそ が状れ で況が きを高 る早	と必避 が要難 で性等 きをの る早安 く全 知確 る保 この	く記 知録 る的 こな と観 が測 で値 きを る早	そ の 他	な特 い に 期 待 す る こ と は
全体	1001	72.3	61.7	34.3	0.7	6.2
性別						
男性	567	70.4	58.7	32.3	0.7	6.7
女性	434	74.9	65.7	36.9	0.7	5.5
年代別						
20代	92	69.6	58.7	26.1	1.1	4.3
30代	139	77.7	60.4	28.1	0.0	7.2
40代	176	77.8	64.8	33.0	1.1	5.1
50代	174	75.9	60.3	33.9	0.6	5.7
60代以上	420	67.4	62.1	38.8	0.7	6.9
地方予報区別						
北海道地方	45	75.6	57.8	35.6	2.2	4.4
東北地方	65	78.5	63.1	43.1	0.0	3.1
関東甲信地方	320	72.8	60.3	36.9	0.6	6.9
東海地方	127	76.4	63.0	36.2	1.6	3.9
北陸地方	32	78.1	59.4	21.9	0.0	3.1
近畿地方	191	66.0	61.8	21.5	0.5	8.4
中国地方	52	71.2	63.5	46.2	0.0	3.8
四国地方	36	63.9	55.6	38.9	0.0	2.8
九州北部地方	106	73.6	64.2	34.9	0.9	9.4
九州南部・奄美地方	18	83.3	72.2	55.6	0.0	5.6
沖縄地方	9	55.6	77.8	22.2	0.0	0.0

(19) 記録的短時間大雨情報の非利用理由

Q18 「記録的短時間大雨情報」を利用しない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

n=134 ベース：記録的短時間大雨情報を認知しており、利用していない人



記録的短時間大雨情報の非利用理由について、「情報を受けて、どのような行動をとればよいかわからないから」という回答が4割台半ばで最も高く、次いで「どれだけ危険な状況かわかりにくいから」が4割強となっている。

(内訳)

* ■ は全体+10ポイント以上、■ は+5ポイント以上、■ は-10ポイント以下、■ は-5ポイント以下
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	がこ われ か ら ら 降 る 雨 の 量	かど われ か だ り け に 危 険 な 状 況	らよよ情 いう報 かなを わ行受 か動け らをて なと、 いれど かばの	そ の 他
全体		134	24.6	41.0	45.5	10.4
性 別	男性	65	24.6	43.1	43.1	10.8
	女性	69	24.6	39.1	47.8	10.1
年 代 別	20代	22	27.3	54.5	63.6	0.0
	30代	21	33.3	38.1	42.9	4.8
	40代	24	20.8	50.0	45.8	8.3
	50代	24	20.8	29.2	54.2	4.2
	60代以上	43	23.3	37.2	32.6	23.3
地 方 予 報 区 別	北海道地方	7	14.3	57.1	57.1	0.0
	東北地方	11	27.3	72.7	45.5	0.0
	関東甲信地方	48	22.9	37.5	45.8	8.3
	東海地方	13	7.7	23.1	76.9	7.7
	北陸地方	5	40.0	20.0	40.0	20.0
	近畿地方	19	31.6	42.1	10.5	31.6
	中国地方	6	0.0	33.3	83.3	0.0
	四国地方	5	20.0	40.0	40.0	0.0
	九州北部地方	18	38.9	38.9	50.0	11.1
	九州南部・奄美地方	1	0.0	100.0	0.0	0.0
沖縄地方	1	100.0	100.0	0.0	0.0	

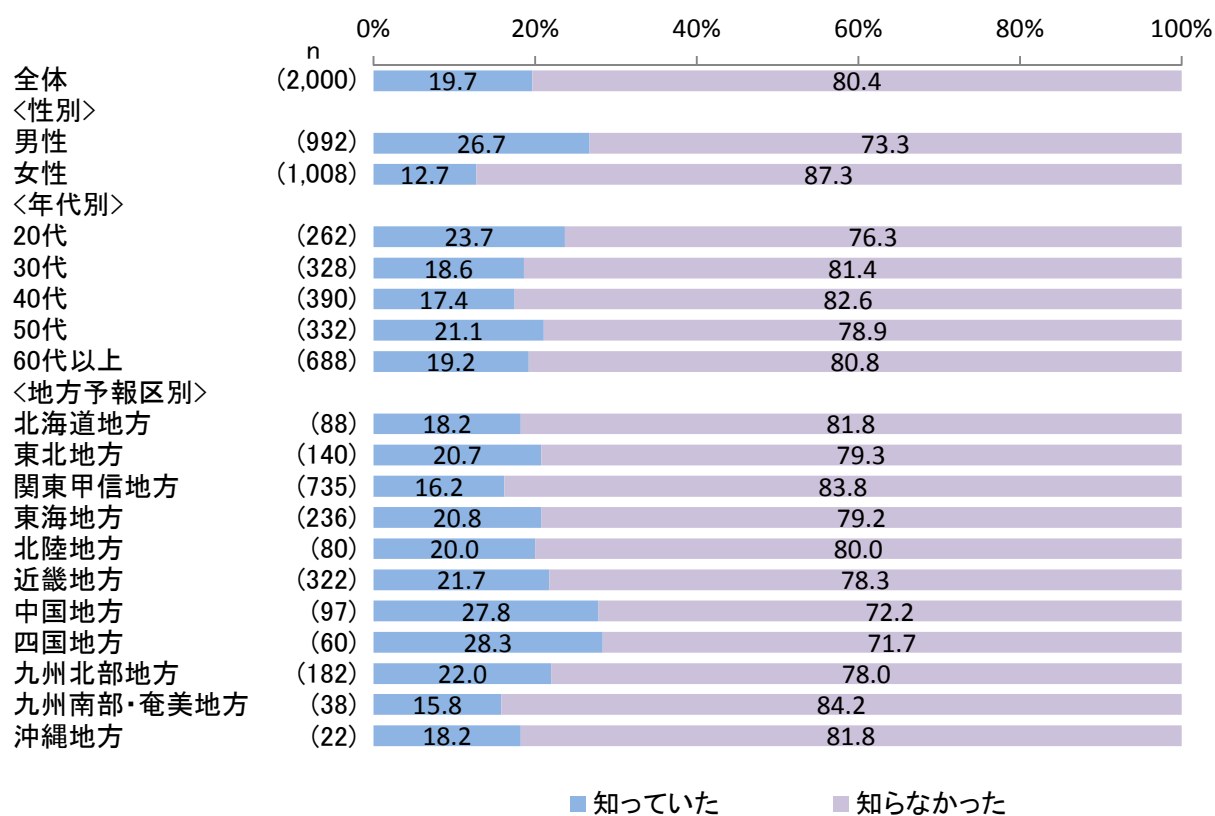
(20) 高解像度降水ナウキャストの認知

Q19 あなたは、「高解像度降水ナウキャスト」について知っていましたか。



高解像度降水ナウキャストについて、「知っていた」という回答は2割弱となっている。

(内訳)

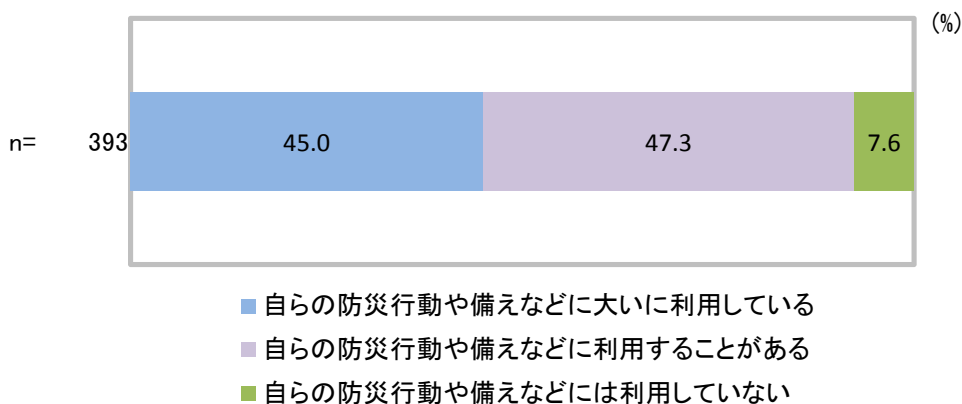


※n=29 以下は参考値

(21) 高解像度降水ナウキャストの防災行動等における利用有無

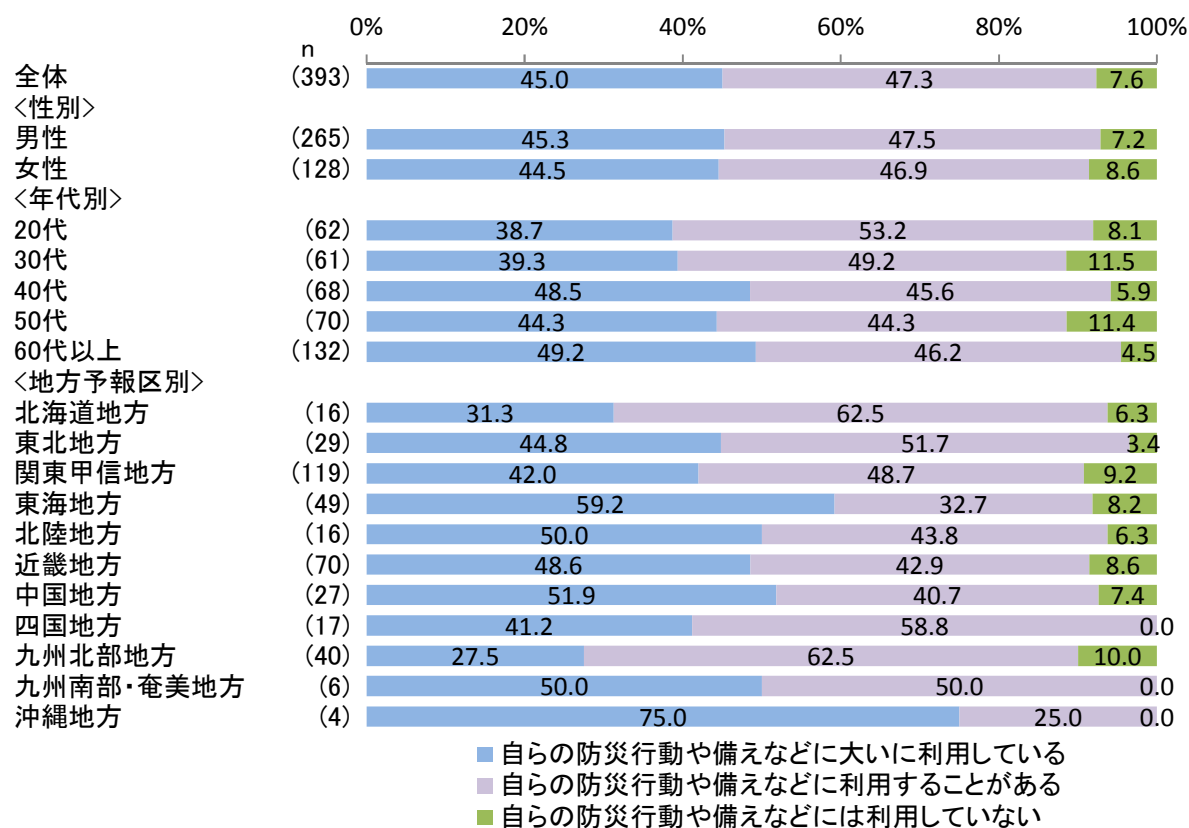
Q20 あなたは、「高解像度降水ナウキャスト」を、自らの防災行動や備え（早めの帰宅、外出の中止等の何らかの予定変更を含む）などに利用していますか。

n=393 ベース：高解像度降水ナウキャストを知っていた人



高解像度降水ナウキャストの防災行動等における利用有無について、「自らの防災行動や備えなどに大いに利用している」という回答は4割台半ば、「自らの防災行動や備えなどに利用することがある」という回答は5割弱となっており、利用経験者は合わせて9割強となっている。

(内訳)

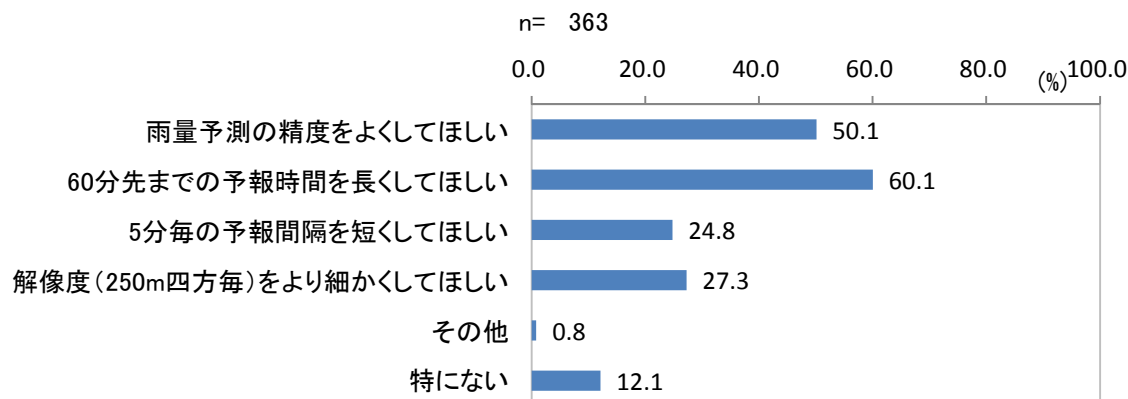


※n=29 以下は参考値

(22) 高解像度降水ナウキャストに対する要望

Q21 「高解像度降水ナウキャスト」について、要望がありましたら、当てはまるものを全て選んでください。

n=363 ベース：高解像度降水ナウキャストを大いに利用している、利用することがある人



高解像度降水ナウキャストに対する要望について、「60分先までの予報時間を長くしてほしい」が約6割で最も高く、次いで「雨量予測の精度をよくしてほしい」が約5割となっている。

(内訳)

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

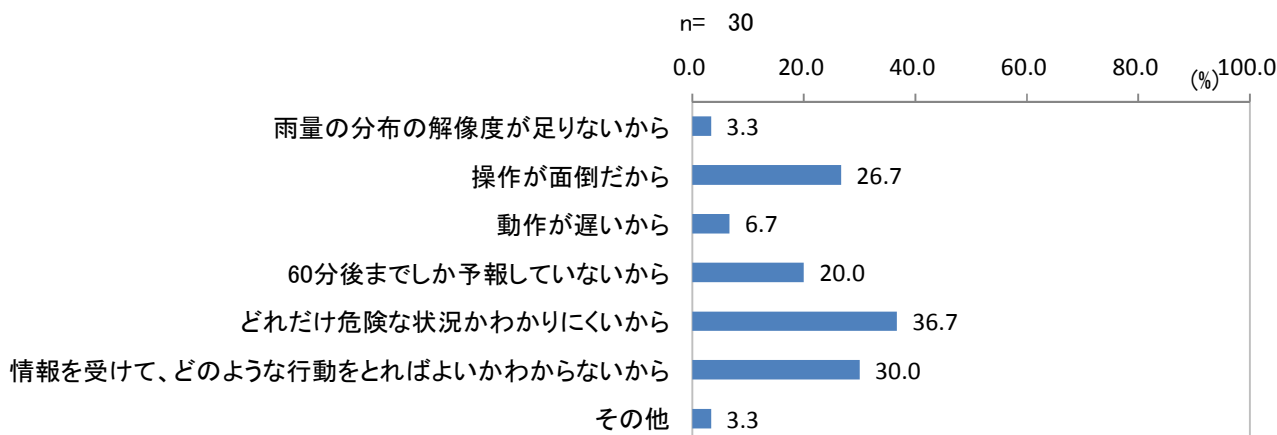
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	雨量予測の精度をよくしてほしい	60分先までの予報時間を長くしてほしい	5分毎の予報間隔を短くしてほしい	高解像度(250m四方毎)をより細かくしてほしい	その他	特にない
全体	363	50.1	60.1	24.8	27.3	0.8	12.1
性別							
男性	246	46.3	58.9	22.4	25.2	0.8	13.4
女性	117	58.1	62.4	29.9	31.6	0.9	9.4
年代別							
20代	57	42.1	64.9	33.3	17.5	0.0	10.5
30代	54	50.0	57.4	29.6	22.2	3.7	13.0
40代	64	51.6	68.8	29.7	26.6	0.0	6.3
50代	62	53.2	61.3	21.0	37.1	0.0	6.5
60代以上	126	51.6	54.0	18.3	29.4	0.8	18.3
地方予報区別							
北海道地方	15	60.0	60.0	33.3	13.3	0.0	13.3
東北地方	28	46.4	60.7	14.3	25.0	0.0	14.3
関東甲信地方	108	49.1	63.0	24.1	25.0	0.9	13.0
東海地方	45	51.1	48.9	33.3	31.1	0.0	8.9
北陸地方	15	53.3	60.0	40.0	40.0	0.0	6.7
近畿地方	64	43.8	64.1	21.9	25.0	1.6	9.4
中国地方	25	48.0	68.0	20.0	28.0	0.0	12.0
四国地方	17	47.1	58.8	17.6	17.6	0.0	17.6
九州北部地方	36	58.3	50.0	22.2	36.1	2.8	13.9
九州南部・奄美地方	6	83.3	83.3	66.7	50.0	0.0	16.7
沖縄地方	4	50.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0

(23) 高解像度降水ナウキャストの非利用理由

Q22 「高解像度降水ナウキャスト」を利用していない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

n=30 ベース：高解像度降水ナウキャストを認知しており、利用していない人



高解像度降水ナウキャストの非利用理由について、「どれだけ危険な状況かわかりにくいから」という回答が3割台半ばで最も高く、次いで「情報を受けて、どのような行動をとればよいかわからないから」が3割となっている。

(内訳)

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	が雨量の分布の解像度	操作が面倒だから	動作が遅いから	60分後までしか予報しないから	どれだけ危険な状況	情報を受けて、どのよう	その他
全体	30	3.3	26.7	6.7	20.0	36.7	30.0	3.3
性別								
男性	19	5.3	15.8	0.0	21.1	36.8	31.6	5.3
女性	11	0.0	45.5	18.2	18.2	36.4	27.3	0.0
年代別								
20代	5	0.0	0.0	40.0	20.0	40.0	40.0	0.0
30代	7	14.3	28.6	0.0	0.0	28.6	42.9	0.0
40代	4	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0
50代	8	0.0	37.5	0.0	25.0	37.5	12.5	0.0
60代以上	6	0.0	50.0	0.0	16.7	66.7	33.3	0.0
地方予報区別								
北海道地方	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
東北地方	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
関東甲信地方	11	0.0	18.2	0.0	18.2	36.4	36.4	9.1
東海地方	4	0.0	25.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0
北陸地方	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
近畿地方	6	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0
中国地方	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
四国地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
九州北部地方	4	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0
九州南部・奄美地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
沖縄地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

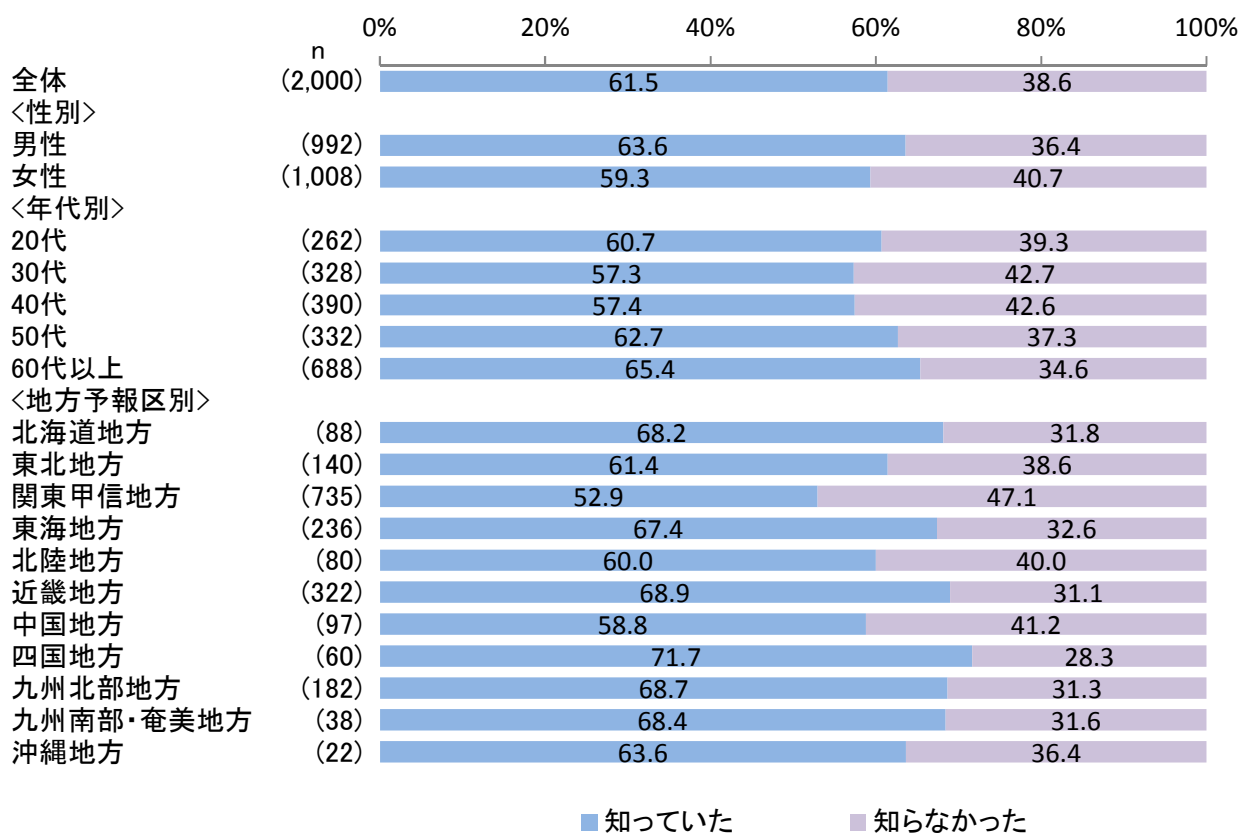
(24) 竜巻注意情報の認知

Q23 あなたは、「竜巻注意情報」について知っていましたか。



竜巻注意情報について、「知っていた」という回答は6割強となっている。

(内訳)

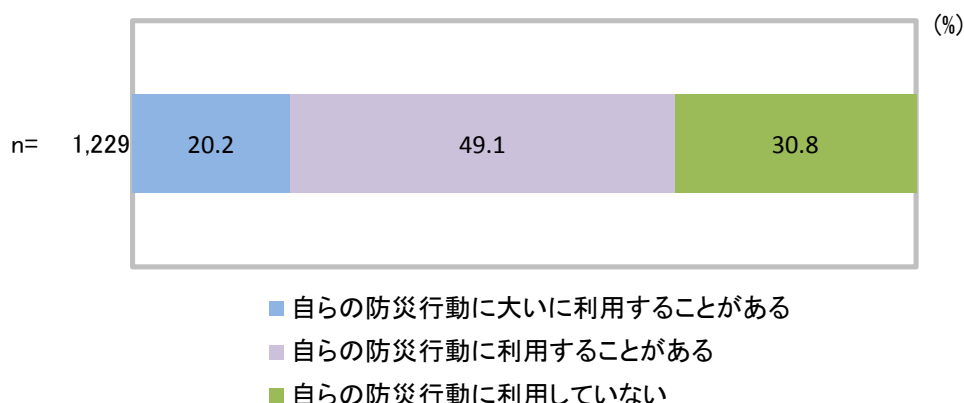


※n=29 以下は参考値

(25) 竜巻注意情報の防災行動における利用有無

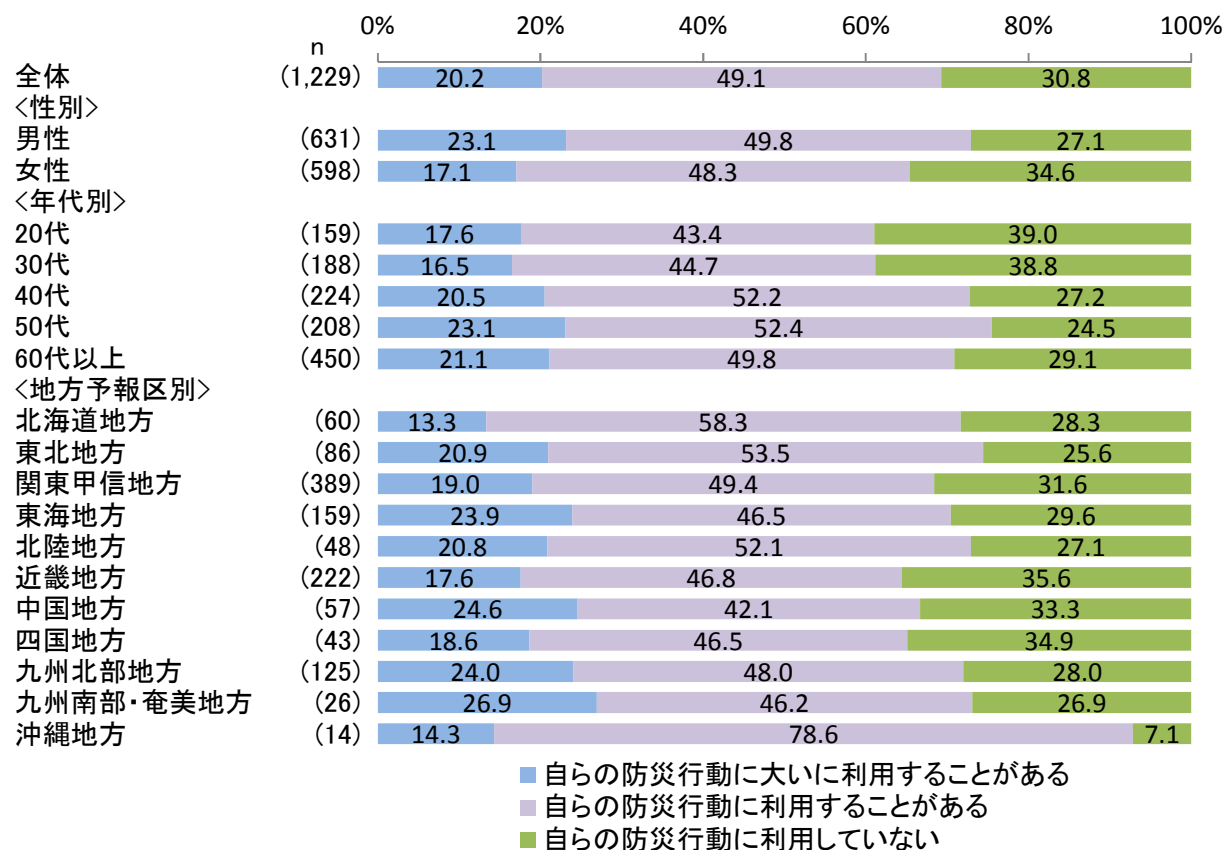
Q24 あなたは、「竜巻注意情報」を、自らの防災行動などに利用していますか。

n=1,229 ベース：竜巻注意情報を知っていた人



竜巻注意情報の防災行動における利用有無について、「自らの防災行動や備えなどに大いに利用している」という回答は約2割、「自らの防災行動や備えなどに利用することがある」という回答は5割弱となっており、利用経験者は合わせて7割弱となっている。

(内訳)

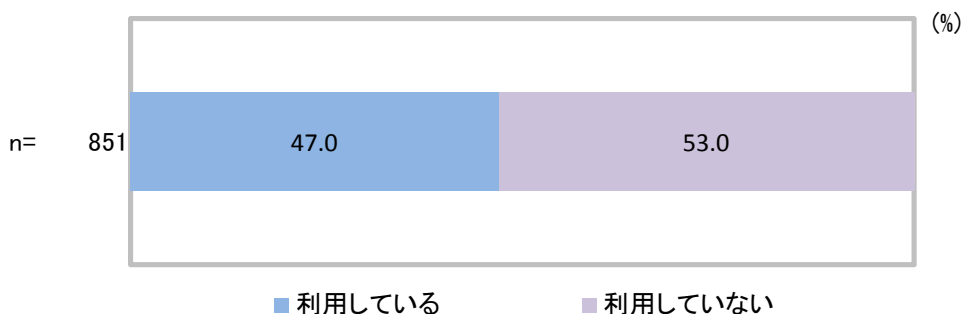


※n=29 以下は参考値

(26) 竜巻注意情報の入手におけるモバイル端末利用有無

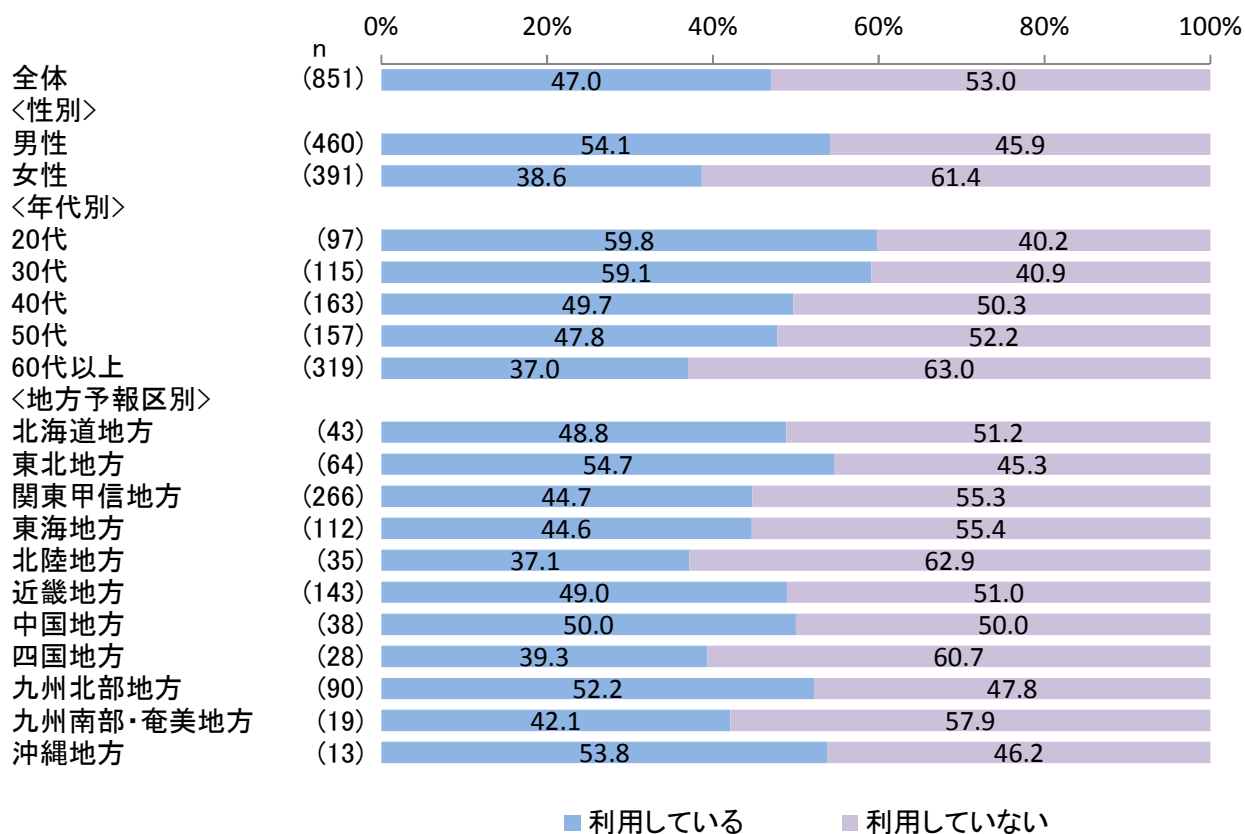
Q25 「竜巻注意情報」の入手にモバイル端末（タブレット端末、スマートフォン、携帯電話等）を利用していますか。

n=851 ベース：竜巻注意情報を利用している、利用することがある人



竜巻注意情報の入手におけるモバイル端末利用有無について、「利用している」という回答は5割弱となっている。

(内訳)

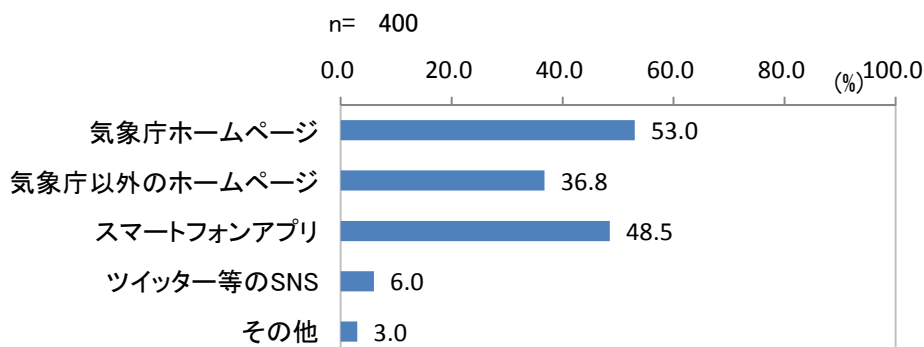


※n=29 以下は参考値

(27) 竜巻注意情報のモバイル端末入手経路

Q26 モバイル端末等を利用して「竜巻注意情報」をどこから入手していますか。当てはまるものを全て選んでください。

n=400 ベース：竜巻注意情報の入手にモバイル端末を利用している人



竜巻注意情報のモバイル端末入手経路について、「気象庁ホームページ」が5割台半ばで最も高く、次いで「スマートフォンアプリ」が5割弱となっている。

(内訳)

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

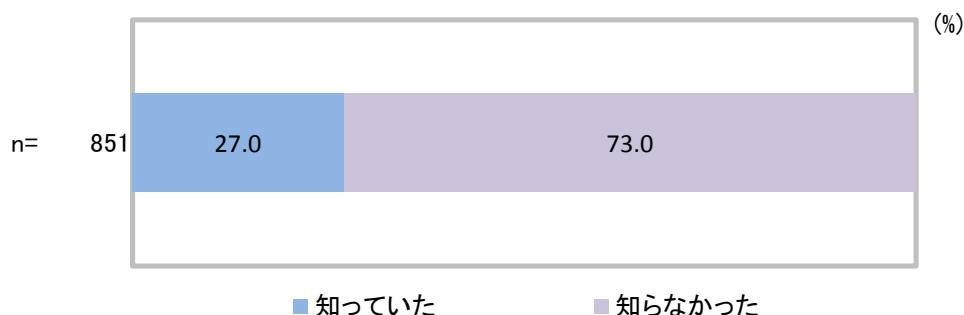
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	気象庁ホームページ	気象庁以外のホームページ	スマートフォンアプリ	ツイッター等のSNS	その他
全体	400	53.0	36.8	48.5	6.0	3.0
性別						
男性	249	52.2	39.4	49.8	3.2	2.4
女性	151	54.3	32.5	46.4	10.6	4.0
年代別						
20代	58	62.1	43.1	39.7	13.8	0.0
30代	68	47.1	41.2	57.4	14.7	2.9
40代	81	54.3	42.0	51.9	1.2	0.0
50代	75	50.7	28.0	56.0	4.0	1.3
60代以上	118	52.5	33.1	40.7	1.7	7.6
地方予報区別						
北海道地方	21	42.9	28.6	71.4	9.5	4.8
東北地方	35	45.7	48.6	40.0	2.9	11.4
関東甲信地方	119	52.9	39.5	48.7	7.6	1.7
東海地方	50	58.0	46.0	50.0	8.0	2.0
北陸地方	13	69.2	38.5	53.8	0.0	0.0
近畿地方	70	51.4	32.9	44.3	4.3	2.9
中国地方	19	47.4	31.6	52.6	0.0	0.0
四国地方	11	54.5	18.2	54.5	0.0	9.1
九州北部地方	47	59.6	23.4	44.7	4.3	2.1
九州南部・奄美地方	8	37.5	50.0	50.0	12.5	0.0
沖縄地方	7	57.1	42.9	42.9	28.6	0.0

(28) 目撃情報を付加した確度の高い竜巻注意情報の認知

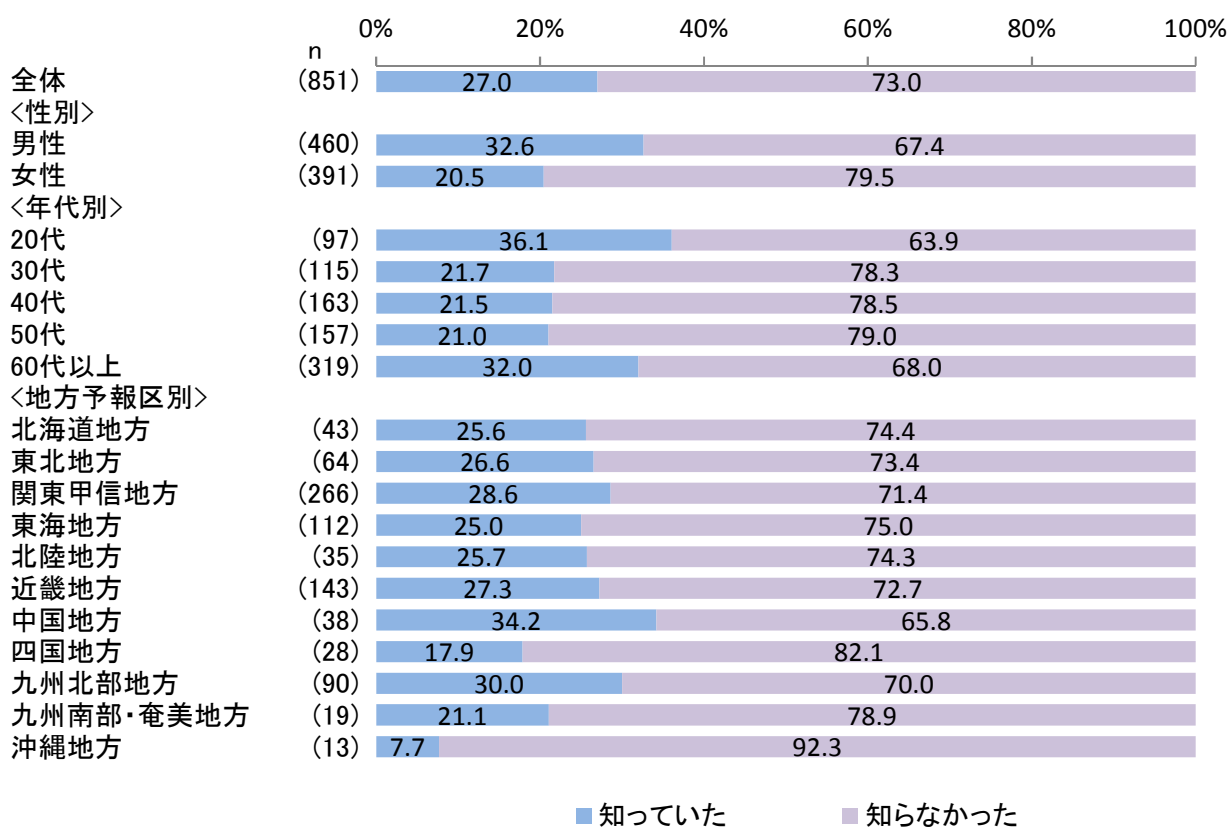
Q27 あなたは、目撃情報を付加した確度の高い竜巻注意情報を知っていましたか。

n=851 ベース：竜巻注意情報を大いに利用している、利用することがある人



目撃情報を付加した確度の高い竜巻注意情報について、「知っていた」という回答は3割弱となっている。

(内訳)

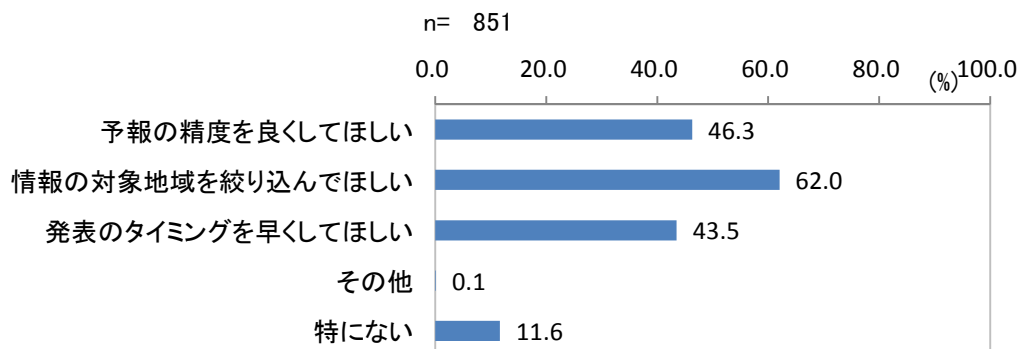


※n=29 以下は参考値

(29) 竜巻注意情報に対する要望

Q28 「竜巻注意情報」について、要望がありましたら、当てはまるものを全て選んでください。

n=851 ベース：竜巻注意情報を大いに利用している、利用することがある人



竜巻注意情報に対する要望について、「情報の対象地域を絞り込んでほしい」という回答が6割強で最も高くなっている。

(内訳)

* ■ は全体+10ポイント以上、■ は+5ポイント以上、■ は-10ポイント以下、■ は-5ポイント以下

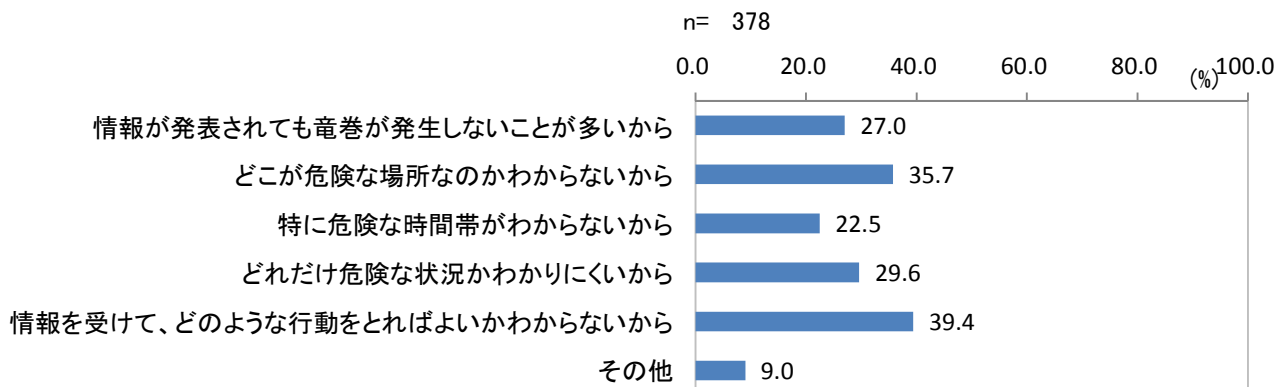
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

		n	予報の精度を良くしてほしい	情報の対象地域を絞り込んでほしい	早く発表してほしい	その他	特にない
全体		851	46.3	62.0	43.5	0.1	11.6
性別	男性	460	47.6	58.3	43.9	0.2	12.8
	女性	391	44.8	66.5	43.0	0.0	10.2
年代別	20代	97	44.3	56.7	36.1	0.0	12.4
	30代	115	52.2	64.3	42.6	0.0	9.6
	40代	163	50.3	58.9	44.8	0.0	10.4
	50代	157	48.4	60.5	46.5	0.0	12.1
	60代以上	319	41.7	65.2	43.9	0.3	12.5
地方予報区別	北海道地方	43	37.2	48.8	37.2	2.3	20.9
	東北地方	64	50.0	73.4	39.1	0.0	9.4
	関東甲信地方	266	46.6	62.0	43.6	0.0	11.7
	東海地方	112	52.7	61.6	49.1	0.0	9.8
	北陸地方	35	45.7	62.9	45.7	0.0	8.6
	近畿地方	143	41.3	62.2	32.2	0.0	16.1
	中国地方	38	39.5	57.9	52.6	0.0	10.5
	四国地方	28	53.6	71.4	50.0	0.0	3.6
	九州北部地方	90	46.7	57.8	48.9	0.0	8.9
	九州南部・奄美地方	19	63.2	73.7	52.6	0.0	5.3
沖縄地方	13	30.8	53.8	61.5	0.0	15.4	

(30) 竜巻注意情報の非利用理由

Q29 「竜巻注意情報」を利用していない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

n=378 ベース：竜巻注意情報を認知しており、利用していない人



竜巻注意情報の非利用理由について、「情報を受けて、どのような行動をとればよいかわからないから」という回答が4割弱で最も高く、次いで「どこが危険な場所なのかわからないから」が3割台半ばとなっている。

(内訳)

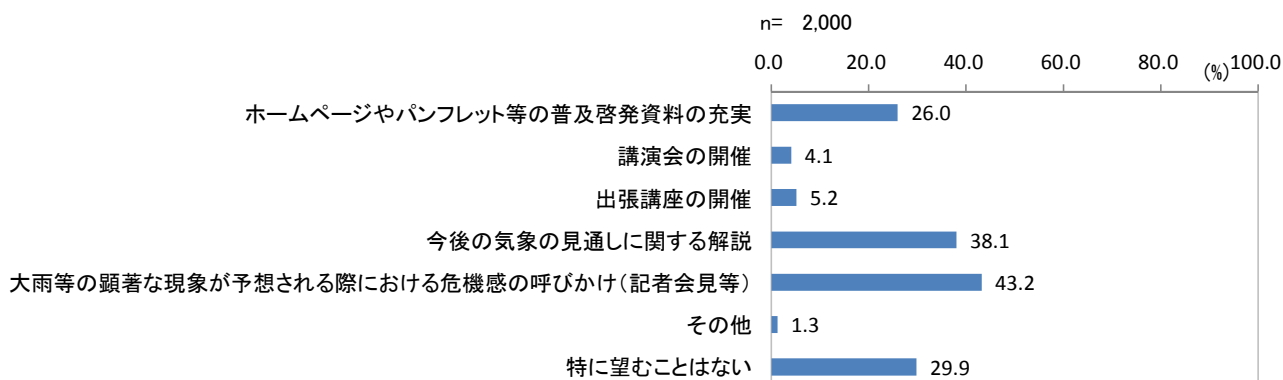
* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	と竜巻情報が多発から生じたこと	のどかが危険な場所	わかに危険な時間帯	かどわれかだけに危険な状況	らよ情報かなをわけて、いれどか	その他
全体	378	27.0	35.7	22.5	29.6	39.4	9.0
性別							
男性	171	29.2	31.0	22.8	31.0	40.9	7.6
女性	207	25.1	39.6	22.2	28.5	38.2	10.1
年代別							
20代	62	37.1	33.9	21.0	43.5	50.0	6.5
30代	73	24.7	28.8	21.9	32.9	34.2	12.3
40代	61	36.1	41.0	23.0	26.2	37.7	8.2
50代	51	23.5	35.3	15.7	23.5	31.4	7.8
60代以上	131	20.6	38.2	26.0	25.2	41.2	9.2
地方予報区別							
北海道地方	17	47.1	35.3	35.3	35.3	47.1	5.9
東北地方	22	36.4	22.7	9.1	13.6	40.9	13.6
関東甲信地方	123	22.8	32.5	20.3	23.6	36.6	12.2
東海地方	47	19.1	34.0	21.3	34.0	40.4	6.4
北陸地方	13	23.1	30.8	38.5	38.5	53.8	0.0
近畿地方	79	34.2	38.0	22.8	34.2	43.0	8.9
中国地方	19	31.6	26.3	26.3	21.1	26.3	10.5
四国地方	15	26.7	40.0	6.7	46.7	40.0	6.7
九州北部地方	35	17.1	48.6	25.7	31.4	40.0	5.7
九州南部・奄美地方	7	42.9	71.4	42.9	57.1	28.6	0.0
沖縄地方	1	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

(31) 平時も含め地元の気象台に望む取組

Q30 気象の知識の普及や防災気象情報の解説など、平時を含めて地元の気象台に望むことがありましたら、当てはまるものを全て選んでください。



平時も含め地元の気象台に望む取組について、「大雨等の顕著な現象が予想される際における危機感の呼びかけ（記者会見等）」という回答が4割台半ばと最も高く、次いで「今後の気象の見通しに関する解説」という回答が4割弱となっている。

(内訳)

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	ホームページ等の普及啓発資料の充実	講演会の開催	出張講座の開催	今後の気象の見通しに関する解説	大雨等の顕著な現象が予想される際における危機感の呼びかけ(記者会見等)	その他	特に望むことはない
全体	2000	26.0	4.1	5.2	38.1	43.2	1.3	29.9
性別	男性	28.8	5.2	5.4	37.9	38.6	1.7	30.2
	女性	23.1	3.0	5.0	38.2	47.7	0.9	29.5
年代別	20代	22.9	5.3	5.3	37.4	34.7	1.1	36.6
	30代	23.2	5.2	7.0	36.3	39.9	1.2	32.0
	40代	26.2	4.6	4.6	40.0	42.1	0.8	27.4
	50代	25.9	3.6	4.8	36.1	41.3	0.6	31.0
	60代以上	28.3	3.1	4.8	39.0	49.6	2.0	27.0
地方予報区別	北海道地方	28.4	2.3	6.8	36.4	52.3	5.7	22.7
	東北地方	27.1	4.3	7.9	40.7	40.0	2.1	27.9
	関東甲信地方	26.0	4.6	5.0	36.7	40.8	0.5	33.1
	東海地方	29.2	2.1	4.2	39.0	36.4	1.7	30.5
	北陸地方	22.5	3.8	3.8	38.8	47.5	1.3	23.8
	近畿地方	22.7	4.0	4.3	35.7	45.3	2.5	30.1
	中国地方	24.7	5.2	5.2	36.1	40.2	1.0	25.8
	四国地方	23.3	3.3	1.7	51.7	55.0	0.0	28.3
	九州北部地方	26.4	4.4	6.0	42.9	50.5	0.0	25.3
九州南部・奄美地方	31.6	7.9	13.2	31.6	44.7	0.0	34.2	
沖縄地方	31.8	4.5	4.5	36.4	50.0	0.0	27.3	

(32) 気象台による地域防災支援の取組に対する意見

Q31 気象台が発表する防災気象情報の精度やわかりやすさ、気象台による気象状況の解説等、気象台による地域防災支援の取組についてご意見がありましたら、ご自由にご入力ください。

予測精度の向上や細分化された情報提供など、予報技術の向上に係る要望のほか、受け手が理解できるわかりやすい内容の情報・解説への要望が目立った。

また、情報を受けて各自が行動判断できるための普及啓発や、災害の危険度を認識しやすくするために参考となる過去の災害の周知など、平時からの気象台の取組への要望も見られた。

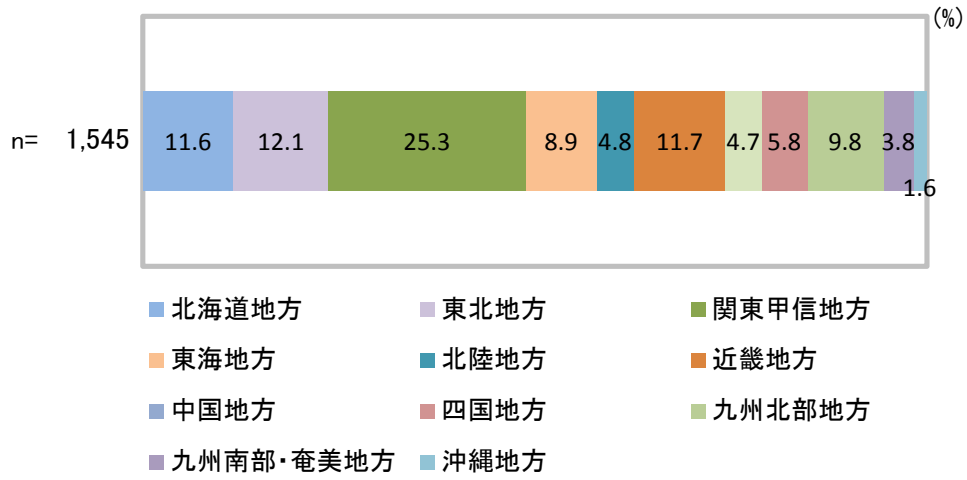
(主な意見・要望)

- ・ 予測精度の向上、より早く、より細分化された情報提供
- ・ 危険度を明確にした情報提供・呼びかけ
- ・ 受け手が理解できるわかりやすい情報・解説
- ・ 情報を受けて各自が行動判断できるための普及啓発・教育
- ・ Web による積極的な情報発信
- ・ 過去の災害に関する周知
- ・ 気象台の取り組みの積極的なPR

2. 自治体

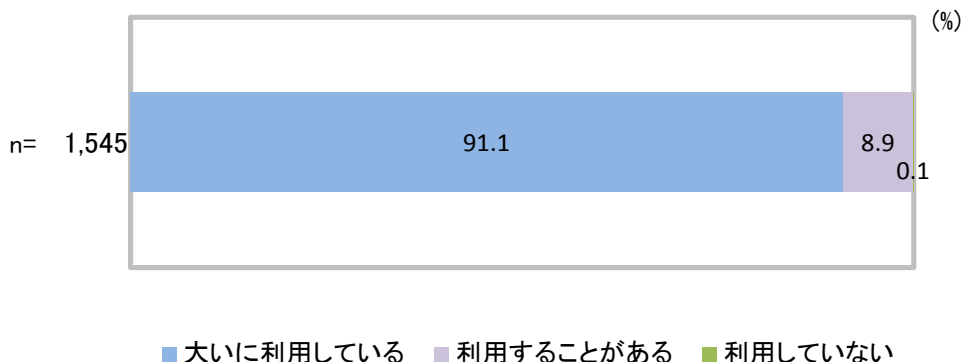
(1) 対象者属性

所在地



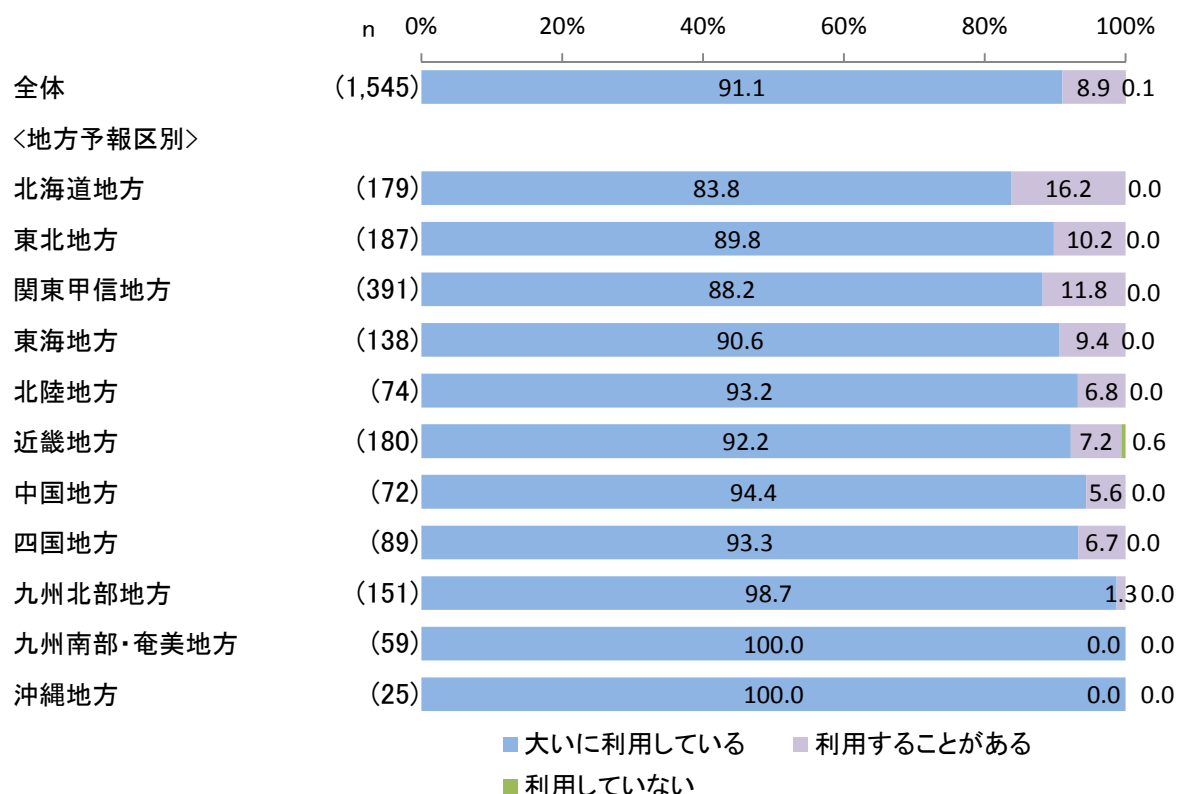
(2) 台風情報の防災対応における利用有無

Q1 貴機関では、「台風情報」を、防災態勢の構築や避難勧告等の判断などの防災対応に利用していますか。



台風情報の防災対応における利用有無について、「大いに利用している」という回答は9割強、「利用することがある」という回答は1割弱となっており、利用経験者は合わせてほぼ100%となっている。

(内訳)

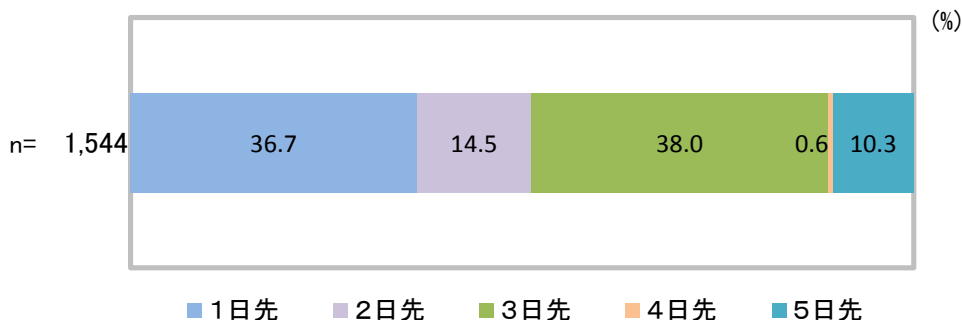


※n=29以下は参考値

(3) 何日先の台風の予報を最も利用（重視）しているか

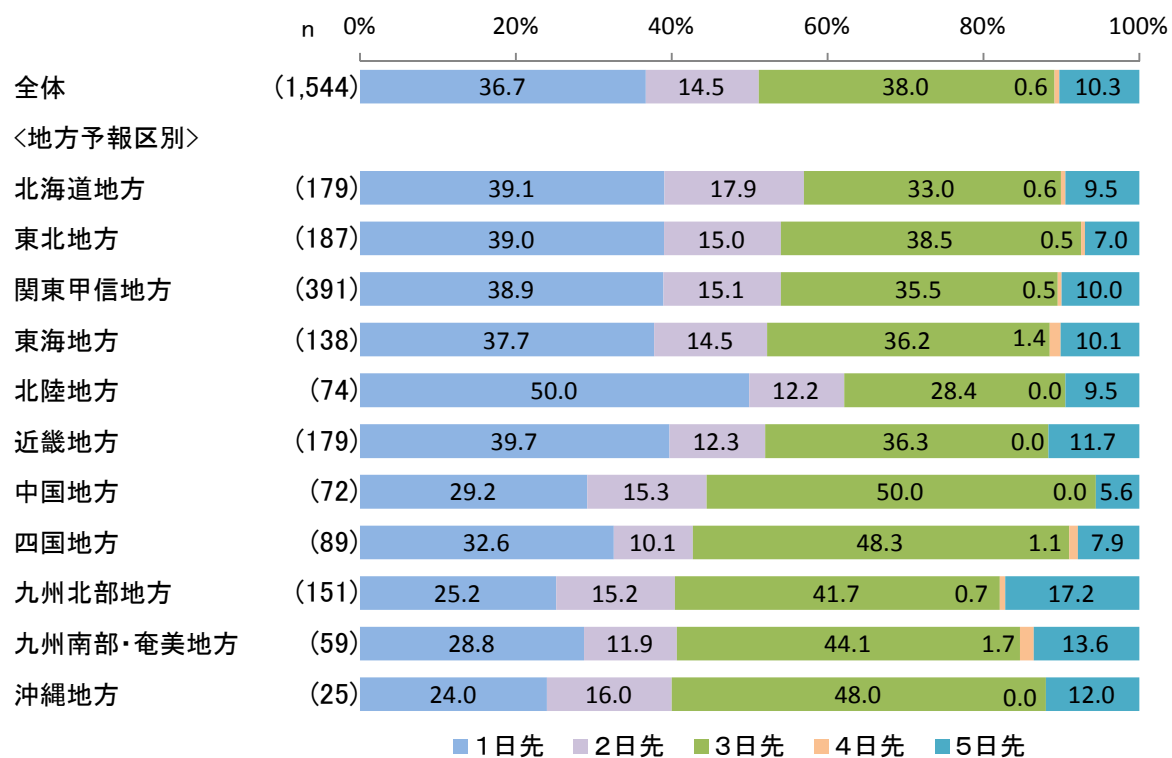
Q2 何日先の台風の予報を最も利用（重視）していますか。

n=1,544 ベース：台風情報を大いに利用している・利用することがある機関



何日先の台風の予報を最も利用（重視）しているかについて、「3日先」という回答が4割弱で最も高く、次いで「1日先」が3割台半ばとなっている。

(内訳)

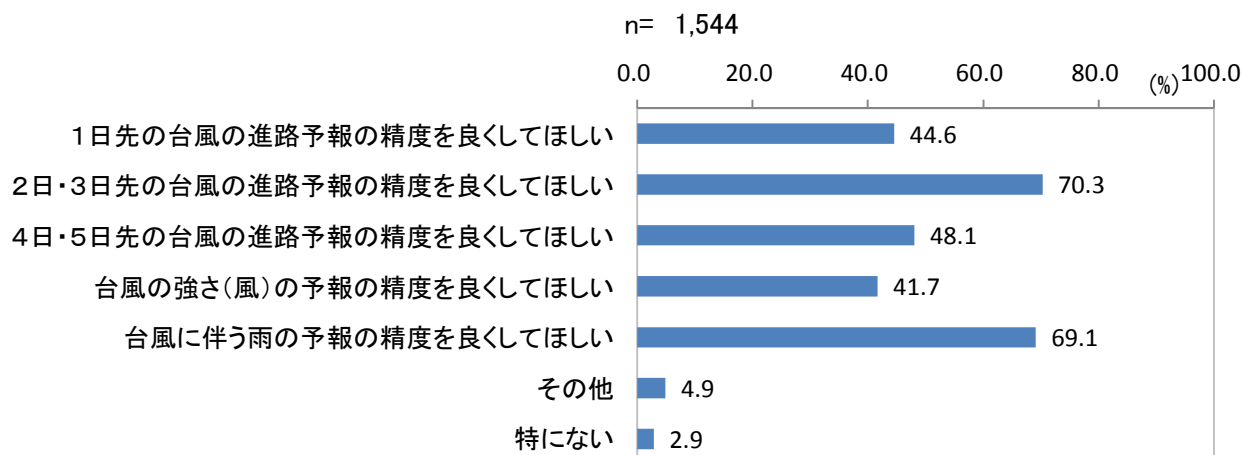


※n=29 以下は参考値

(4) 台風情報に対する要望

Q3 「台風情報」をはじめとした台風の予報について要望がありましたら、当てはまるものを選んでください。

n=1,544 ベース：台風情報を大いに利用している・利用することがある機関



台風情報に対する要望について、「2日・3日先の台風の進路予報の精度を良くしてほしい」、「台風に伴う雨の予報の精度を良くしてほしい」という回答が、いずれも7割前後となっている。

(内訳)

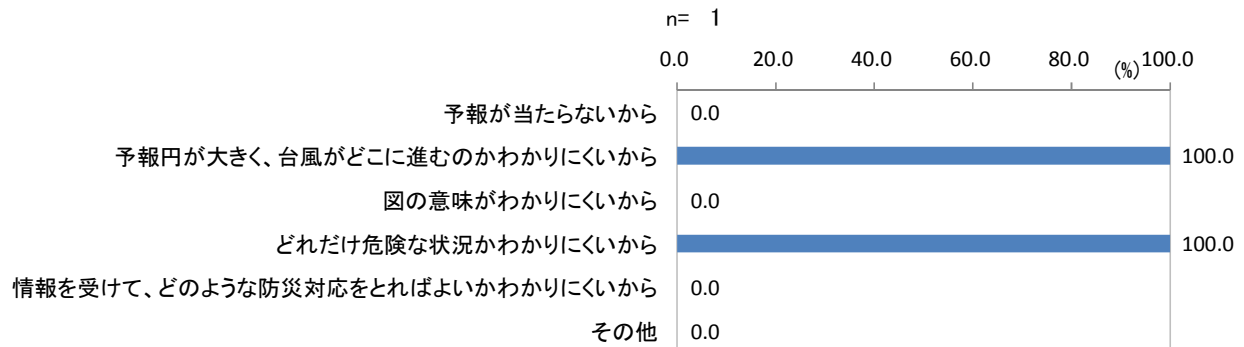
* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	1日先の台風の進路予報の精度を良くしてほしい	2日・3日先の台風の進路予報の精度を良くしてほしい	4日・5日先の台風の進路予報の精度を良くしてほしい	台風の強さ(風)の予報の精度を良くしてほしい	台風に伴う雨の予報の精度を良くしてほしい	その他	特にない	
全体	1544	44.6	70.3	48.1	41.7	69.1	4.9	2.9	
地方予報区別	北海道地方	179	43.6	70.4	35.8	52.5	70.9	7.3	3.4
	東北地方	187	45.5	71.7	35.3	47.1	75.9	2.7	3.2
	関東甲信地方	391	47.8	68.0	45.8	38.4	69.6	4.3	3.8
	東海地方	138	47.1	69.6	52.9	44.2	70.3	4.3	2.9
	北陸地方	74	40.5	64.9	54.1	45.9	68.9	2.7	4.1
	近畿地方	179	44.1	74.9	50.8	40.2	73.2	4.5	1.1
	中国地方	72	41.7	73.6	55.6	41.7	69.4	2.8	1.4
	四国地方	89	38.2	73.0	52.8	28.1	65.2	6.7	6.7
	九州北部地方	151	44.4	72.2	62.3	38.4	62.3	6.6	1.3
	九州南部・奄美地方	59	39.0	71.2	55.9	32.2	52.5	8.5	0.0
沖縄地方	25	44.0	52.0	64.0	52.0	56.0	8.0	0.0	

(5) 台風の予報の非利用理由

Q4 「台風情報」をあまり利用していない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

n=1 ベース：台風情報を認知しており、利用していない機関



n が 29 以下のため、分析を省略する。

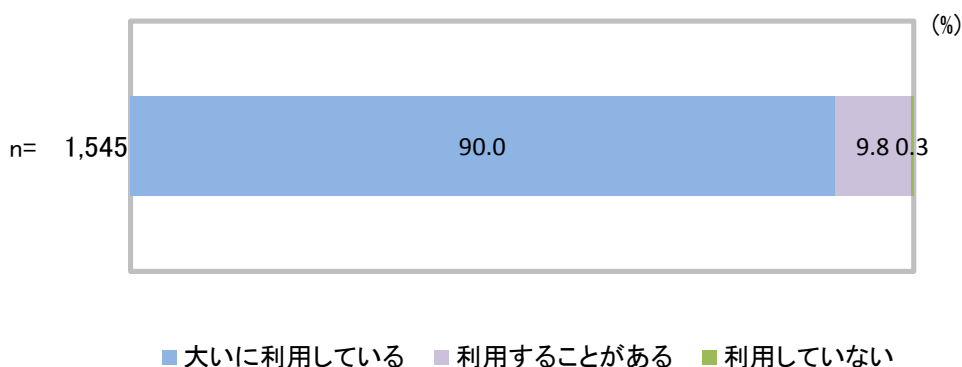
(内訳)

* ■ は全体+10ポイント以上、■ は+5ポイント以上、■ は-10ポイント以下、■ は-5ポイント以下
 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	予報が当たらないか	予報円が大きく、台風がどこに進むのかわかりにくいから	図の意味がわかりにくいから	どれだけ危険な状況かわかりにくいから	情報を受けて、どのような防災対応をとればよいかわかりにくいから	その他	
全体	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
地方予報区別	北海道地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	東北地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	関東甲信地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	東海地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	北陸地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	近畿地方	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	中国地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	四国地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	九州北部地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	九州南部・奄美地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
沖縄地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

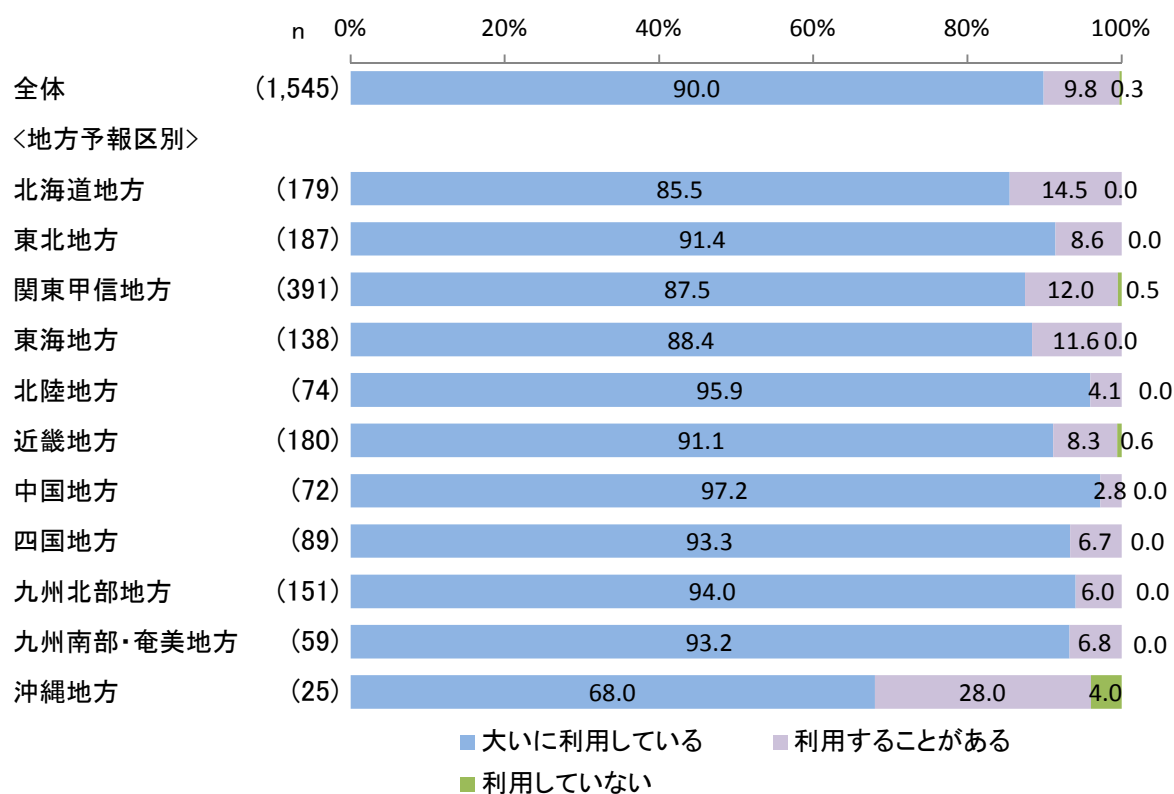
(6) 段階的に発表される大雨に関する情報の防災対応における利用有無

Q5 貴機関では、段階的に発表される「大雨注意報」、「大雨警報」及び「土砂災害警戒情報」を、防災態勢の構築や避難勧告等の判断などの防災対応に利用していますか。



段階的に発表される大雨に関する情報の防災対応における利用有無について、「大いに利用している」という回答は9割、「利用することがある」という回答は1割弱となっており、利用経験者は合わせてほぼ100%となっている。

(内訳)

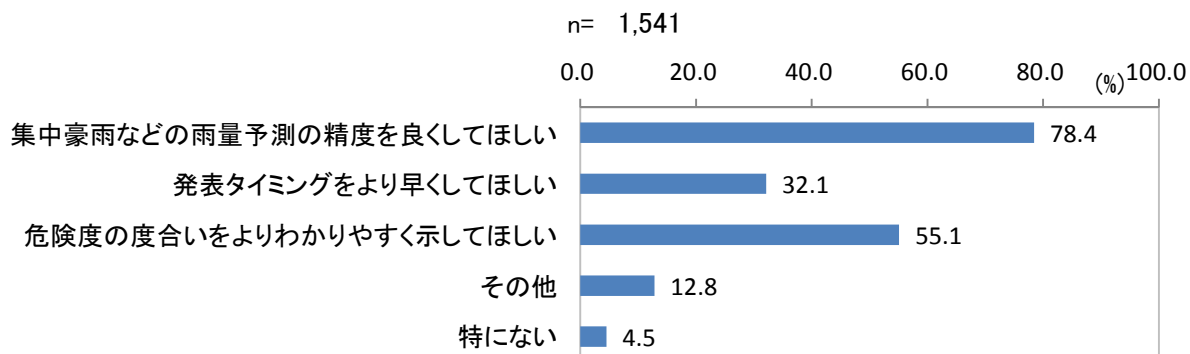


※n=29 以下は参考値

(7) 大雨に関する情報に対する要望

Q6 「大雨注意報」、「大雨警報」及び「土砂災害警戒情報」について要望がありましたら、当てはまるものを全て選んでください。

n=1,541 ベース：大雨注意報、大雨警報及び土砂災害警戒情報を大いに利用している・利用することがある機関



大雨に関する情報に対する要望について、「集中豪雨などの雨量予測の精度を良くしてほしい」という回答が8割弱で最も高く、次いで「危険度の度合いをよりわかりやすく示してほしい」が5割台半ばとなっている。

(内訳)

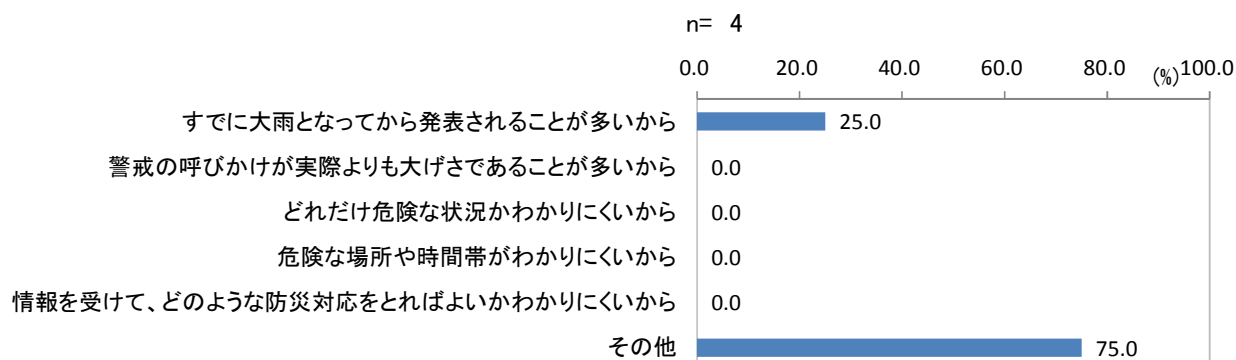
* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	て予集 ほ測中 しの豪 い精雨 度な をど 良の く雨 し量	り発 早表 くタ して ほ し グ を よ	てり危 ほわ險 しか度 いりの や度 す合 くい 示を しよ	そ の 他	特 に ない	
全体	1541	78.4	32.1	55.1	12.8	4.5	
地方予報区別	北海道地方	179	76.0	34.6	54.7	12.3	5.0
	東北地方	187	80.7	36.9	54.5	10.2	3.7
	関東甲信地方	389	79.9	31.4	56.3	13.6	4.1
	東海地方	138	80.4	38.4	52.9	15.2	2.9
	北陸地方	74	74.3	33.8	52.7	9.5	6.8
	近畿地方	179	76.5	25.1	58.1	16.8	2.8
	中国地方	72	86.1	34.7	51.4	9.7	4.2
	四国地方	89	82.0	31.5	57.3	11.2	4.5
	九州北部地方	151	75.5	21.2	51.7	14.6	8.6
	九州南部・奄美地方	59	78.0	39.0	57.6	8.5	0.0
沖縄地方	24	50.0	45.8	58.3	4.2	12.5	

(8) 大雨に関する情報の非利用理由

Q7 「大雨注意報」、「大雨警報」及び「土砂災害警戒情報」をあまり利用していない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

n=4 ベース：大雨注意報、大雨警報及び土砂災害警戒情報を認知しており、利用していない機関



n が 29 以下のため、分析を省略する。

(内訳)

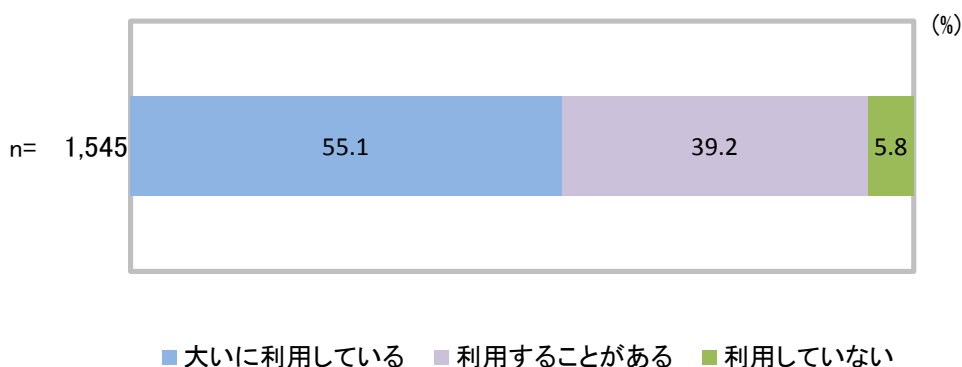
* ■ は全体 +10ポイント以上、■ は +5ポイント以上、■ は -10ポイント以下、■ は -5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	が 多 い か ら	る 際 こ よ と り の が も 多 い げ か さ け ら で が あ 実	か ど わ れ か だ り に 危 険 な 状 況	が 危 わ な か な り 場 に 所 く や い 時 か 間 帯	く れ い ば よ い 防 災 に の	情 報 を 受 け て ど の	そ の 他
全体	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
地方予報区別	北海道地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	東北地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	関東甲信地方	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	東海地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	北陸地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	近畿地方	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	中国地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	四国地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	九州北部地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	九州南部・奄美地方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
沖縄地方	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

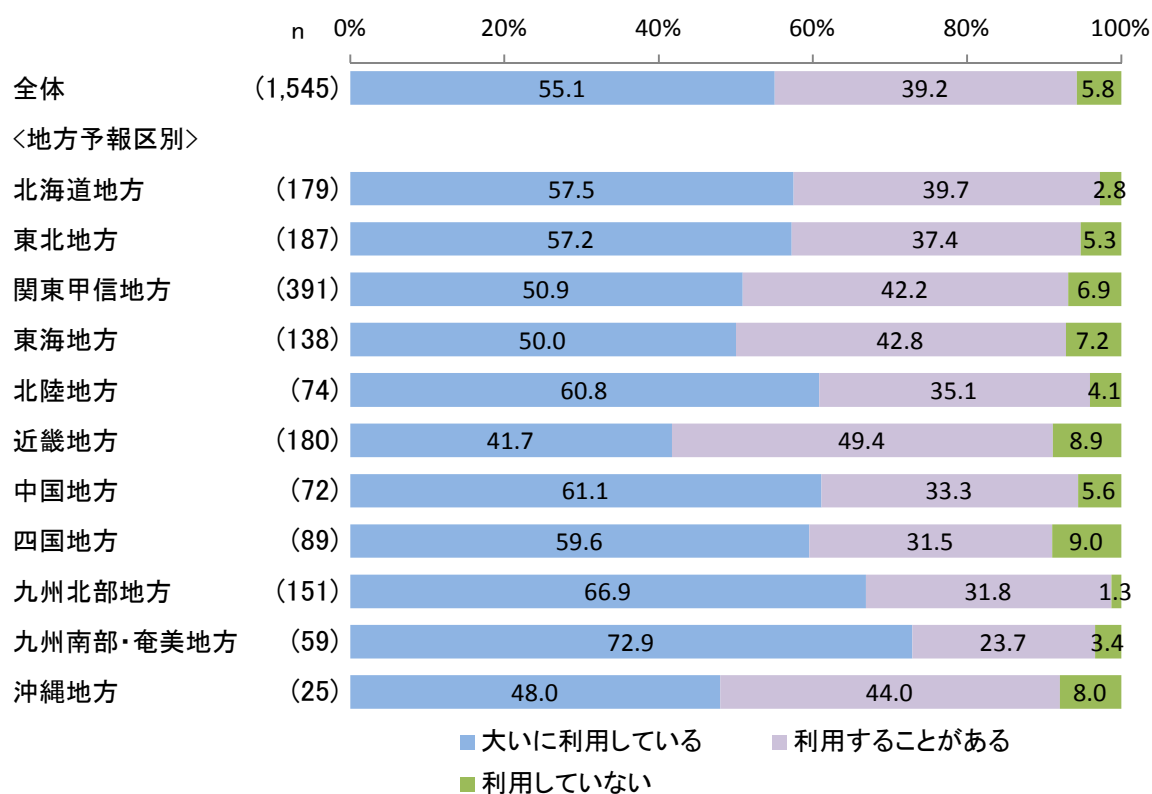
(9) 記録的短時間大雨情報の防災対応における利用有無

Q8 貴機関では、「記録的短時間大雨情報」を、避難勧告等の判断などの防災対応に利用していますか。



記録的短時間大雨情報の防災対応における利用有無について、「大いに利用している」という回答は5割半ば、「利用することがある」という回答は4割弱となっており、利用経験者は合わせて9割台半ばとなっている。

(内訳)

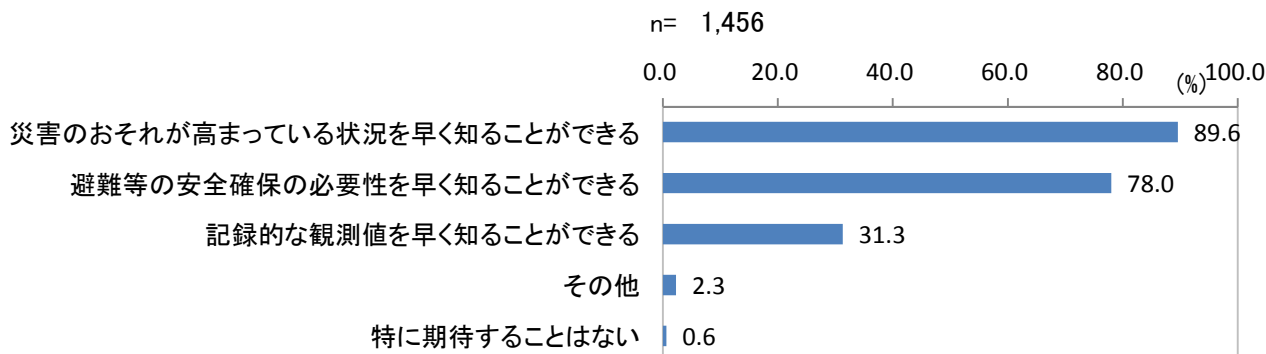


※n=29 以下は参考値

(10) 記録的短時間大雨情報が最大 30 分早く提供されることに対する期待

Q9 本年 9 月 28 日から、「記録的短時間大雨情報」が最大 30 分早く提供されるようになりました。これにより、防災対応において貴機関が期待することがあれば、当てはまるものを全て選んでください。

n=1,456 ベース：記録的短時間大雨情報を大いに利用している・利用することがある機関



記録的短時間大雨情報が最大 30 分早く提供されることに対する期待について、「災害のおそれが高まっている状況を早く知ることができる」という回答は 9 割弱で最も高く、次いで「避難等の安全確保の必要性を早く知ることができる」が 8 割弱となっている。

(内訳)

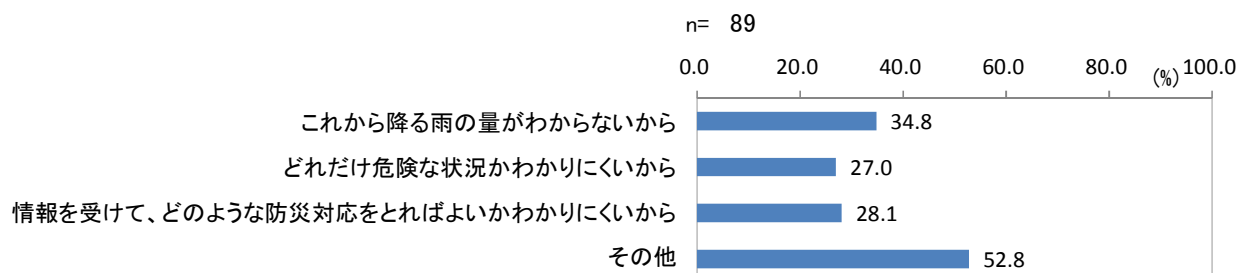
* ■ は全体 +10ポイント以上、■ は +5ポイント以上、■ は -10ポイント以下、■ は -5ポイント以下
* 赤字はベースが n=29 以下のため参考値

	n	くま 知つ るて こい とそ が状 で況 きを 高 る早	と必 が要 で性 きを の早 く全 知確 る保 この	く記 知録 る的 こな と観 が測 で値 きを 早	そ の 他	な特 いに 期待 する こと は
全体	1456	89.6	78.0	31.3	2.3	0.6
北海道地方	174	87.9	73.6	39.1	2.9	0.0
東北地方	177	90.4	84.2	33.3	1.1	0.0
関東甲信地方	364	89.8	75.0	32.4	1.6	1.6
東海地方	128	88.3	78.9	24.2	2.3	0.0
北陸地方	71	94.4	80.3	31.0	0.0	0.0
近畿地方	164	87.8	73.2	26.8	3.7	1.2
中国地方	68	86.8	79.4	33.8	0.0	0.0
四国地方	81	91.4	79.0	23.5	4.9	0.0
九州北部地方	149	91.9	83.2	29.5	2.7	0.0
九州南部・奄美地方	57	87.7	78.9	29.8	5.3	1.8
沖縄地方	23	87.0	87.0	43.5	0.0	0.0

(11) 記録的短時間大雨情報の非利用理由

Q10 「記録的短時間大雨情報」をあまり利用していない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

n=89 ベース：記録的短時間大雨情報を認知しており、利用していない機関



記録的短時間大雨情報の非利用理由について、「これから降る雨の量がわからないから」という回答が3割台半ばとなっている。

「その他」は5割強と最も高い割合となっており、「これまで記録的短時間大雨情報が発表されたことがないため」、「当地域で発表された実績がないため」等が挙げられている。

(内訳)

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	がこ われ かか らら な降 いる か雨 らの 量	かど われ かだ りけ に危 く険 いな か状 ら況	くれよ情 いばう報 かよなを らい防受 か災け わ対て か応、 りをど にとの	そ の 他	
全体	89	34.8	27.0	28.1	52.8	
地方予報区別	北海道地方	5	40.0	20.0	20.0	40.0
	東北地方	10	50.0	30.0	40.0	50.0
	関東甲信地方	27	29.6	25.9	18.5	48.1
	東海地方	10	30.0	20.0	40.0	60.0
	北陸地方	3	0.0	33.3	33.3	33.3
	近畿地方	16	50.0	37.5	25.0	62.5
	中国地方	4	25.0	50.0	25.0	75.0
	四国地方	8	37.5	25.0	37.5	50.0
	九州北部地方	2	0.0	0.0	50.0	50.0
	九州南部・奄美地方	2	50.0	0.0	0.0	50.0
沖縄地方	2	0.0	0.0	50.0	50.0	

(12) 今後の技術の進展により実現が望まれる大雨に関する情報

Q11 大雨時等における早めの避難勧告・指示の判断等に一層資する情報として、今後の技術の進展により実現すると望ましいと考えられるものがありましたら、ご自由にご入力ください。

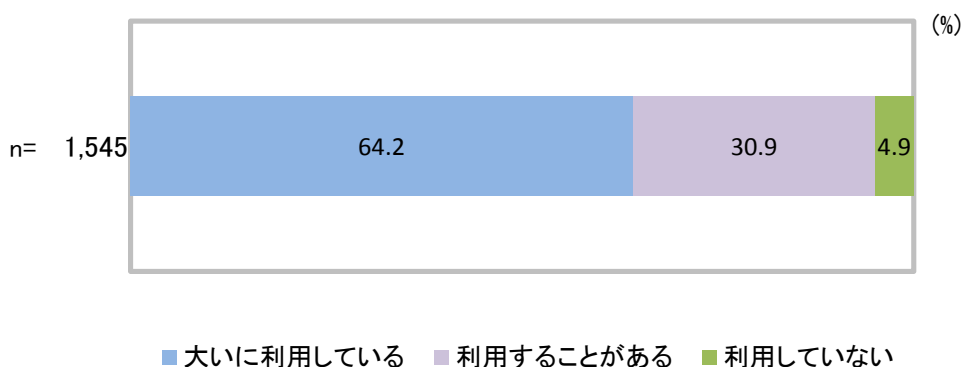
今後の技術の進展により実現が望まれる、大雨時等における早めの避難勧告・指示の判断等に一層資する情報として考えられるものとして、夜間の防災態勢の構築に資するよう、夜間の集中豪雨を半日前（明るいうち）から精度良く予測するなど、早い段階から地域を絞った精度の高い予報や、広域避難の判断等に資するよう、3日前からの精度の高い台風の進路予報などの回答が見られた。

(主な意見・要望)

- ・ 集中豪雨を半日前から高精度に予測する情報
- ・ 3日前からの精度の高い台風の進路予報
- ・ より細かい土砂災害のメッシュ情報
- ・ より的確な注意報・警報の発表
- ・ より地域を絞り込んだ情報提供

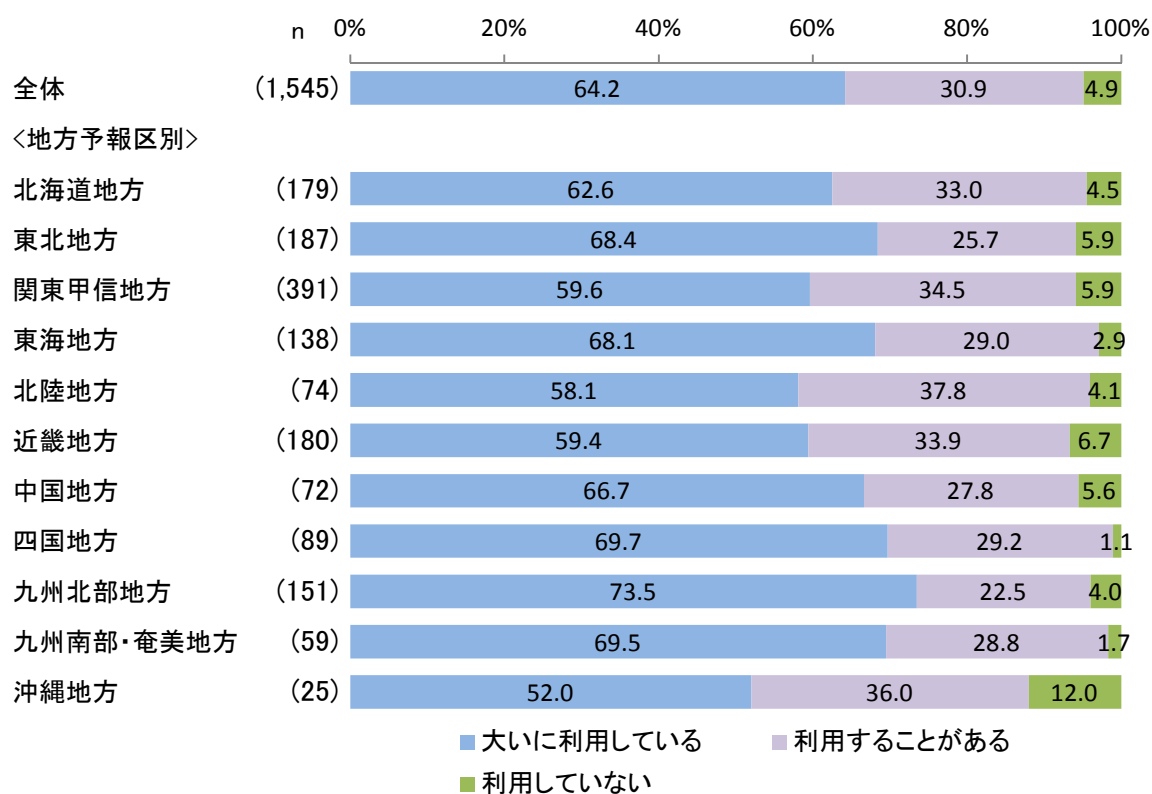
(13) 高解像度降水ナウキャストの防災対応における利用有無

Q12 貴機関では、「高解像度降水ナウキャスト」を、避難勧告等の判断などの防災対応に利用していますか。



高解像度降水ナウキャストの防災対応における利用有無について、「大いに利用している」という回答は6割半ば、「利用することがある」という回答は約3割となっており、利用経験者は合わせて9割台半ばとなっている。

(内訳)

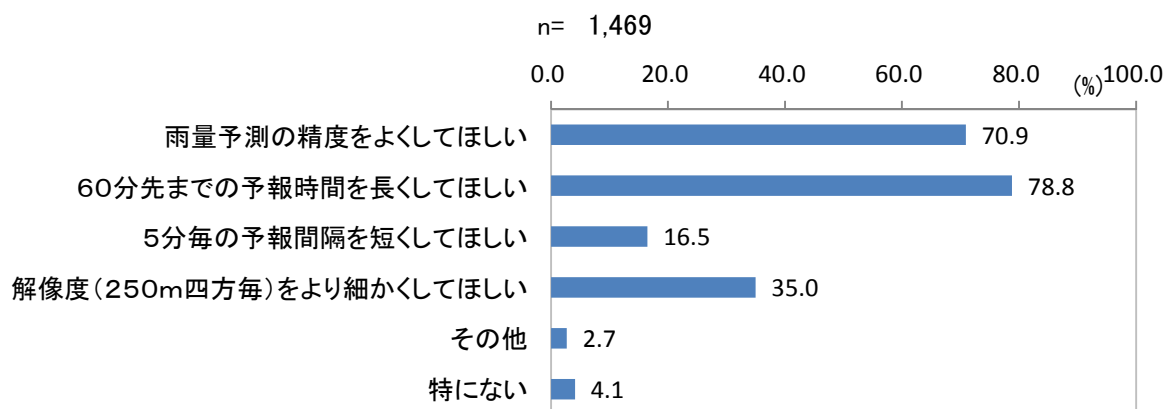


※n=29 以下は参考値

(14) 高解像度降水ナウキャストに対する要望

Q13 「高解像度降水ナウキャスト」を防災対応に活用する上で要望がありましたら、当てはまるものを全て選んでください。

n=1,469 ベース：高解像度降水ナウキャストを大いに利用している・利用することがある機関



高解像度降水ナウキャストに対する要望について、「60分先までの予報時間を長くしてほしい」という回答が8割弱で最も高く、次いで「雨量予測の精度をよくしてほしい」という回答が約7割となっている。

(内訳)

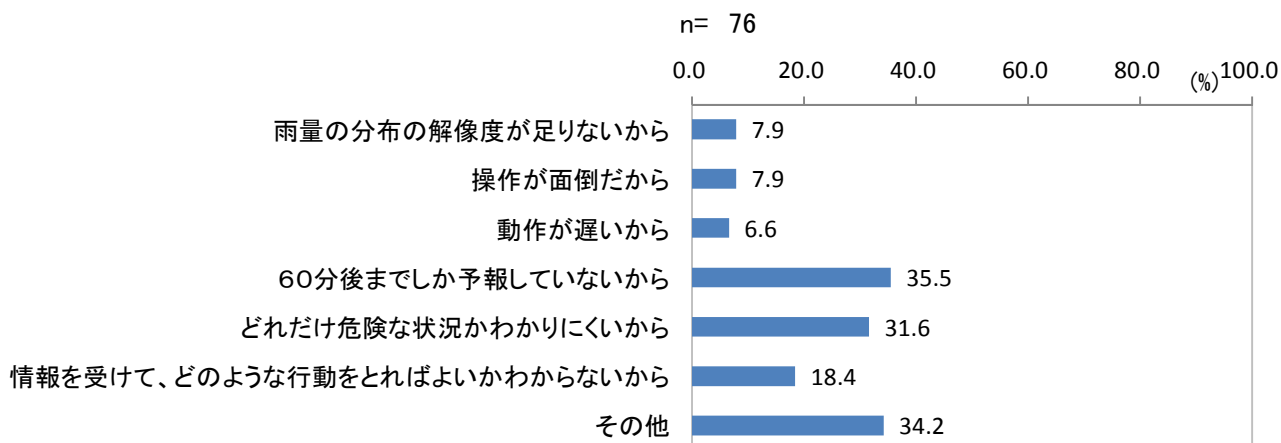
* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	雨量予測の精度をよくしてほしい	60分先までの予報時間を長くしてほしい	5分毎の予報間隔を短くしてほしい	解像度(250m四方毎)をより細かくしてほしい	その他	特にない	
全体	1469	70.9	78.8	16.5	35.0	2.7	4.1	
地方予報区別	北海道地方	171	71.3	74.3	15.8	38.6	4.1	6.4
	東北地方	176	74.4	75.6	17.6	34.1	1.7	4.0
	関東甲信地方	368	70.9	78.3	16.3	38.3	3.5	3.3
	東海地方	134	74.6	82.1	23.1	32.8	3.0	3.7
	北陸地方	71	67.6	73.2	11.3	31.0	2.8	5.6
	近畿地方	168	72.6	82.7	16.7	38.1	1.8	1.8
	中国地方	68	64.7	86.8	19.1	41.2	4.4	2.9
	四国地方	88	76.1	75.0	11.4	27.3	0.0	5.7
	九州北部地方	145	66.2	84.8	15.2	28.3	2.8	4.1
	九州南部・奄美地方	58	65.5	82.8	12.1	27.6	0.0	1.7
沖縄地方	22	59.1	59.1	22.7	36.4	0.0	18.2	

(15) 高解像度降水ナウキャストの非利用理由

Q14 「高解像度降水ナウキャスト」をあまり利用していない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

n=76 ベース：高解像度降水ナウキャストを認知しており、利用していない機関



高解像度降水ナウキャストの非利用理由について、「60分後までしか予報していないから」という回答が3割半ばで最も高く、次いで「どれだけ危険な状況かわかりにくいから」という回答が3割強となっている。

「その他」は3割半ばと比較的高い割合となっており、Xバンドレーダー、雨雲レーダー、アメダスなど他サービスを利用しているといった回答が挙げられている。

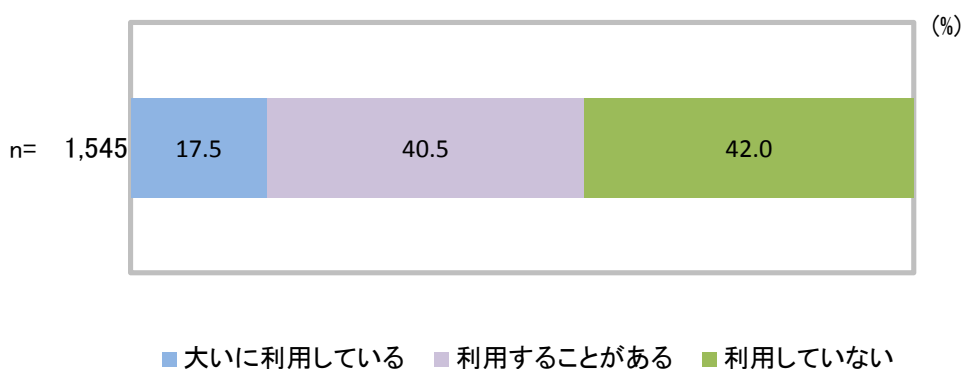
(内訳)

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	雨量の分布の解像度が足りないから	操作が面倒だから	動作が遅いから	60分後までしか予報していないから	どれだけ危険な状況かわかりにくいから	情報を受けて、どのような行動をとればよいかわからないから	その他	
全体	76	7.9	7.9	6.6	35.5	31.6	18.4	34.2	
地方予報区別	北海道地方	8	0.0	25.0	25.0	62.5	37.5	12.5	25.0
	東北地方	11	9.1	0.0	9.1	27.3	45.5	18.2	36.4
	関東甲信地方	23	4.3	4.3	4.3	26.1	39.1	21.7	47.8
	東海地方	4	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0
	北陸地方	3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
	近畿地方	12	8.3	8.3	0.0	41.7	16.7	25.0	16.7
	中国地方	4	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0
	四国地方	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	九州北部地方	6	16.7	0.0	16.7	83.3	16.7	0.0	16.7
	九州南部・奄美地方	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
沖縄地方	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

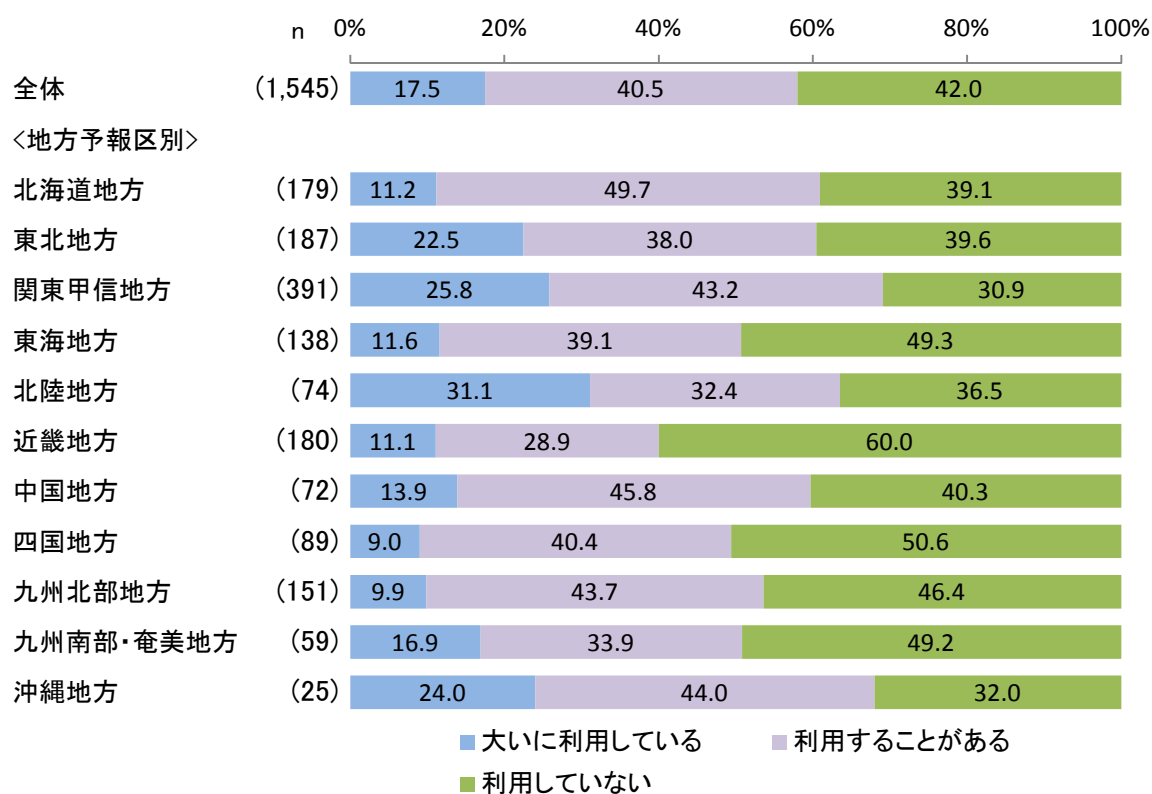
(16) 竜巻注意情報の防災対応における利用有無

Q15 貴機関では、「竜巻注意情報」を、住民への警戒呼びかけ等の防災対応に利用していますか。



竜巻注意情報の防災対応における利用有無について、「大いに利用している」という回答は2割弱、「利用することがある」という回答は約4割となっており、利用経験者は合わせて6割弱となっている。

(内訳)

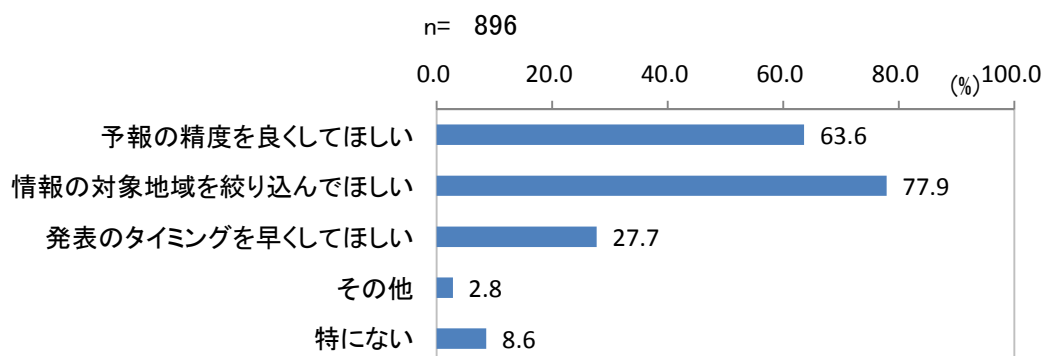


※n=29 以下は参考値

(17) 竜巻注意情報に対する要望

Q16 「竜巻注意情報」を防災対応に活用する上で要望がありましたら、当てはまるものを全て選んでください。

n=896 ベース：竜巻注意情報を大いに利用している・利用することがある機関



竜巻注意情報に対する要望について、「情報の対象地域を絞り込んでほしい」という回答が8割弱で最も高く、次いで「予報の精度を良くしてほしい」という回答が6割台半ばとなっている。

(内訳)

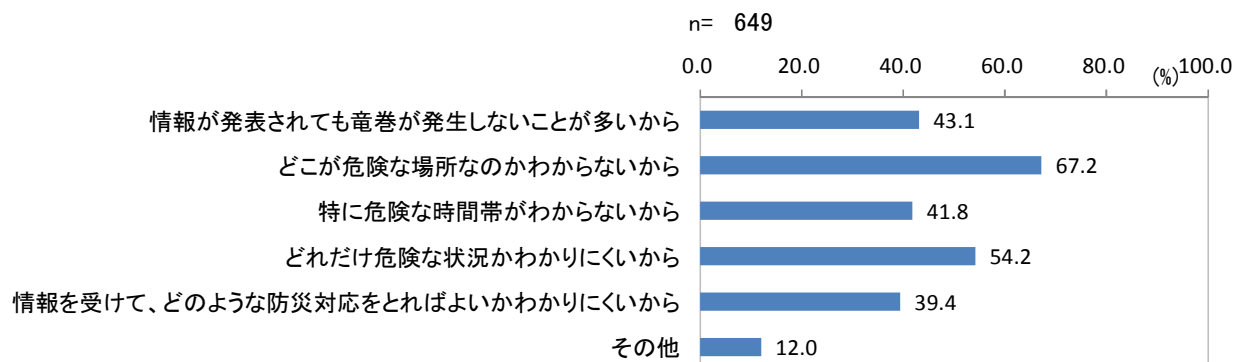
* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	予報の精度を良くしてほしい	情報の対象地域を絞り込んでほしい	発表のタイミングを早くしてほしい	その他	特にない	
全体	896	63.6	77.9	27.7	2.8	8.6	
地方予報区別	北海道地方	109	60.6	78.9	22.0	1.8	11.9
	東北地方	113	66.4	83.2	27.4	2.7	9.7
	関東甲信地方	270	68.1	77.4	28.5	4.1	7.0
	東海地方	70	71.4	78.6	27.1	2.9	5.7
	北陸地方	47	66.0	76.6	21.3	0.0	8.5
	近畿地方	72	63.9	73.6	27.8	1.4	6.9
	中国地方	43	53.5	72.1	32.6	2.3	14.0
	四国地方	44	61.4	68.2	22.7	4.5	11.4
	九州北部地方	81	54.3	77.8	38.3	3.7	7.4
	九州南部・奄美地方	30	56.7	90.0	16.7	0.0	6.7
沖縄地方	17	41.2	82.4	41.2	0.0	11.8	

(18) 竜巻注意情報の非利用理由

Q17 「竜巻注意情報」をあまり利用していない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

n=649 ベース：竜巻注意情報を認知しており、利用していない機関



竜巻注意情報の非利用理由について、「どこが危険な場所なのかわからないから」という回答が7割弱で最も高く、次いで「どれだけ危険な状況かわかりにくいから」が5割台半ばとなっている。

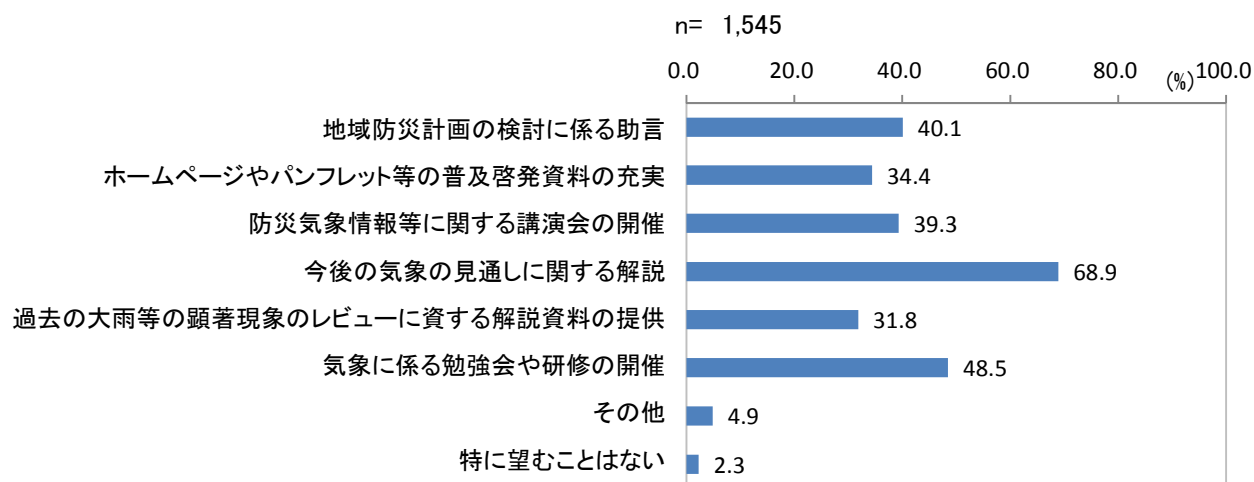
(内訳)

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	と竜情 が巻報 が多 い発 生さ ない こ も	のど か わ か ら な い 場 所 な 	わ か ら な い 時 間 帯 が	か ど わ れ か だ り け に 危 険 な 状 況	く れ い ば う か ら い 防 災 に 対 し て ど の よ う な 受 け こ み の 情 報 を 受 け て ど の よ う な 防 災 対 応 を と る の に 困 り が あ る か ら な い か ら	そ の 他	
全体	649	43.1	67.2	41.8	54.2	39.4	12.0	
地方予報区別	北海道地方	70	45.7	58.6	37.1	52.9	40.0	15.7
	東北地方	74	47.3	73.0	50.0	56.8	39.2	4.1
	関東甲信地方	121	43.8	56.2	32.2	44.6	38.0	11.6
	東海地方	68	30.9	69.1	41.2	48.5	39.7	16.2
	北陸地方	27	48.1	77.8	40.7	63.0	44.4	11.1
	近畿地方	108	52.8	72.2	46.3	63.0	38.9	9.3
	中国地方	29	41.4	72.4	37.9	62.1	41.4	13.8
	四国地方	45	42.2	77.8	53.3	57.8	42.2	13.3
	九州北部地方	70	28.6	65.7	41.4	51.4	32.9	18.6
九州南部・奄美地方	29	55.2	69.0	41.4	55.2	44.8	10.3	
沖縄地方	8	25.0	62.5	50.0	62.5	62.5	0.0	

(19) 平時における地域の防災力強化のために气象台に望むこと

Q18 平時において、地域の防災力強化のために气象台に望むことがあれば、当てはまるものを選んでください。



平時における地域の防災力強化のために气象台に望むことについて、「今後の気象の見通しに関する解説」という回答が7割弱で最も高く、次いで「気象に係る勉強会や研修の開催」が5割弱となっている。

(内訳)

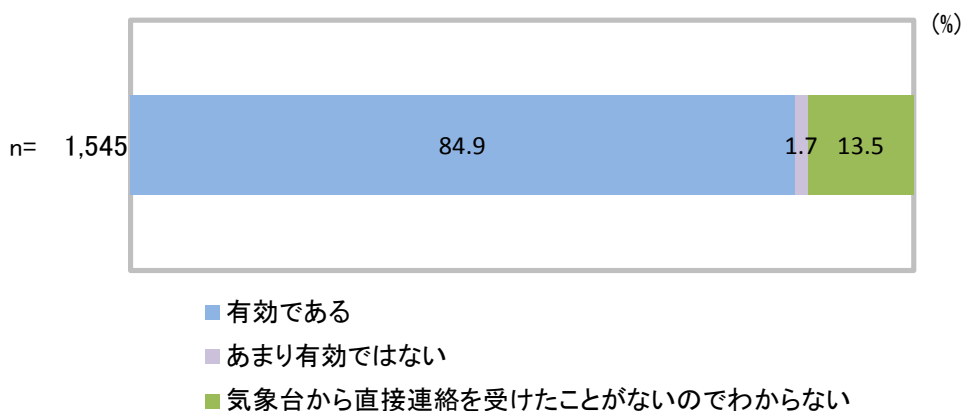
* ■ は全体+10ポイント以上、■ は+5ポイント以上、■ は-10ポイント以下、■ は-5ポイント以下

* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	地域防災計画の検討に係る助言	ホームページやパンフレット等の普及啓発資料の充実	防災気象情報等に関する講演会の開催	今後の気象の見通しに関する解説	過去の大雨等の顕著現象のレビューに資する解説資料の提供	気象に係る勉強会や研修の開催	その他	特に望むことはない	
全体	1545	40.1	34.4	39.3	68.9	31.8	48.5	4.9	2.3	
地方予報区別	北海道地方	179	49.7	29.6	36.3	70.4	32.4	47.5	6.1	0.6
	東北地方	187	40.1	32.1	35.8	71.1	32.6	49.7	2.1	3.2
	関東甲信地方	391	38.6	36.3	38.1	67.3	30.4	46.3	4.1	3.3
	東海地方	138	26.1	37.7	37.7	68.1	38.4	51.4	5.1	2.9
	北陸地方	74	36.5	33.8	35.1	71.6	20.3	48.6	2.7	0.0
	近畿地方	180	41.1	40.6	38.9	72.8	34.4	42.8	5.0	1.7
	中国地方	72	45.8	34.7	40.3	68.1	37.5	63.9	2.8	2.8
	四国地方	89	40.4	29.2	44.9	74.2	38.2	48.3	6.7	2.2
	九州北部地方	151	40.4	36.4	42.4	68.9	25.8	45.7	7.9	2.0
	九州南部・奄美地方	59	40.7	15.3	54.2	55.9	18.6	59.3	10.2	1.7
沖縄地方	25	52.0	48.0	52.0	52.0	48.0	52.0	4.0	0.0	

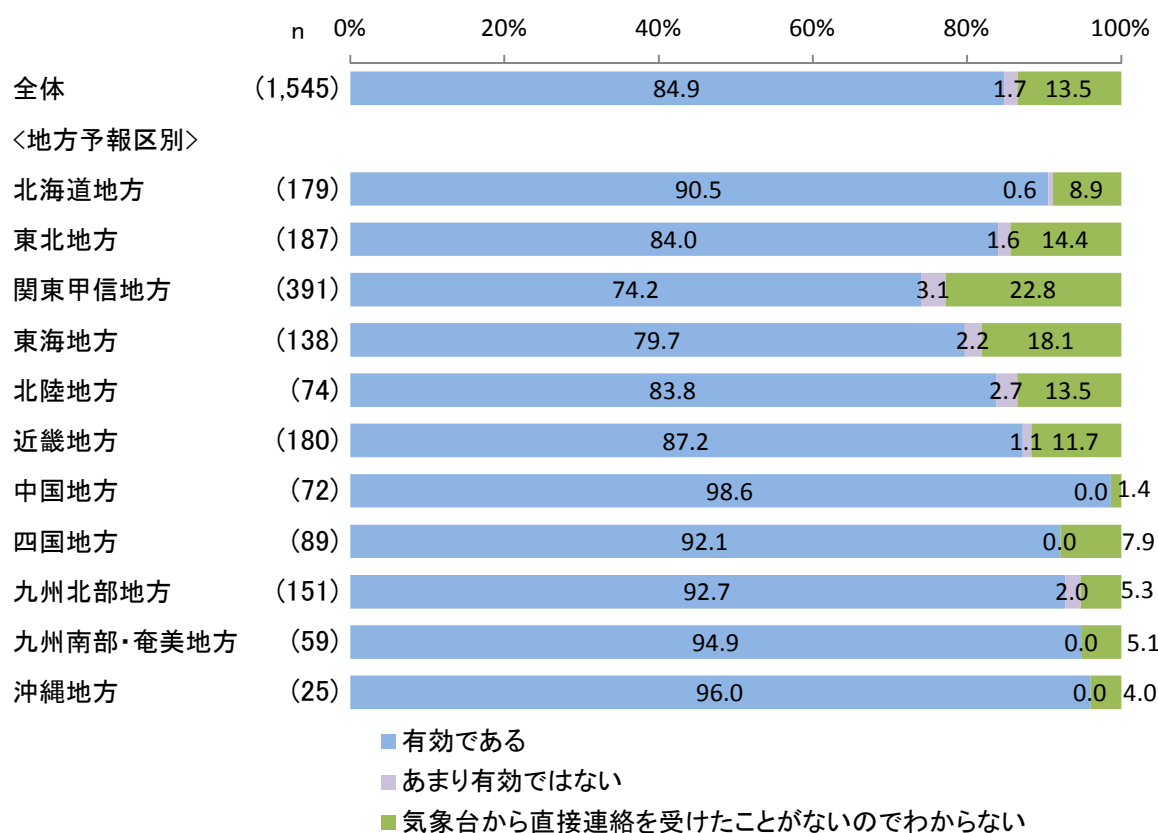
(20) 気象台からの電話による気象状況・見通し等の直接解説の有効性

Q19 気象台から電話により、気象状況や今後の見通し等に関し直接解説を行うことは、防災対応に有効ですか。



気象台からの電話による気象状況・見通し等の直接解説の有効性について、「有効である」という回答は8割台半ばとなっている。

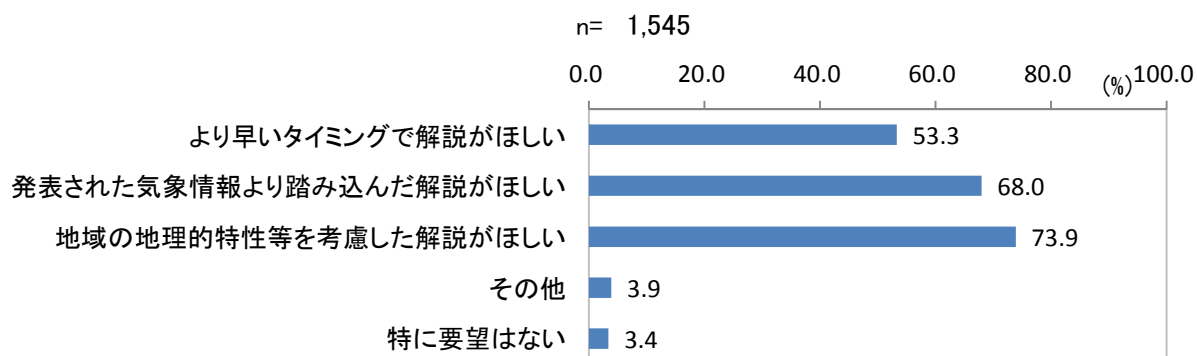
(内訳)



※n=29 以下は参考値

(21) 気象台が実施する解説に対する要望

Q20 気象台からの電話連絡をはじめ、気象状況や今後の見通し等に関し気象台が実施する解説について、要望がありましたら、当てはまるものを全て選んでください。



気象台が実施する解説に対する要望について、「地域の地理的特性等を考慮した解説がほしい」という回答が7割台半ばで最も高く、次いで「発表された気象情報より踏み込んだ解説がほしい」という回答が7割弱となっている。

(内訳)

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下
* 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	n	より早い タイミング で解説が ほしい	発表され た気象情 報より踏 み込んだ 解説がほ しい	地域の地 理的特 性等を考 慮した解 説がほ しい	その他	特に要 望はな い	
全体	1545	53.3	68.0	73.9	3.9	3.4	
地方予報 区別	北海道地方	179	50.3	73.2	69.8	3.9	2.2
	東北地方	187	53.5	61.0	73.3	4.8	3.2
	関東甲信地方	391	55.0	68.3	72.9	2.0	5.4
	東海地方	138	51.4	71.0	76.8	3.6	1.4
	北陸地方	74	52.7	73.0	79.7	1.4	4.1
	近畿地方	180	52.2	68.9	77.8	5.6	2.2
	中国地方	72	56.9	70.8	75.0	6.9	1.4
	四国地方	89	52.8	67.4	69.7	2.2	5.6
	九州北部地方	151	52.3	69.5	74.8	7.3	2.0
	九州南部・奄美地方	59	57.6	61.0	69.5	5.1	3.4
沖縄地方	25	52.0	40.0	76.0	0.0	4.0	

(22) 気象台による地域防災支援の取組に対する意見

Q21 気象台が発表する防災気象情報の精度やわかりやすさ、気象台による気象状況の解説等、気象台による地域防災支援の取組についてご意見がありましたら、ご自由にご入力ください。

一般と同様に、予測精度の向上や細分化された情報提供など、予報技術の向上に係る要望のほか、気象のプロではない自治体職員にもわかりやすい内容の情報・解説への要望が目立った。

また、(先行的な対策に資するよう、空振りでも構わないのでより踏み込んだ解説をしてほしいとの要望や、防災情報提供システムで自治体等に提供している「予報官コメント」の充実への要望も見られた。

さらに、平時からの気象台と自治体の顔の見える関係の構築や、自治体職員への研修・訓練等、気象台と自治体の更なる連携に関する要望も見られた。

(主な意見・要望)

- ・ 予測精度の向上、より早く、より細分化された情報提供
- ・ 気象のプロではない自治体職員にもわかりやすい解説
- ・ 先行した対策を講じる上で有用な、より踏み込んだ解説(空振りでも構わない)
- ・ 「予報官コメント」の充実(市町村の地域特性にあわせたこまめな情報提供など)
- ・ 災害を発生させた気象現象の検証・周知
- ・ 市町村担当者と日頃から気軽に連絡が取り合える関係、顔の見える関係の構築
- ・ 自治体職員への研修・訓練
- ・ 気象台と自治体が連携した講演会・学習会などの開催

III. 卷末資料

防災気象情報の利活用状況等に関する調査表（一般）

このアンケートは、気象庁が発表する防災気象情報をより良いものにするため、各種情報がどのように利用されているかを調査させていただくものです。

■以下の説明をお読みいただき、質問にお答えください。

気象庁の台風情報には、①3日先まで進路・強さ（風）の予報、②5日先までの進路の予報があります。この情報は、気象庁のホームページのほか、テレビ等の報道や民間気象事業者によるサービス等から入手することができます。

<気象庁ホームページでの表示例>

① 3日先までの進路・強さ（風）の予報の例



② 5日先までの進路の予報の例



（全員）

Q1 あなたは、「台風情報」について知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

（Q1「1」）

Q2 あなたは、「台風情報」を、自らの防災行動や備え（早めの帰宅、外出の中止等の何らかの予定変更を含む）などに利用していますか。

1. 自らの防災行動や備えなどに大いに利用している
2. 自らの防災行動や備えなどに利用することがある
3. 自らの防災行動や備えなどに利用していない

（Q2「1」もしくは「2」）

Q3 「台風情報」の入手にモバイル端末（タブレット端末、スマートフォン、携帯電話等）を利用していますか。

1. 利用している
2. 利用していない

（Q3「1」）

Q4 モバイル端末等を利用して「台風情報」をどこから入手していますか。当てはまるものを全て選んでください。（いくつでも）

1. 気象庁ホームページ
2. 気象庁以外のホームページ
3. スマートフォンアプリ
4. ツイッター等のSNS
5. その他：

（Q2「1」もしくは「2」）

Q5 「台風情報」をはじめとした台風の予報について、要望がありましたら、当てはまるものを全て選んでください。（いくつでも）

1. 1日先の台風の進路予報の精度を良くしてほしい
2. 2日・3日先の台風の進路予報の精度を良くしてほしい

3. 4日・5日先の台風の進路予報の精度を良くしてほしい
4. 台風の強さ（風）の予報の精度を良くしてほしい
5. 台風に伴う雨の予報の精度を良くしてほしい
6. その他：
7. 特にない

(Q2「3」)

Q6 「台風情報」を利用していない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。（いくつでも）

1. 予報が当たらないから
2. 予報円が大きく、台風がどこに進むのかわかりにくいから
3. 図の意味がわかりにくいから
4. どれだけ危険な状況かわかりにくいから
5. 情報を受けて、どのような行動をとればよいかわからないから
6. その他：

■以下の説明をお読みいただき、質問にお答えください。

気象庁は、予想される大雨の状況に応じて、「大雨注意報」、「大雨警報」及び「土砂災害警戒情報」等を段階的に発表し、注意や警戒を呼びかけています。（右図）

さらに、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測したときに、「記録的短時間大雨情報」を発表します。

これらの情報は、気象庁のホームページのほか、テレビ等の報道や民間気象事業者によるサービス等から入手することができます。

段階的に発表される情報

記録的短時間大雨情報の発表例

愛知県記録的短時間大雨情報 第1号
平成25年9月4日17時19分 名古屋地方気象台発表
17時愛知県で記録的短時間大雨
名古屋市中区付近で約110ミリ
名古屋市港区付近で約110ミリ
名古屋市中区で109ミリ
春日井市付近で約100ミリ

(全員)

Q7 あなたは、段階的に発表される「大雨注意報」、「大雨警報」及び「土砂災害警戒情報」について知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

(Q7「1」)

Q8 あなたは、「大雨注意報」、「大雨警報」及び「土砂災害警戒情報」を、自らの防災行動や備え（早めの帰宅、外出の中止等の何らかの予定変更を含む）などに利用していますか。

1. 自らの防災行動や備えなどに大いに利用している
2. 自らの防災行動や備えなどに利用することがある
3. 自らの防災行動や備えなどに利用していない

(Q8「1」もしくは「2」)

Q9 「大雨注意報」、「大雨警報」及び「土砂災害警戒情報」の入手にモバイル端末（タブレット端末、スマートフォン、携帯電話等）を利用していますか。

1. 利用している
2. 利用していない

(Q9「1」)

Q10 モバイル端末等を利用して「大雨注意報」、「大雨警報」及び「土砂災害警戒情報」をどこから入手していますか。当てはまるものを全て選んでください。（いくつでも）

1. 気象庁ホームページ
2. 気象庁以外のホームページ

3. スマートフォンアプリ
4. ツイッター等の SNS
5. その他：

(Q8「1」もしくは「2」)

Q11 「大雨注意報」、「大雨警報」及び「土砂災害警戒情報」について、要望がありましたら、当てはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

1. 集中豪雨などの雨量予測の精度を良くしてほしい
2. 発表タイミングをより早くしてほしい
3. 危険度の度合いをよりわかりやすく示してほしい
4. その他：
5. 特にない

(Q8「3」)

Q12 「大雨注意報」、「大雨警報」及び「土砂災害警戒情報」を利用していない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

1. すでに大雨となってから発表されることが多いから
2. 注意・警戒の呼びかけが実際よりも大げさであることが多いから
3. どれだけ危険な状況かわかりにくいから
4. 危険な場所や時間帯がわかりにくいから
5. 情報を受けて、どのような行動をとればよいかわからないから
6. その他：

(全員)

Q13 あなたは、「記録的短時間大雨情報」について知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

(Q13「1」)

Q14 あなたは、「記録的短時間大雨情報」を、自らの防災行動などに利用していますか。

1. 自らの防災行動に大いに利用している
2. 自らの防災行動に利用することがある
3. 自らの防災行動には利用していない

(Q14「1」もしくは「2」)

Q15 「記録的短時間大雨情報」の入手にモバイル端末(タブレット端末、スマートフォン、携帯電話等)を利用していますか。

1. 利用している
2. 利用していない

(Q15「1」)

Q16 モバイル端末等を利用して「記録的短時間大雨情報」をどこから入手していますか。当てはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

1. 気象庁ホームページ
2. 気象庁以外のホームページ
3. スマートフォンアプリ
4. ツイッター等の SNS
5. その他：

(Q14「1」もしくは「2」)

Q17 本年9月28日から、「記録的短時間大雨情報」が最大30分早く提供されるようになりました。これにより、期待することがあれば、当てはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

1. 災害のおそれが高まっている状況を早く知ることができる
2. 避難等の安全確保の必要性を早く知ることができる
3. 記録的な観測値を早く知ることができる
4. その他：
5. 特に期待することはない

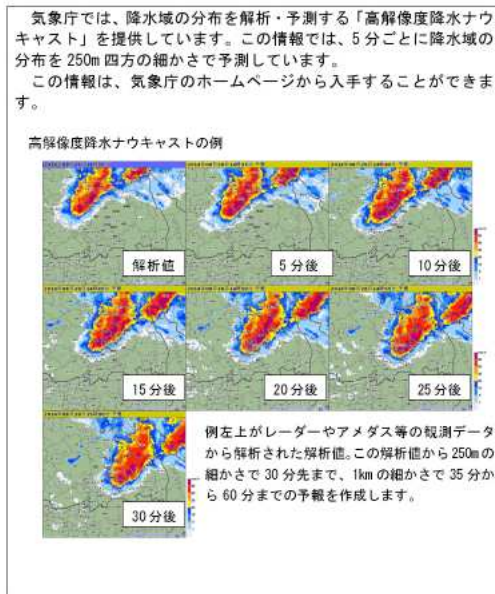
(Q14「3」)

Q18 「記録的短時間大雨情報」を利用しない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。(い

くつでも)

1. これから降る雨の量がわからないから
2. どれだけ危険な状況かわかりにくいから
3. 情報を受けて、どのような行動をとればよいかわからないから
4. その他:

■以下の説明をお読みいただき、質問にお答えください。



(全員)

Q19 あなたは、「高解像度降水ナウキャスト」について知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

(Q19「1」)

Q20 あなたは、「高解像度降水ナウキャスト」を、自らの防災行動や備え（早めの帰宅、外出の中止等の何らかの予定変更を含む）などに利用していますか。

1. 自らの防災行動や備えなどに大いに利用している
2. 自らの防災行動や備えなどに利用することがある
3. 自らの防災行動や備えなどには利用していない

(Q20「1」もしくは「2」)

Q21 「高解像度降水ナウキャスト」について、要望がありましたら、当てはまるものを全て選んでください。（いくつでも）

1. 雨量予測の精度をよくしてほしい
2. 60分先までの予報時間を長くしてほしい
3. 5分毎の予報間隔を短くしてほしい
4. 解像度（250m四方毎）をより細かくしてほしい
5. その他:
6. 特にない

(Q20「3」)

Q22 「高解像度降水ナウキャスト」を利用していない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。（いくつでも）

1. 雨量の分布の解像度が足りないから
2. 操作が面倒だから
3. 動作が遅いから
4. 60分後までしか予報していないから
5. どれだけ危険な状況かわかりにくいから
6. 情報を受けて、どのような行動をとればよいかわからないから
7. その他:

■以下の説明をお読みいただき、質問にお答えください。

気象庁では、概ね県単位で「竜巻注意情報」を発表し、竜巻等による突風への注意を呼びかけています。
竜巻注意情報は、目撃情報が得られて竜巻等が発生するおそれが高まったと判断した場合にも発表しています。
この情報は、気象庁のホームページのほか、テレビ等の報道や民間気象事業者によるサービス等から入手することができます。

目撃情報を付加した「竜巻注意情報」の例

〇〇県竜巻注意情報 第1号
平成××年4月20日10時27分 △△地方気象台発表

【目撃情報あり】〇〇県南部で竜巻などの激しい突風が発生したとみられます。

〇〇県は、竜巻などの激しい突風が発生するおそれが非常に高まっています。

(略)

(全員)

Q23 あなたは、「竜巻注意情報」について知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

(Q23「1」)

Q24 あなたは、「竜巻注意情報」を、自らの防災行動などに利用していますか。

1. 自らの防災行動に大いに利用することがある
2. 自らの防災行動に利用することがある
3. 自らの防災行動に利用していない

(Q24「1」もしくは「2」)

Q25 「竜巻注意情報」の入手にモバイル端末（タブレット端末、スマートフォン、携帯電話等）を利用していますか。

1. 利用している
2. 利用していない

(Q25「1」)

Q26 モバイル端末等を利用して「竜巻注意情報」をどこから入手していますか。当てはまるものを全て選んでください。（いくつでも）

1. 気象庁ホームページ
2. 気象庁以外のホームページ
3. スマートフォンアプリ
4. ツイッター等のSNS
5. その他：

(Q24「1」もしくは「2」)

Q27 あなたは、目撃情報を付加した確度の高い竜巻注意情報を知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

(Q24「1」もしくは「2」)

Q28 「竜巻注意情報」について、要望がありましたら、当てはまるものを全て選んでください。（いくつでも）

1. 予報の精度を良くしてほしい
2. 情報の対象地域を絞り込んでほしい
3. 発表のタイミングを早くしてほしい
4. その他：
5. 特にない

(Q24「3」)

Q29 「竜巻注意情報」を利用していない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。（いくつでも）

1. 情報が発表されても竜巻が発生しないことが多いから
2. どこが危険な場所なのかわからないから
3. 特に危険な時間帯がわからないから
4. どれだけ危険な状況かわかりにくいから

5. 情報を受けて、どのような行動をとればよいかわからないから
6. その他：

■以下の説明をお読みいただき、質問にお答えください。



(全員)

Q30 気象の知識の普及や防災気象情報の解説など、平時を含めて地元の気象台に望むことがありましたら、当てはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

1. ホームページやパンフレット等の普及啓発資料の充実
2. 講演会の開催
3. 出張講座の開催
4. 今後の気象の見通しに関する解説
5. 大雨等の顕著な現象が予想される際における危機感の呼びかけ（記者会見等）
6. その他：
7. 特に望むことはない

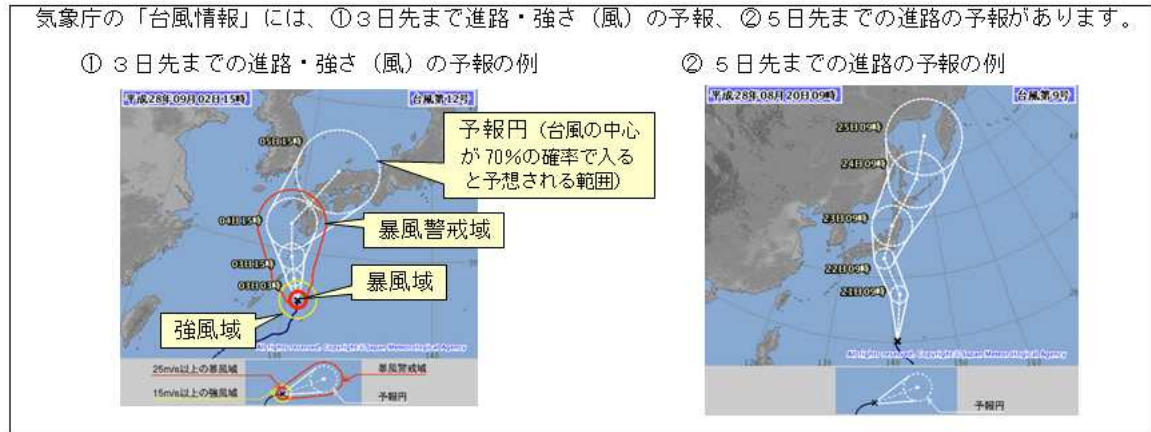
(全員)

Q31 気象台が発表する防災気象情報の精度やわかりやすさ、気象台による気象状況の解説等、気象台による地域防災支援の取組についてご意見がありましたら、ご自由にご入力ください。

防災気象情報の利活用状況等に関する調査表（自治体）

■ 「台風情報」に関する質問

以下の説明をお読みいただき、質問にお答えください。



（全員）

Q1 貴機関では、「台風情報」を、防災態勢の構築や避難勧告等の判断などの防災対応に利用していますか。

1. 大いに利用している
2. 利用することがある
3. 利用していない

（Q1「1」もしくは「2」）

Q2 何日先の台風の予報を最も利用（重視）していますか。

1. 1日先
2. 2日先
3. 3日先
4. 4日先
5. 5日先

（Q1「1」もしくは「2」）

Q3 「台風情報」をはじめとした台風の予報について要望がありましたら、当てはまるものを全て選んでください。

1. 1日先の台風の進路予報の精度を良くしてほしい
2. 2日・3日先の台風の進路予報の精度を良くしてほしい
3. 4日・5日先の台風の進路予報の精度を良くしてほしい
4. 台風の強さ（風）の予報の精度を良くしてほしい
5. 台風に伴う雨の予報の精度を良くしてほしい
6. その他
7. 特にない

（Q1「3」）

Q4 「台風情報」をあまり利用していない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

1. 予報が当たらないから
2. 予報円が大きく、台風がどこに進むのかわかりにくいから
3. 図の意味がわかりにくいから
4. どれだけ危険な状況かわかりにくいから
5. 情報を受けて、どのような防災対応をとればよいかわかりにくいから
6. その他

■大雨の予報に関する質問

以下の説明をお読みいただき、質問にお答えください。

気象庁は、予想される大雨の状況に応じて、「大雨注意報」、「大雨警報」及び「土砂災害警戒情報」等を段階的に発表し、注意や警戒を呼びかけています。(右図)

さらに、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測したときに、「記録的短時間大雨情報」を発表します。

気象状況	気象庁の情報
大雨の約1日前 大雨の可能性が高くなる	大雨に 関する 記録的短時間 大雨情報
大雨の 平日～数時間前 雨が降り始める	
雨が強さを増す	
大雨の短時間 ～2時間程度前	
大雨となる	
大雨が一段 激しくなる	土砂災害 警戒情報
広い範囲で 数十年に一度の 大雨	記録的短時間 大雨情報

段階的に発表される情報

記録的短時間大雨情報の発表例

愛知県記録的短時間大雨情報 第1号
平成25年9月4日17時19分 名古屋地方気象台発表
17時愛知県で記録的短時間大雨
名古屋市中区付近で約110ミリ
名古屋市港区付近で約110ミリ
名古屋市中区で109ミリ
春日井市付近で約100ミリ

(全員)

Q5 貴機関では、段階的に発表される「大雨注意報」、「大雨警報」及び「土砂災害警戒情報」を、防災態勢の構築や避難勧告等の判断などの防災対応に利用していますか。

1. 大いに利用している
2. 利用することがある
3. 利用していない

(Q5「1」もしくは「2」)

Q6 「大雨注意報」、「大雨警報」及び「土砂災害警戒情報」について要望がありましたら、当てはまるものを全て選んでください。

1. 集中豪雨などの雨量予測の精度を良くしてほしい
2. 発表タイミングをより早くしてほしい
3. 危険度の度合いをよりわかりやすく示してほしい
4. その他
5. 特にない

(Q5「3」)

Q7 「大雨注意報」、「大雨警報」及び「土砂災害警戒情報」をあまり利用していない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

1. すでに大雨となってから発表されることが多いから
2. 警戒の呼びかけが実際よりも大げさであることが多いから
3. どれだけ危険な状況かわかりにくいから
4. 危険な場所や時間帯がわかりにくいから
5. 情報を受けて、どのような防災対応をとればよいかわかりにくいから
6. その他

(全員)

Q8 貴機関では、「記録的短時間大雨情報」を、避難勧告等の判断などの防災対応に利用していますか。

1. 大いに利用している
2. 利用することがある
3. 利用していない

(Q8「1」もしくは「2」)

Q9 本年9月28日から、「記録的短時間大雨情報」が最大30分早く提供されるようになりました。これにより、防災対応において貴機関が期待することがあれば、当てはまるものを全て選んでください。

1. 災害のおそれが高まっている状況を早く知ることができる
2. 避難等の安全確保の必要性を早く知ることができる
3. 記録的な観測値を早く知ることができる
4. その他
5. 特に期待することはない

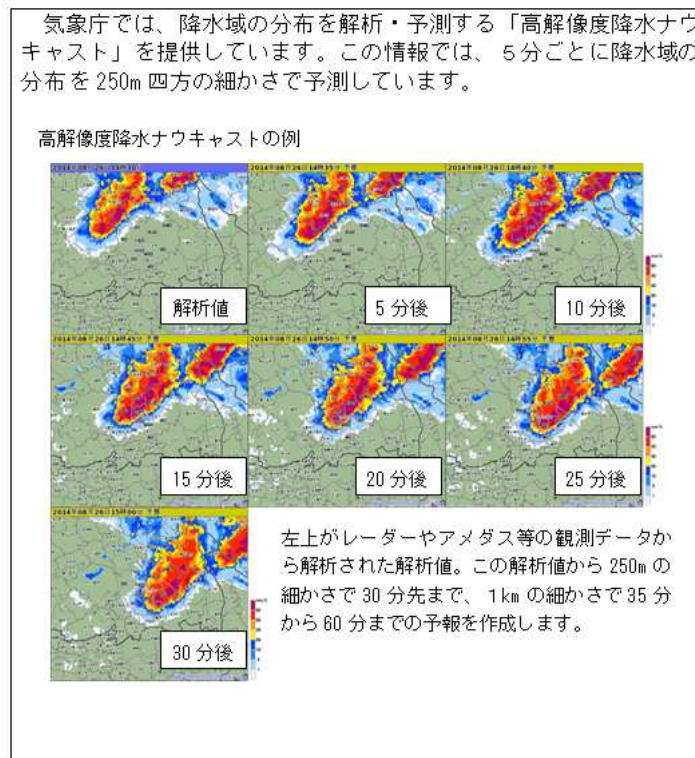
(Q8「3」)

Q10 「記録的短時間大雨情報」をあまり利用していない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

1. これから降る雨の量がわからないから
2. どれだけ危険な状況かわかりにくいから
3. 情報を受けて、どのような防災対応をとればよいかわかりにくいから
4. その他

■「高解像度降水ナウキャスト」に関する質問

以下の説明をお読みいただき、質問にお答えください。



(全員)

Q11 大雨時等における早めの避難勧告・指示の判断等に一層資する情報として、今後の技術の進展により実現すると望ましいと考えられるものがありましたら、ご自由にご入力ください。

(全員)

Q12 貴機関では、「高解像度降水ナウキャスト」を、避難勧告等の判断などの防災対応に利用していますか。

1. 大いに利用している
2. 利用することがある
3. 利用していない

(Q12「1」もしくは「2」)

Q13 「高解像度降水ナウキャスト」を防災対応に活用する上で要望がありましたら、当てはまるものを全て選んでください。

1. 雨量予測の精度をよくしてほしい
2. 60分先までの予報時間を長くしてほしい
3. 5分毎の予報間隔を短くしてほしい
4. 解像度(250m四方毎)をより細かくしてほしい
5. その他
6. 特になし

(Q12「3」)

Q14 「高解像度降水ナウキャスト」をあまり利用していない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

1. 雨量の分布の解像度が足りないから
2. 操作が面倒だから

3. 動作が遅いから
4. 60分後までしか予報していないから
5. どれだけ危険な状況かわかりにくいから
6. 情報を受けて、どのような行動をとればよいかわからないから
7. その他

■「竜巻注意情報」に関する質問
以下の説明をお読みいただき、質問にお答えください。

気象庁では、概ね県単位で「竜巻注意情報」を発表し、竜巻等による突風への注意を呼びかけています。
竜巻注意情報は、目撃情報が得られて竜巻等が発生するおそれが高まったと判断した場合にも発表しています。

目撃情報を付加した「竜巻注意情報」の例

〇〇県竜巻注意情報 第1号
平成××年4月20日10時27分 △△地方気象台発表

【目撃情報あり】〇〇県南部で竜巻などの激しい突風が発生したとみられます。
〇〇県は、竜巻などの激しい突風が発生するおそれが非常に高まっています。
(略)

(全員)

Q15 貴機関では、「竜巻注意情報」を、住民への警戒呼びかけ等の防災対応に利用していますか。

1. 大いに利用している
2. 利用することがある
3. 利用していない

(Q15「1」もしくは「2」)

Q16 「竜巻注意情報」を防災対応に活用する上で要望がありましたら、当てはまるものを全て選んでください。

1. 予報の精度を良くしてほしい
2. 情報の対象地域を絞り込んでほしい
3. 発表のタイミングを早くしてほしい
4. その他
5. 特にない

(Q15「3」)

Q17 「竜巻注意情報」をあまり利用していない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

1. 情報が発表されても竜巻が発生しないことが多いから
2. どこが危険な場所なのかわからないから
3. 特に危険な時間帯がわからないから
4. どれだけ危険な状況かわかりにくいから
5. 情報を受けて、どのような防災対応をとればよいかわかりにくいから
6. その他

(全員)

Q18 平時において、地域の防災力強化のために気象台に望むことがあれば、当てはまるものを全て選んでください。

1. 地域防災計画の検討に係る助言
2. ホームページやパンフレット等の普及啓発資料の充実
3. 防災気象情報等に関する講演会の開催
4. 今後の気象の見通しに関する解説
5. 過去の大雨等の顕著現象のレビューに資する解説資料の提供
6. 気象に係る勉強会や研修の開催
7. その他
8. 特に望むことはない

(全員)

Q19 気象台から電話により、気象状況や今後の見通し等に関し直接解説を行うことは、防災対応に有効です

か。

1. 有効である
2. あまり有効ではない
3. 気象台から直接連絡を受けたことがないのでわからない

(全員)

Q20 気象台からの電話連絡をはじめ、気象状況や今後の見通し等に関し気象台が実施する解説について、要望がありましたら、当てはまるものを全て選んでください。

1. より早いタイミングで解説がほしい
2. 発表された気象情報より踏み込んだ解説がほしい
3. 地域の地理的特性等を考慮した解説がほしい
4. その他
5. 特に要望はない

(全員)

Q21 気象台が発表する防災気象情報の精度やわかりやすさ、気象台による気象状況の解説等、気象台による地域防災支援の取組についてご意見がありましたら、ご自由にご入力ください。